取扱説明ガイド

液晶カラーテレビ　形名 4T-B60AK1／4T-B50AKL



お知らせ

- 取扱説明ガイドに掲載している画面やイラストは、説明用のものです。
  実際の表示と異なったり、機能向上などのアップデート等により変更となる場合があります。

もくじ

1. ふだんの使いかた
   - 1-1. 番組表の使いかた
   - 1-6. 視聴中の便利な機能
   - 1-29.タイマー機能を使う
   - 1-46.ヘッドホンで音声を聞く

2. メニュー操作
   - 2-1. 設定メニューの使いかた
   - 2-2. 設定メニュー項目の一覧
   - 2-62.ツールメニューの使いかた
   - 2-63.ツールメニュー項目の一覧
   - 2-70.文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

3. コンテンツマネージャー
   - 3-1. コンテンツマネージャーをお使いになる前に
   - 3-12.写真を楽しむ
   - 3-28.音楽を楽しむ
   - 3-31.動画を楽しむ

4. USBハードディスク
   - 4-1. USBハードディスク(市販品)の準備をする
   - 4-9. USBハードディスクの名前を変えたいときは
   - 4-10.USBハードディスクを省エネで使うには
   - 4-11.USBハードディスクを取りはずすときは
   - 4-12.本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは
   - 4-14.録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは(オートチャプター設定)
   - 4-16.録画をする前にお読みください
   - 4-22.USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する
   - 4-44.予約の確認・取り消し・変更をするには
   - 4-50.USBハードディスクに録画した番組を再生する
   - 4-58.再生時の操作
   - 4-63.USBハードディスクに録画した番組の管理
   - 4-70.タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する
   - 4-76.タイトル(録画した番組)を消去する

5. ネットワーク
   - 5-1. 双方向通信/インターネット/ホームネットワークの準備をする
   - 5-12.インターネットに接続できない場合は
   - 5-18.双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する
   - 5-22.インターネットを楽しむ
   - 5-34.IPTV(ひかりTV)を視聴するための準備
   - 5-44.IPTV(ひかりTV)を見る
   - 5-54.携帯端末を使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

6. ファミリンクや他機器
   - 6-1. ファミリンク対応機器をつなぐ
   - 6-5. 4K出力対応機器をつなぐ
   - 6-9. HDR映像を見る
   - 6-11.ファミリンクで使う
   - 6-39.レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ
   - 6-52.オーディオ機器をつなぐ
   - 6-54.ホームネットワーク時に表示される本機の機器名を変更する
   - 6-55.パソコンとつないで使う

7. 放送の設定と種類
   - 7-1. デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは
   - 7-17.放送の種類について

8. 故障かな？
   - 8-1. 故障かな？と思ったら
   - 8-21.エラーメッセージが出たら
   - 8-37.こんなときは

9. 仕様や索引など
   - 9-1. 用語の解説
   - 9-7. 索引

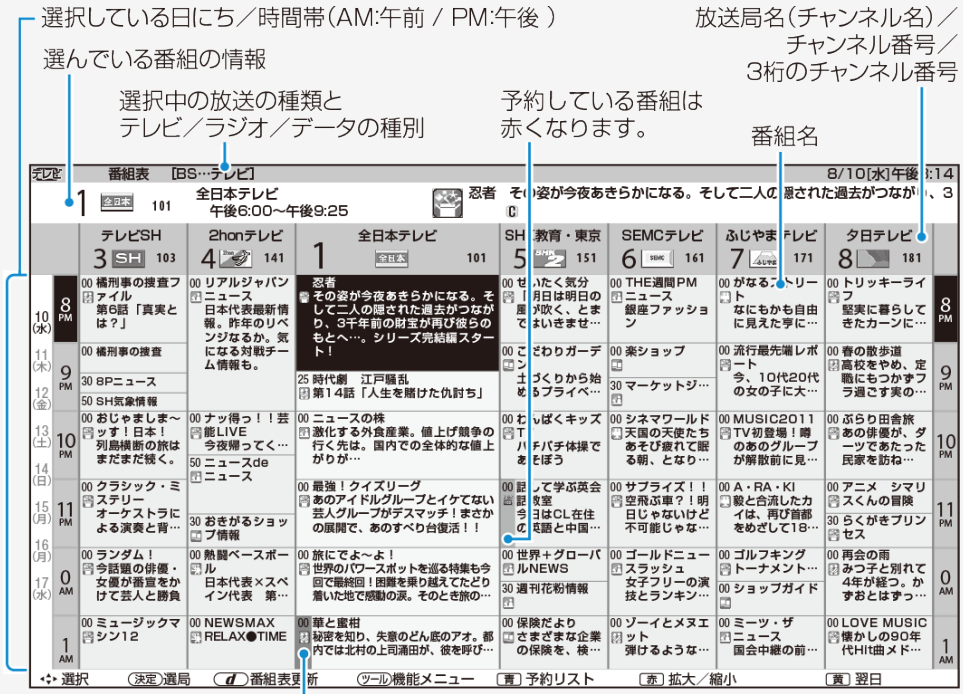
10. English Guide
   - 10-1. Part Name
   - 10-13. Switching the Display Language to English
     ホームメニューなどの言語を英語にする

ふだんの使いかた

番組表の使いかた

- テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例



見つかる検索（⇒ 1–5ページ）で検索された番組は青色になります。
自動検索の対象番組は黄色になります。

次ページへつづく⇒

ふだんの使いかた

番組表の使いかた

ジャンルを示すアイコン

	スポーツ		ニュース／報道
	ドラマ		情報／ワイドショー
	バラエティ		音楽
	アニメ／特撮		映画
	劇場／公演		ドキュメンタリー／教養
	福祉		趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	ファミリンク録画予約している番組
	USB-HDD録画予約している番組
	自動録画で予約されている番組
	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- テレビ放送 … 8日分
- データ放送 … 最低1日分
- 表示時間 … 3時間、6時間または12時間
  赤を押すたびに切り換わります。
  （⇒右記）

お知らせ

番組表の表示のしかたについて

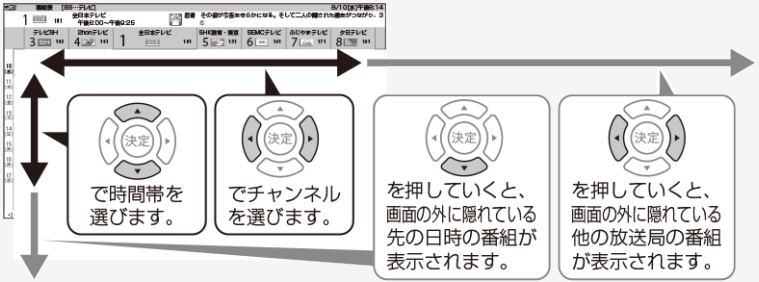
- 赤で番組表の文字の大きさを変更することができます。押すたびに文字の大きさが切り換わります。
- 「サブチャンネル設定」⇒ 1-5ページ

番組表の使いかた



番組表で番組を選ぶ

1. 番組表(予約)を押し、番組表を表示する
   - 地上 BS CSを押して、放送の種類(番組表の表示内容)を変更できます。
   - 「チャイルドロック」(⇒ 2-41ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. 上下左右カーソルボタンで、見たい番組を選ぶ



- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」(⇒1-4ページ)をご覧ください。

次ページへつづく⇒

番組表の使いかた



番組表で番組を選ぶ

3. 決定を押す
   - 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
   - 放送予定の番組を選んだとき録画機器を接続している場合は、「録画機器選択」で設定した機器への録画予約となります。
     予約については
     ⇒4-27、6-28～6-32ページをご覧ください。

番組表の更新について

- 番組表は、チャンネルを選び データ d を押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。「番組表取得設定」(⇒ 1-5ページ)
- 外部入力で番組表を表示しているときは、番組表の更新はできません。
- デジタル放送録画中は、番組表は更新できません。

番組表の使いかた



番組表の機能メニューの使いかた

- 見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 機能メニューは、番組表を表示させている状態で ツール (字幕) を押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	番組表で表示する日時を素早く選べます。
予約リスト	予約した番組の設定や情報を表示します。
ジャンル別表示	ジャンルごとに番組を表示します。
番組詳細検索	特徴やキーワードで番組を検索できます。
見つかる検索	特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。
番組情報	選択している番組の情報を表示します。
放送切換	地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送に切り換えます。
テレビ/ラジオ/データ	番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り換えます。
サブチャンネル設定	番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

視聴中の便利な機能



2画面で見る

本機は2つの異なる映像を同時に表示できます。

1. ツール (字幕) を押し、上下カーソルボタンで「2画面」を選んで 決定 を押し、2画面メニューを表示する

2. 上下カーソルボタンで表示のしかたを選んで 決定 を押す
   - 2画面表示になります。
   - 「操作切換」、「サイズ切換」、「左右入換」は、2画面表示のときに選べます。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能

2画面で見る

- 2画面のとき、「♪」マークのある操作画面（⇒ 1-12ページ）は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。
- 2番組録画中またはIPTV録画中は2画面にできません。
- コンテンツマネージャーとの2画面はできません。
- 内容によっては、テレビとインターネットを同時に表示することもできます。
- 2画面機能を入／切すると、まれに画面の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- 2画面表示しているとき、次の操作はできません。
  - 番組表の表示
  - データ放送の表示
  - 画面サイズの切り換え
  - AVポジションの切り換え
  - 画面の静止 など

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能

2画面で見る

お知らせ

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面やPinP小画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
  ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能

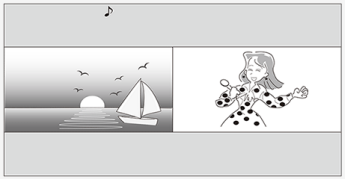


2画面で見る

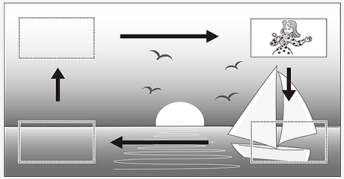
2画面表示の種類

- 「2画面」「PinP」があります。

2画面



PinP



- 2画面のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- PinPのときは、上下左右カーソルボタンで小画面の位置を移動できます。決定を押すと、小画面が画面の4隅を移動します。また、「左右入換」を選ぶと大画面と小画面が入れ換わります。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能

2画面で見る

2画面表示の種類

お知らせ

- 「左右入換」をしても、「♪」マークの付いた操作画面（⇒1-12ページ）は変わりません。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小2画面、PinP表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像1／音声1に戻ります。（本体のスピーカーからは「♪」マークのついている側の音声が再生されます。）
- 「PinP」のとき、小画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



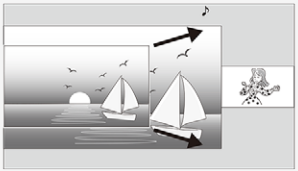
2画面で見る

画面のサイズを変える

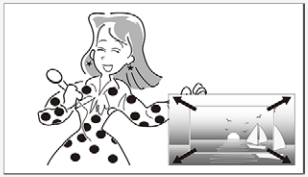
- 「2画面」または「PinP」表示中、画面のサイズを変えることができます。

1. 「2画面」または「PinP」表示中、ツール(字幕)を押し、上下カーソルボタンで「2画面」を選んで決定を押して、2画面メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「サイズ切換」を選んで 決定を押す
3. 左右カーソルボタンで画面サイズを変える

2画面にしている場合



PinPにしている場合



- 操作を終了する場合は、決定を押します。
- 1画面に戻すには、終了を押します。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



2画面で見る

2画面のうち操作する画面を選ぶ

1. 2画面表示中にツール(字幕)を押し、上下カーソルボタンで「2画面」を選んで決定を押して、2画面メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「操作切換」を選んで 決定を押し、操作画面を切り換える
   - 上記操作を繰り返すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。
   - 「♪」マークのある操作画面は、選局や音量調整ができます。（「♪」が表示されている画面がファミリンク機器の場合は「選局キー」設定によっては選局操作しないことがあります。）
   - 1画面に戻すときは、終了を押してください。
   - 「♪」マークのある画面が1画面表示されます。
   - 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能

2画面で見る

表示できる画面の組み合わせ

- 表示できる画面は、画面の左右、放送や入力、録画状態によって異なります。

		右画面（小画面）					
		地上D	BS/CS	入力1～4	入力5	入力6	USB-HDD
左画面（大画面）	地上D	○	○	○	◎	×	×
	BS/CS	○	○	○	◎	×	×
	入力1～4	○	○	×	×	×	×
	入力5	◎	◎	×	×	×	×
	入力6	×	×	×	×	×	×
	USB-HDD	○	○	○	◎	×	×

2画面で表示できる組み合わせは、録画の状態によって変わります。

◎録画中でも1番組の録画であれば2画面で表示できます。

○録画中でも標準モードで1番組の録画であれば2画面で表示できます。

×2画面で表示できません。

- 以下の機能を使用中は2画面表示できません。
  ・USBメモリー再生中
  ・ホームネットワーク機能使用中
  ・VODコンテンツ再生中
- 2番組録画中またはIPTV録画中は2画面で表示できません。
- 2画面表示中は連動データ放送は視聴できません。

視聴中の便利な機能



画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。
  料理番組のメモをとったりするときに便利です。
- 操作の前に、「一時停止/静止ボタン機能切換」(⇒ 2-45ページ)を「画面静止」に設定してください。

1. 一時停止/静止 を押して、視聴中に映像を静止させる

- 動画と静止画の2画面になります。
- 静止画表示中に 決定 を押すと、そのときに表示されていた動画が新しい静止画として表示されます。
- 一時停止/静止 をもう一度押すと、視聴中のチャンネルの現在の映像に戻せます。 戻る または 終了 を押しても元に戻せます。

お知らせ

- 「一時停止/静止ボタン機能切換」(⇒ 2-45ページ)を「AQUOSタイムシフト」に設定している場合は画面の静止はできません。

  次の場合は、静止画が解除されます。

- 選局操作をしたとき
- ツール (字幕) / ファミリンク などを押したとき
- 映像を静止してから30分経過したとき

静止画表示中は、次のことができません。

- 画面サイズ、AVポジションの切り換え
- 番組表、裏番組表、番組情報の表示

視聴中の便利な機能



番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

■番組内容
大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。
全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ
北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

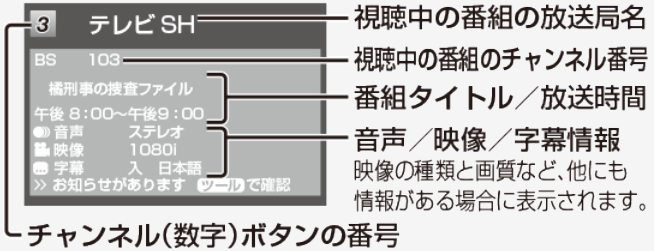
他にも情報がある場合に表示されます。

1. 番組情報 を押し、番組情報の画面を表示する
   - 番組情報が表示されます。番組情報の右側に◂▸マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
   - 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

視聴中の便利な機能

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。
複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。



次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



音声・映像・字幕を切り換える

複数の映像を楽しむ

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「視聴操作」ー「映像切換」を選び、決定を押す

- 「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上に映像表示が出ます。
  ※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換

を押して、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声※が切り換わり、テレビ画面右上に音声表示が出ます。
  ※番組によって音声の数が異なります。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

音声1 → 音声2～8※ →

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 →
主／副

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



音声・映像・字幕を切り換える

複数の音声を切り換える（つづき）

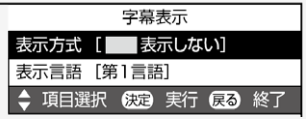
お知らせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

◆字幕の表示方式を変えたいとき

1. ツール (字幕) を押し、上下カーソルボタンで「字幕」を選んで 決定 を押す
   - 画面右上に字幕メニューが表示されます。



次ページへつづく⇒

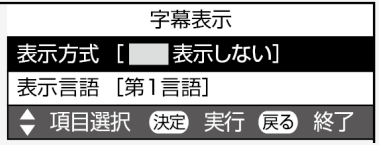
視聴中の便利な機能



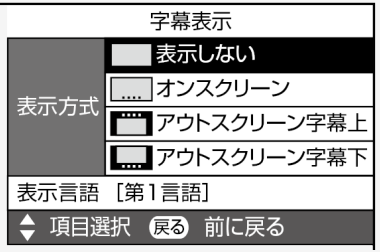
音声・映像・字幕を切り換える

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える（つづき）

2. 上下カーソルボタンで「表示方式」を選び、決定を押す



3. 上下カーソルボタンで表示させたい字幕の種類を選び、決定を押す



次ページへつづく⇒

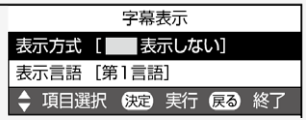
視聴中の便利な機能



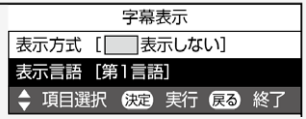
音声・映像・字幕を切り換える

◆字幕の表示言語を変えたいとき

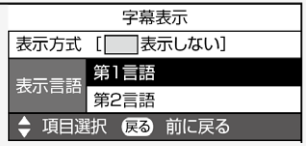
1. ツール (字幕) を押し、上下カーソルボタンで「字幕」を選んで 決定 を押す
   - 画面右上に字幕メニューが表示されます。



2. 上下カーソルボタンで「表示言語」を選び、 決定 を押す



3. 上下カーソルボタンで表示させたい言語を選び、 決定 を押す



   - 字幕が1種類しかない場合は、「第2言語」(副)に設定しても「第1言語」(主)の字幕が表示されます。

次ページへつづく⇒

音声・映像・字幕を切り換える

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- 「アウトスクリーン字幕上」の場合でも、放送で送られる字幕の行数によっては、映像の上に字幕がかかる場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。



字幕非表示

音声・映像・字幕を切り換える

字幕表示の種類

<table>
<tr><th></th><th>字幕放送のとき</th><th>字幕放送ではないとき</th></tr>
<tr><td>オンスクリーン
• 字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。（右の字幕は表示例ですので、放送によって上下の位置が変ります。）</td><td>
</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>アウトスクリーン字幕上／アウトスクリーン字幕下
• 字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側（下側）に字幕が表示されます。
• 放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。</td><td>アウトスクリーン字幕上


アウトスクリーン字幕下

</td></tr>
</table>

お知らせ

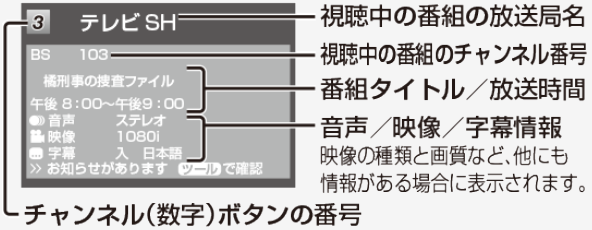
- 連動データ放送を表示したとき、放送の種類によっては、アウトスクリーンに設定してもオンスクリーン表示になります。

視聴中の便利な機能



放送の種類やチャンネルなどの情報を確認する

1. 画面表示 を押して情報を表示する



2. 画面表示 を押して画面表示を切り換える

- 画面表示 を押したときに表示する情報を選択することもできます。
(⇒1-24ページ)

視聴中の便利な機能



画面表示ボタンを押したときに表示する情報を変更する

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「画面表示ボタン設定(時計)」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで表示を変更したい項目を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで設定を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



画面表示ボタンを押したときに表示する情報を変更する

時計の表示について

- ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「画面表示ボタン設定(時計)」ー「時計設定」ー「時刻表示」で行います。
- 時刻が設定されていない場合は、「時刻設定」で時刻を合わせてください。
- デジタル表示またはアナログ表示に変更したい場合は、「時計タイプ」で変更してください。

お知らせ

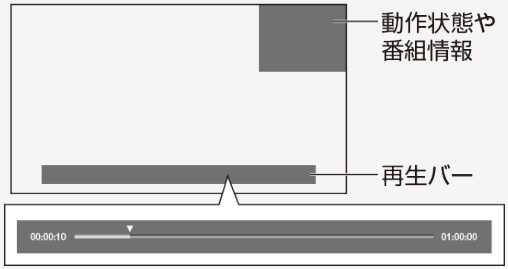
- 「番組タイトル／放送時間」を表示する場合、選局したチャンネルで次の番組が2分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。ただし、2画面でPinP表示（「2画面表示の種類」⇒1-9ページ）しているとき、小画面に次番組は表示されません。

視聴中の便利な機能



再生状態を確認する

- 本機はUSBハードディスクに録画した番組を再生したときに再生している番組情報や動作状態、現在再生位置が確認できる再生バーなどを画面に表示します。



- 番組情報や再生バーを表示させたいときは「設定」ー「 (視聴準備)」の「画面表示ボタン設定(時計)」で「再生状態表示」を「する」または「操作時のみ」に設定します。
- 「操作時のみ」に設定したときは、番組情報や再生バーを約5秒間表示したあと自動的に消えます。
- 「する」に設定したときは表示は消えません。
  消したいときは 画面表示 を繰り返し押してください。
- 早送り／早戻ししているとき、再生バー表示は消えません。
- ホームメニュー表示中／2画面表示中／録画リスト表示中／ファミリンクパネル表示中など本機の動作状態によっては再生バーが表示されない場合があります。
- お知らせタイマーと表示が重なったときなど本機の表示状態によっては、再生バーが表示されない場合があります。

視聴中の便利な機能



データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン(上・下・左・右)で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン(青・赤・緑・黄)で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

- 連動データ放送を含む番組の視聴中に、データ d を押し、連動データ放送の画面を表示する



- テレビ放送に戻すときは、もう一度 データ d を押します。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、 データ d を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度 データ d を押してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)
- BSラジオ放送も、⇒ 1-28ページの手順で切り換えられます。
- 2画面表示中は連動データ放送は視聴できません。

次ページへつづく⇒

視聴中の便利な機能



データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

独立データ放送の番組から選ぶ

1. BS を押し、BSデジタル放送を選ぶ
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「視聴操作」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「テレビ／ラジオ／データ／ポータル」を選び、決定 を押す



- 再度選び直すことによって次のように放送の種類を切り換えることができます。

→テレビ → ラジオ → データ → ポータル※

5. 選局ボタンでチャンネルを選ぶ
   - ポータルはIPTV視聴中のみ切り替えられます。

タイマー機能を使う



指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

- テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1. ツール(字幕)を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「オフタイマー」を選び、決定を押す

2. 上下カーソルボタンで「変更する」を選び、決定を押す
   - 「切」「この番組の最後まで(次の番組の最後まで)」「0時間30分」「1時間00分」「1時間30分」「2時間00分」「2時間30分」から選びます。
   - オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
   - オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う



指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

オフタイマーの残り時間を確認するには

1. ツール (字幕) を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「オフタイマー」を選び、決定を押す
2. オフタイマーの残り時間を確認する

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
- しばらくすると表示が消えます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

お知らせ

- 「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
- 「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
- 番組終了の約2分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
- デジタル放送視聴中以外や番組の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
- おやすみタイマー動作中は、オフタイマー設定はできません。

タイマー機能を使う



時間を指定して電源を切る(おやすみタイマー)

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1. ツール(字幕)を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「おやすみタイマー」を選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「設定」を選ぶ

おやすみタイマー　[解除]　[設定]

時刻(時)	午前00
時刻(分)	00
モード	サンセット
表示設定	アイコン+文字

3. それぞれの項目(⇒ 1-35ページ)を設定する
   ① 上下カーソルボタンで項目を選ぶ
   ② 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ツール(字幕)を押します。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例
（表示設定:「アイコン＋文字」）



- 表示設定が「アイコン＋文字」の場合は、1分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
- 表示設定が「文字のみ」の場合は、1分ごとに残り時間が表示されます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフ（⇒ 2-39ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を10分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ 2-18ページ）が必要です。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

おやすみタイマーの設定項目

項目内容	内容
おやすみタイマー	・タイマーの設定／解除を選択します。
時刻（時）	・タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。
時刻（分）	・タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。
モード	通常 ・毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット ・設定時刻の10分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	アイコン＋文字 ・画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ ・画面に残り時間を表示します。

※何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

タイマー機能を使う



目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。）
- おはようタイマーを設定すると、本機が待機状態のとき、下記のランプが橙色に点灯します。
  ・4T-B50AKL：POWER/TIMER・RECランプ
  ・4T-B60AK1：TIMER/RECランプ
- 異なる設定のタイマーを7種類までセットできます。

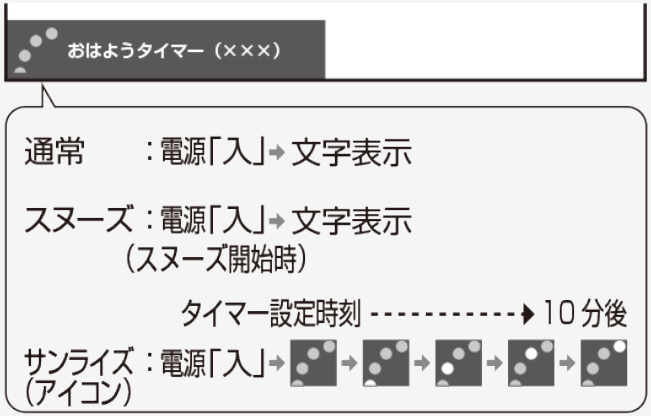
1. ツール（字幕）を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「おはようタイマー」を選び、決定を押す
2. 設定したいタイマーを選び、決定を押す
3. 左右カーソルボタンで「設定」を選ぶ
   - 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。
4. それぞれの項目（⇒ 1-39ページ）を設定する
   ①上下カーソルボタンで項目を選ぶ
   ②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ
   - 操作を終了する場合は、ツール（字幕）を押します。
   - 設定したタイマーには、手順2の画面で時計マークが表示されます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

▼おはようタイマー「サンライズ（アイコン）」の画面例



- モードが「サンライズ（アイコン）」の場合は、1分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1分ごとにメッセージが表示されます。
- モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う



目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

タイマーを設定／解除する

- ⇒1-36ページの手順2の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1. 上下カーソルボタンで「タイマー1」～「タイマー7」のいずれかを選び、黄を押す
   - 押すたびに、選んだタイマーが「設定」（時計マーク）⇔「解除」（時計マークなし）と切り換わります。
   - 設定したタイマーには、⇒ 1-36ページの手順2の画面で時計マークが表示されます。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

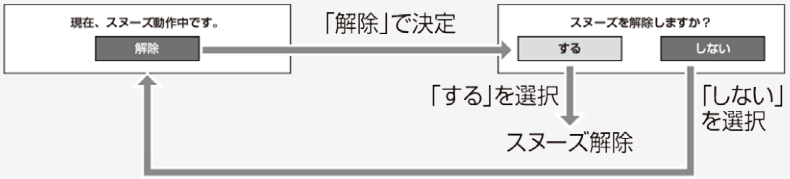
おはようタイマーの設定項目

項目	内容
おはようタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。下記の曜日で設定した「1回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。
曜日	• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週〇曜」（〇は日から土のいずれか）「1回だけ」の中から選べます。
時刻（時）	• 時刻（時）を設定します。
時刻（分）	• 時刻（分）を設定します。
入力	• タイマーで電源が入ったとき表示される画面を、放送の種類（地上D、BS、CS）、入力、コンテンツマネージャーから選びます。 • 「コンテンツマネージャー」を選んだときは、USBメモリーの音楽が再生されます。USBメモリーのいちばん上の階層に「GM」という名称のフォルダを一つだけ作成し、その中にMP3ファイルを入れておくと、おはようタイマーとして再生できます。
CH	• 電源が入ったときの画面に表示される、チャンネル(数字)ボタンに割り振られた番号を選びます。
音量	• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0～100の範囲で選べます。
アラーム音	• タイマーで電源が入ったときに鳴る音声（なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥）を選びます。 • アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。 • アラーム音は5分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。

次ページへつづく⇒

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

おはようタイマーの設定項目（つづき）

モード	通常	• 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
	サンライズ サンライズ（アイコン）	• 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。 • 「サンライズ（アイコン）」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。
	スヌーズ	• いったん電源を切っても、5分後に再度電源が入るようにします。 • 音量を下げた場合でも、5分後に元の音量に戻します。 • チャンネルや入力を切り換えても、5分後に元のチャンネルに戻します。 • 「解除」—「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 • 「解除」—「する」を選択しないかぎり、7回（35分間）スヌーズ動作を繰り返します。 • スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 • 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 • 「電源ボタン設定」（⇒ 2-15ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。 ▼スヌーズ機能動作中の画面表示 

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

お知らせ

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- タイマー1～7は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7回別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、「一回だけ」のタイマーのみが作動し、他に設定したタイマーは作動しません。
- タイマー1～7が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。
- 「曜日」が「1回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

次ページへつづく⇒

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

お知らせ

おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作すると、設定値に従った明るさと操作時点の音量になります。
- 10分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用時の明るさに戻ります。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源ボタン設定」（⇒ 2-15ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

ヘッドホンを挿している場合は

- ヘッドホンを挿しているときでも、おはようタイマーで起動した際にはスピーカーからも音が出ます。途中で何か操作をすると、通常のヘッドホン出力に戻ります。
- 「デジタル音声設定」（⇒ 2-53ページ）を「ビットストリーム」に設定している場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、アラーム音が出力されません。
- コンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときなどは、残り時間が「00分00秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。

タイマー機能を使う

タイマーで音を鳴らす（お知らせタイマー）

- 設定した時間の後になったら、知らせてくれる便利な機能です。

入力できる時間について

- 「00分01秒」～「99分59秒」の間で設定できます。（初期値は「03分00秒」です。）

お知らせタイマーの電子音について

- 「デジタル音声設定」（⇒ 2-53ページ）を「ビットストリーム」に設定している場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、電子音が出力されません。

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う



タイマーで音を鳴らす（お知らせタイマー）

1. ツール (字幕)を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「お知らせタイマー」を選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「分」または「秒」の欄を選び、チャンネル(数字)ボタン 1 ～ 10/0 で時間を入力する
   - お知らせタイマーの設定を中止したいときは、戻るを押します。
3. 上下カーソルボタンで「開始」を選び、決定を押す
   - カウントダウンが始まります。
   - 残り時間が「00分00秒」になると電子音が1分間鳴り続けます。
   - リモコンのいずれかのボタンを押すと、電子音が止まります。

次のようなときは、電子音が止まります。

- 本機の電源を「切」にしたとき

次ページへつづく⇒

タイマー機能を使う



タイマーで音を鳴らす（お知らせタイマー）

カウントダウンを一時停止するには

- ツール（字幕）を押し、上下カーソルボタンで「タイマー機能」ー「お知らせタイマー」で 決定 を押し、緑を押します。再度緑を押すと、カウントダウンが再開します。

お知らせタイマーを解除したいときは

- カウントダウン中にツール（字幕）を押し、上下カーソルボタンと 決定 で「タイマー機能」ー「お知らせタイマー」ー「解除」を選びます。

お知らせ

- お知らせタイマーが「00分00秒」になったとき、同時に選局操作や視聴予約、録画予約が動作した場合は、電子音が少し遅れて鳴ることがあります。
- 消音中は、残り時間が「00分00秒」になっても電子音が鳴りません。
- コンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときなどは、残り時間が「00分00秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。

ふだんの使いかた

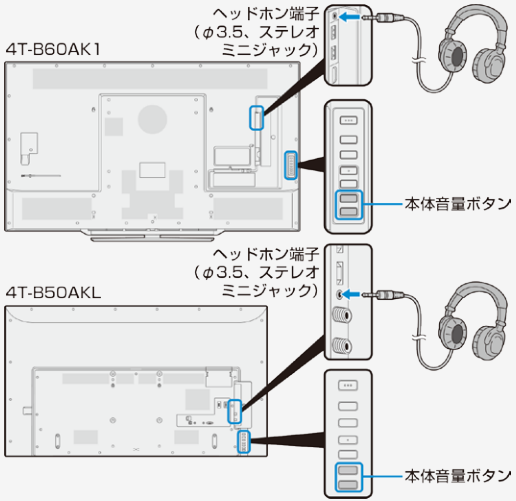
ヘッドホンで音声を聞く

ヘッドホンの設定をする

- ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声の設定をします。

1. ホームを押してホームメニューを表示する
2. 左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「外部端子設定」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「ヘッドホン」を選び、決定を押す
5. 上下カーソルボタンで「モード1」「モード2」「モード3」のいずれかを選び、決定を押す

- スピーカーとヘッドホン端子から出る音声と音量調整方法は下記をご覧ください。



設定	音声出力		音量調整方法	
	ヘッドホン	本体スピーカー		
モード1	○	×	リモコンまたは本体の音量ボタンで調整	
モード2	○	○	ヘッドホンの音量は本体の音量ボタンで調整	
			本体スピーカーの音量はリモコンの音量ボタンで調整	
モード3	○	1画面 ×	1画面時	リモコンまたは本体の音量ボタンで調整
		2画面 ○	2画面時	ヘッドホンの音量は本体の音量ボタンで調整
				本体スピーカーの音量はリモコンの音量ボタンで調整

設定メニューの使いかた



設定メニューの基本的な操作のしかた

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンでホームメニュー項目「設定」を選び、決定を押す
   - 左右カーソルボタンを押すと、次のようにホームメニュー項目を選べます。

     チャンネル ↔ 設定 ↔ ツール
     番組表(予約) ↔ リンク予約※ ↔ リンク操作

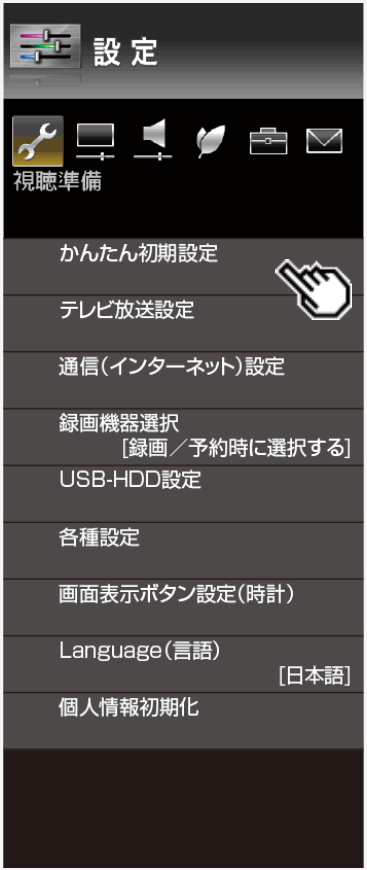
   ※レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

2. 上下左右カーソルボタンで目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
     例：「設定」の場合

     視聴準備 ↔ 映像調整 ↔ 音声調整
     お知らせ ↔ 機能切換 ↔ 安心・省エネ

   - ホームメニュー項目（手順1）を選び直したいときは、戻るを押します。

設定メニュー項目の一覧



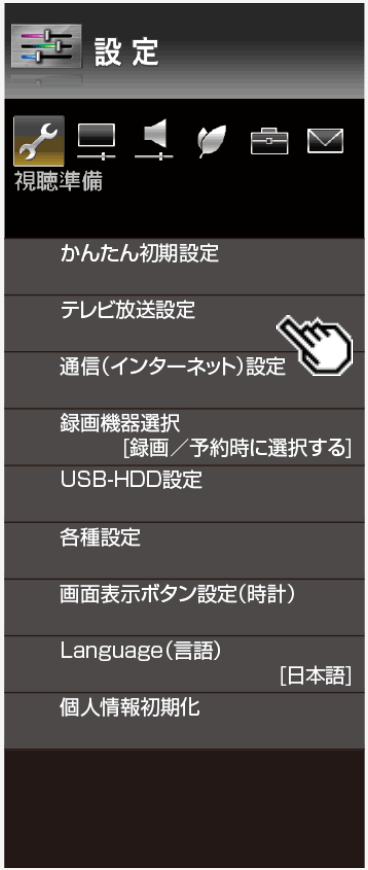
かんたん初期設定

- お買いあげ後、B-CASカードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できるテレビ放送のチャンネルが設定されます。

メニュー項目名
事前準備
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
ネット設定
確認

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



テレビ放送設定

チャンネル設定

地上デジタル

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

BSデジタル

- BSデジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

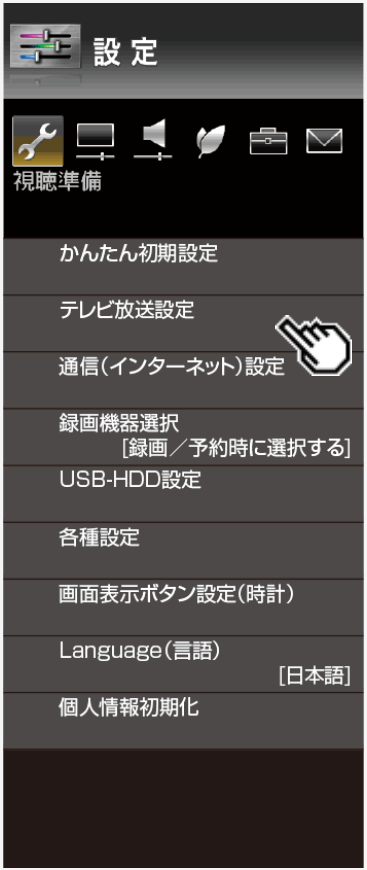
CSデジタル

- CSデジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。

メニュー項目名			設定
チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタルー自動	する、しない
		ー追加	する、しない
		ー個別	各CHの設定
		ー選局順	モード1、モード2
		チャンネル更新設定	自動、手動
	BSデジタル		各CHの設定
	CSデジタル		各CHの設定

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



テレビ放送設定（つづき）

スキップ設定

- 各放送のチャンネルスキップの設定を行います。
  選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。

アンテナ設定

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」を行ってください。）

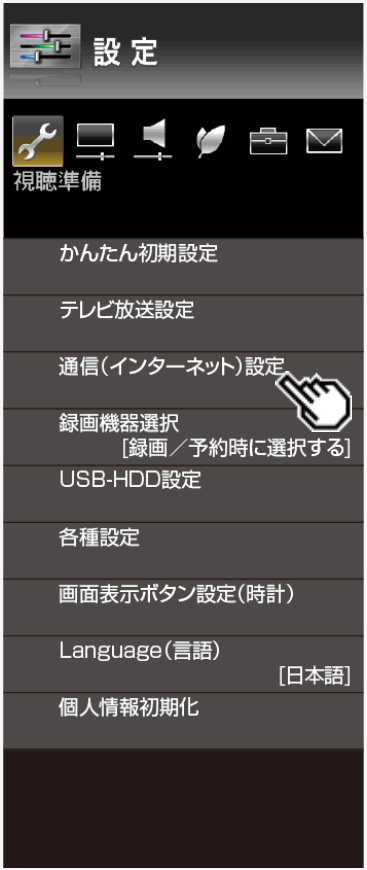
地域設定

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

メニュー項目名		設定
スキップ設定		地上デジタル
		BSデジタル
		CSデジタル
アンテナ設定	電源・受信強度表示	オート、入、切
	周波数設定	
	信号テスト－地上D	
	信号テスト－BS	
	信号テスト－CS	
地域設定		地域選択
		郵便番号設定

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



通信(インターネット)設定

LAN設定
- IPアドレスなどを設定する場合に選択します。 (⇒5-10～5-17ページ)

メニュー項目名		設定
LAN設定	LAN設定(IPv4)	変更する、初期化する
	LAN設定(IPv6)	変更する、初期化する

IPTV設定
- IPTV(ひかりTV)を視聴するときの設定を行います。 (⇒5-37ページ)

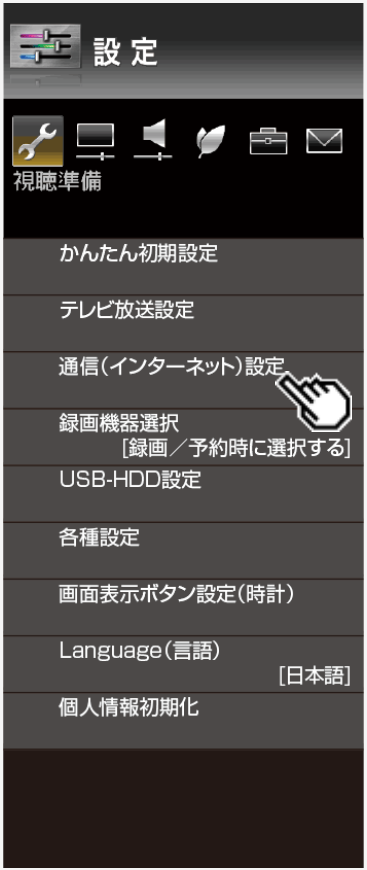
メニュー項目名			設定
IPTV設定	サービス設定		する、しない
	基本登録		事業者ID、事業者名
	チャンネル設定	IPTV設定－自動	する、しない
		－追加	する、しない
		－個別	各CHの設定
	受信状態		

インターネットボタン設定
- リモコンのインターネットボタンを押すだけで、テレビ視聴中からインターネットに切り換える設定をします。

メニュー項目名	設定
インターネットボタン設定	する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



通信(インターネット)設定(つづき)

AQUOSコネクト設定

- 携帯端末やパソコンを使って本機をリモート操作するときに必要な設定です。

ホームネットワーク設定

リモート再生設定

- 本機がリモート再生を許可する設定です。 (⇒5-54ページ)

タイムアウト設定

- ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。 (⇒5-55ページ)

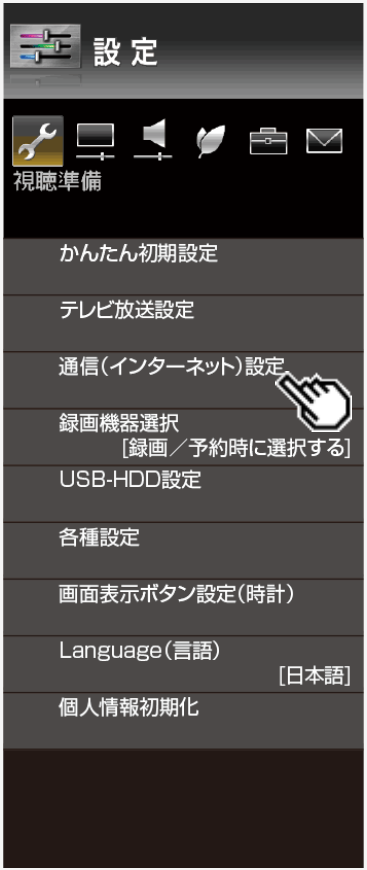
サーバー設定

- サーバー機能を有効にします。本機のコンテンツをホームネットワーク上の対応した機器で再生できるようになります。

メニュー項目名		設定
AQUOSコネクト設定	AQUOSコネクト設定	する、しない
	詳細設定	ログインID、 パスワード、 コントロールポート
ホームネットワーク設定	リモート再生設定	許可する、許可しない
	タイムアウト設定	0秒、10秒、60秒、しない
	サーバー設定	する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



通信(インターネット)設定(つづき)

ネットサービス制限設定

デジタル放送接続制限

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。 (⇒5-18ページ)

インターネット接続制限

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。 (⇒5-19ページ)

プロキシサーバー設定

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。 (⇒5-20ページ)

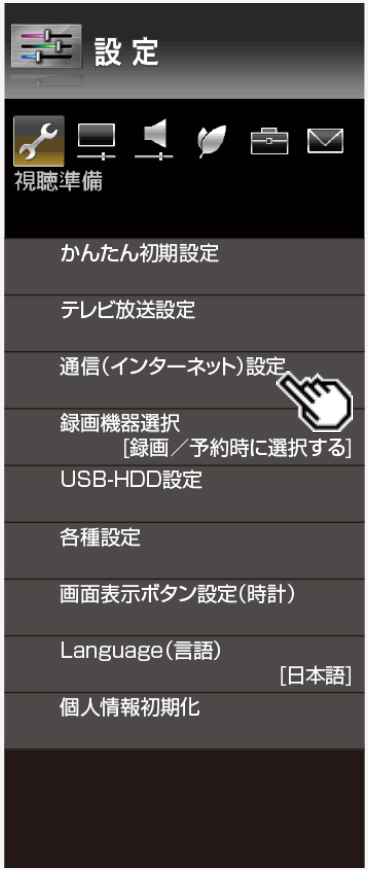
ブラウザ制限

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URLを入力してページを表示させる機能を禁止することができます。 (⇒5-33ページ)

メニュー項目名		設定
ネットサービス制限設定	デジタル放送接続制限	禁止する、禁止しない
	インターネット接続制限	禁止する、禁止しない
	プロキシサーバー設定	プロキシサーバー、利用する、利用しない、変更する、アドレス、ポート
	ブラウザ制限	禁止する、禁止しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



通信(インターネット)設定(つづき)

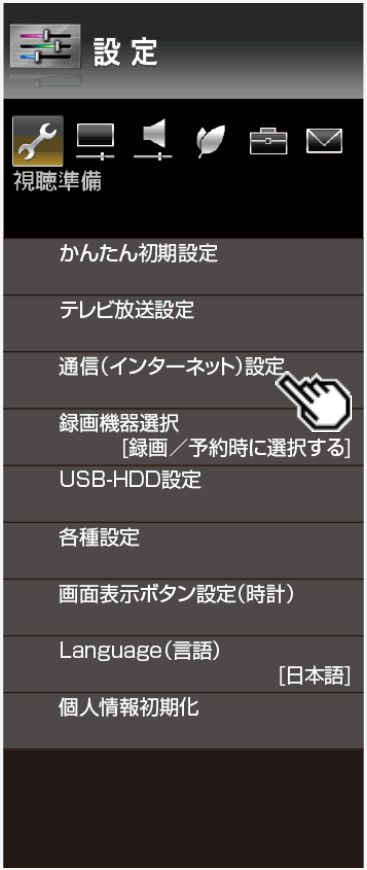
テレビ名設定

- ホームネットワーク上に表示される本機の機器名を変更するための設定です。

メニュー項目名	設定
テレビ名設定	機器名

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



スマートフォン用アプリ「AQUOSコネクト」について

AQUOSコネクトの詳細については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

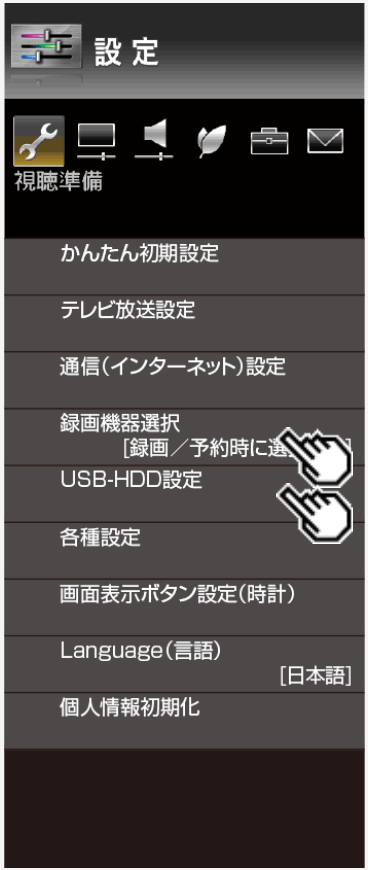
AQUOS サポートページ

シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索

http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



録画機器選択

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。
(⇒4-22・6-14ページ)
ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

USB-HDD設定

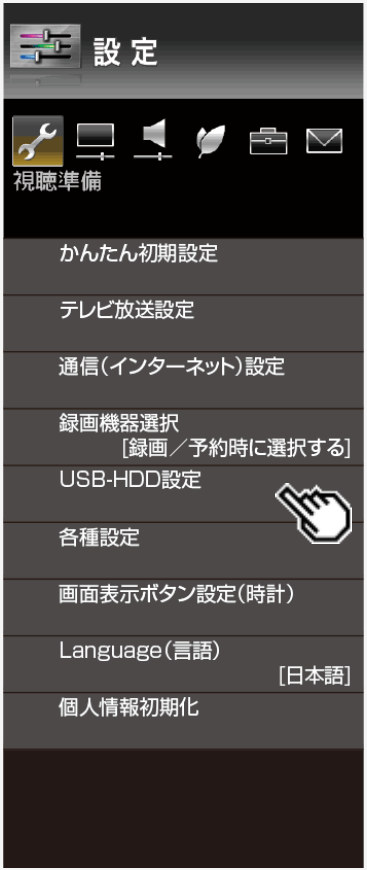
機器の初期化
- USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。
(⇒4-7ページ)

機器の登録解除
- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。すでに16台登録された状態で新たにUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。
(⇒4-13ページ)

メニュー項目名	設定
機器の初期化	する、しない
機器の登録解除	

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



USB-HDD設定(つづき)

機器の取りはずし
- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ず「機器の取りはずし」を行ってください。 (⇒4-11ページ)

録画モード
- ビデオテープの標準モードや3倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。本機でデジタル放送を録画するときは、録画モード(録画時間)「標準(DR)」「モード1」「モード2」が選べます。

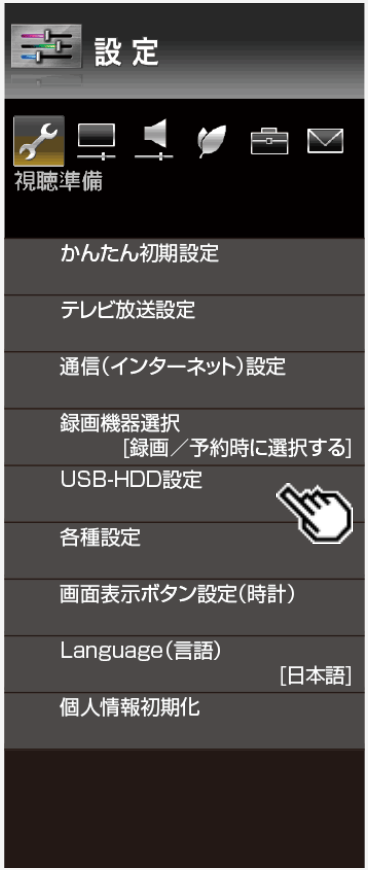
省エネ設定
- USBハードディスクを使わない状態が続いたときに、USBハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

オートチャプター設定
- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

メニュー項目名	設定
機器の取りはずし	
録画モード	標準(DR)、モード1、モード2
省エネ設定	する、しない
オートチャプター設定	おまかせ、しない、10分、15分、30分

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



USB-HDD設定(つづき)

機器名の変更

- USBハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前を付けられます。

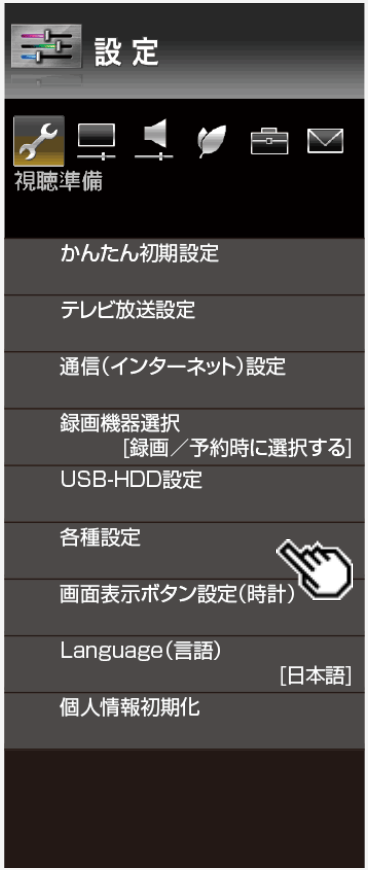
自動録画領域設定

- USBハードディスクに自動録画するのに割り当てる時間を設定します。

メニュー項目名	設定
機器名の変更	する、しない
自動録画領域設定	X時間

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



各種設定

暗証番号設定

- 視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

メニュー項目名	設定
暗証番号設定	する、しない

お知らせ

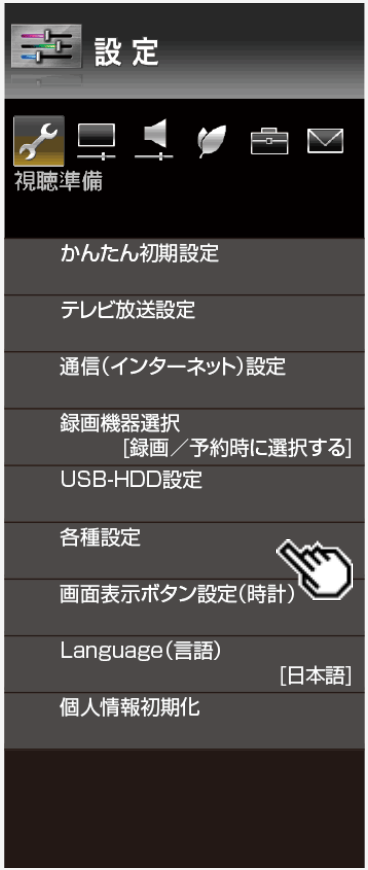
暗証番号を忘れたときは

- 個人情報の初期化が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。

（⇒2-19ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を4～20歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定が必要です。 (⇒2-13ページ)

メニュー項目名	設定
視聴年齢制限設定	XX歳、無制限

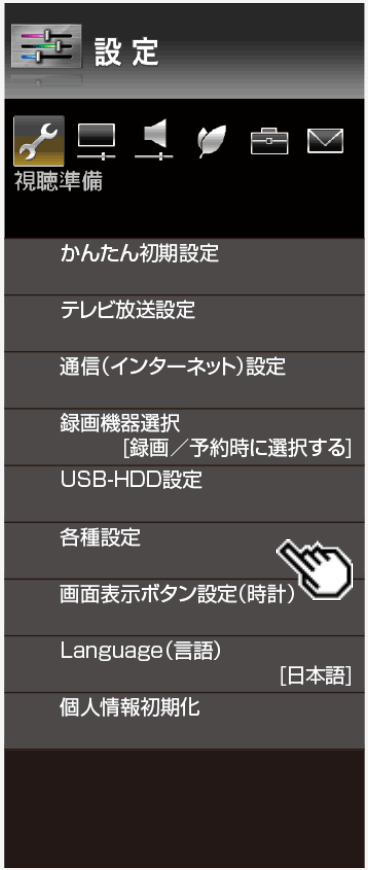
ダウンロード設定

- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。

メニュー項目名	設定
ダウンロード設定	する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

電源ボタン設定

- 本体の電源ボタンで電源を切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。

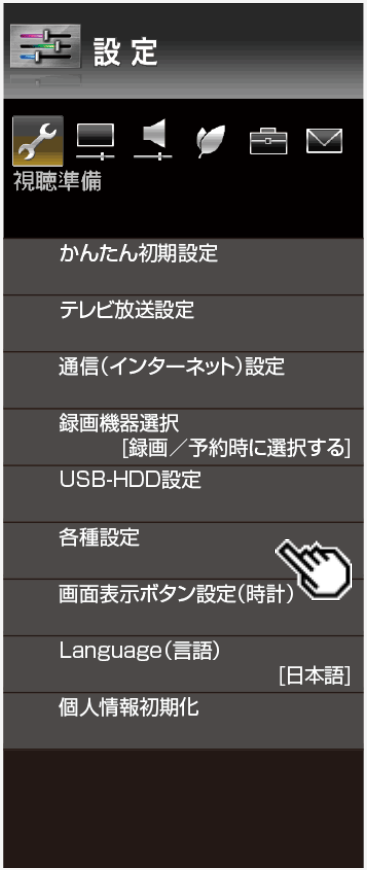
メニュー項目名	設定	
電源ボタン設定	モード1	本体の電源ボタンで電源を切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
	モード2	本体の電源ボタンで電源を切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。

お知らせ

- リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源ボタン設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

イルミネーション設定 ※1

- 本体起動時にイルミネーションを起動する設定をします。

メニュー項目名	設定
イルミネーション設定	する、しない

起動モード設定

- 本体起動時に表示される画面モードの設定をします。

メニュー項目名	設定
起動モード設定	テレビ、テレビ+インターネット

クイック起動設定

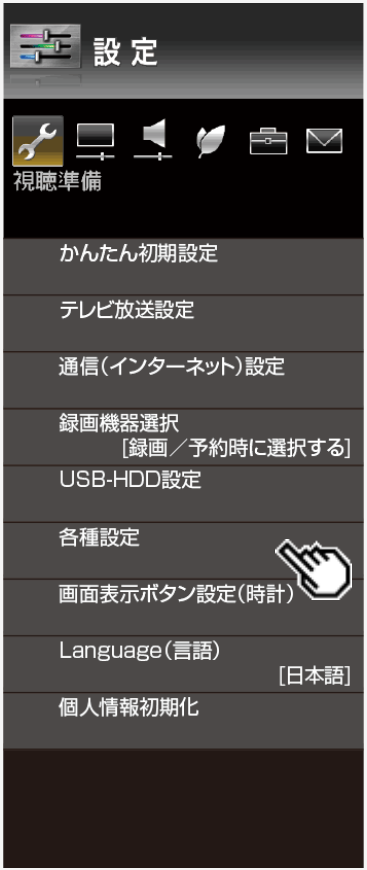
- クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。

メニュー項目名	設定	
クイック起動設定	しない	クイック起動しません。
	する(常に有効)	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、番組表やホームメニューを早く表示させることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
	する(2時間のみ有効)	電源切後2時間のみクイック起動を有効にします。

※1 4T-B60AK1のみに表示されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



各種設定(つづき)

USBメモリー設定

- 写真のコピー先や、ホームネットワークのサーバー機能として使用するUSBメモリーの設定です。

メニュー項目名	設定	
USBメモリー設定	USBメモリーの指定	データの保存先のUSBメモリーを指定します。
	指定済みUSBメモリーの取り外し	接続されている指定済みUSBメモリーを取り外します。

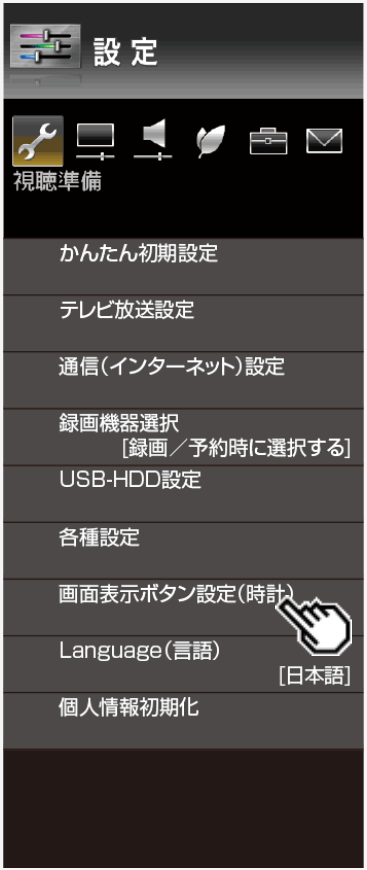
リモコン番号設定

- 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

メニュー項目名	設定
リモコン番号設定	リモコン番号1
	リモコン番号2

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



画面表示ボタン設定(時計)

- リモコンボタンでの表示内容を設定します。

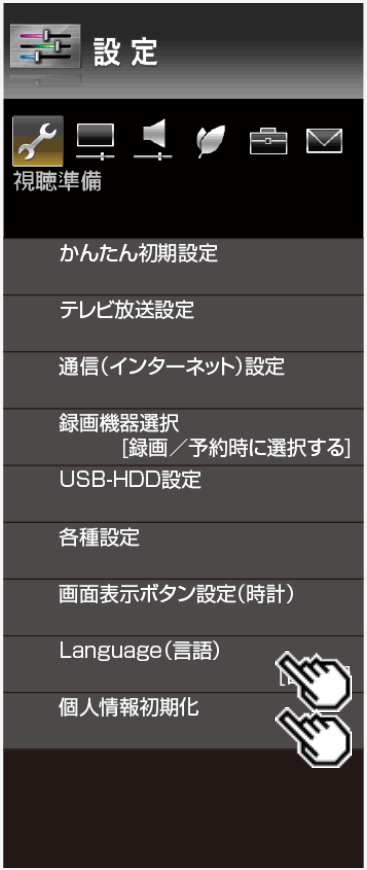
メニュー項目名		設定
チャンネル表示		する、選局時のみ、しない
番組タイトル/放送時間表示		する、選局時のみ、しない
音声/映像/字幕情報表示		する、選局時のみ、しない
時計設定	時刻設定	時刻 時 分
	時刻表示	する、選局時のみ、しない
	時計タイプ	デジタル、アナログ
再生状態表示		する、操作時のみ、しない

お知らせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は12時間表示です。
- 設定できる日付は、2035年12月31日までです。
- 画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
- 「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、視聴している画面によっては「デジタル」の時計が表示されます。
- ホームネットワークまたはUSBで視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



Language(言語)

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

設定
日本語、English

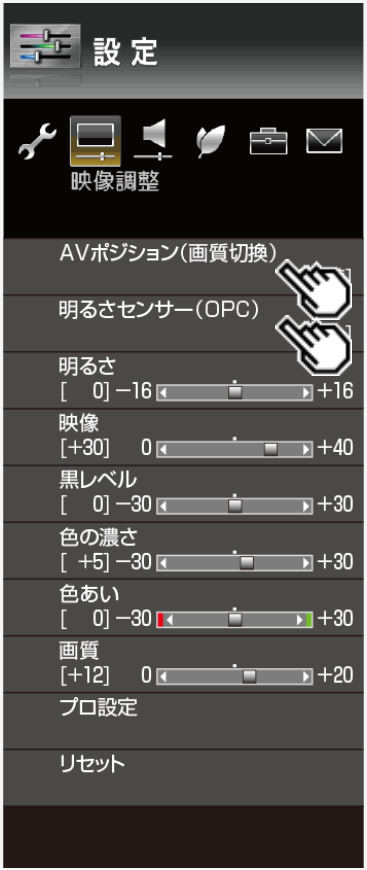
個人情報初期化

- 本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。
  お客様が設定した情報内容(チャンネル設定、予約、各調整値、LAN設定、暗証番号など)がすべて初期化されます。

設定
全ての情報を消去、USB-HDDの情報を残して消去、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



AVポジション(画質切換)

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。

設定
標準、映画、ゲーム、PC、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定)

ツールメニューからも設定できます。 (⇒2-63ページ)

お知らせ

- 入力によっては選択できないAVポジションがあります。
  接続する機器によっては、記載されていないAVポジションが表示される場合があります。

明るさセンサー(OPC)

- 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入:表示あり」「入」「切」で設定します。

設定
切、入、入:表示あり

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



明るさ

- 画面をお好みの明るさに手動で調整します。(調整すると、上の項目の「明るさセンサー(OPC)」は「切」になります。)

設定
−16〜0〜+16

映像

- 映像の強弱を調整します。

設定
0〜+40

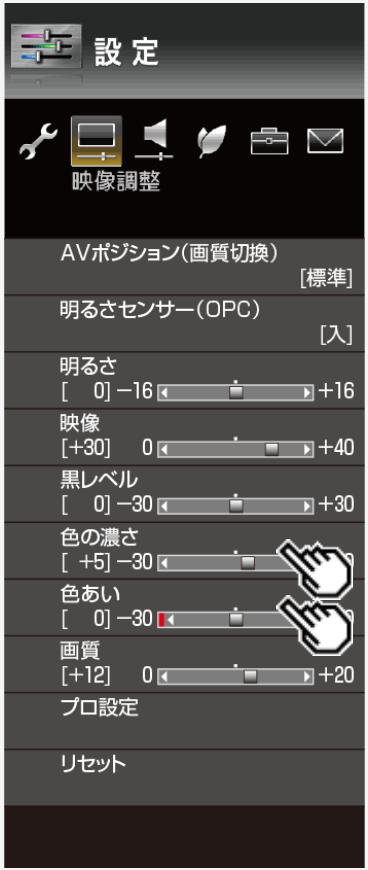
黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整します。

設定
−30〜0〜+30

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

設定
−30〜0〜+30

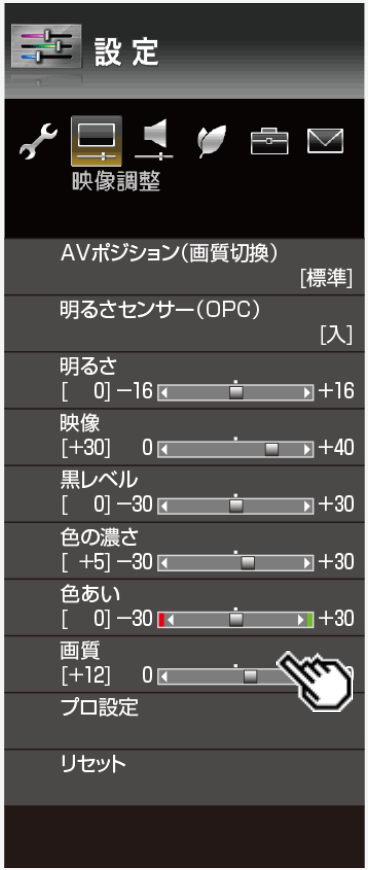
色あい

- 色を調整します。

設定
−30〜0〜+30

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



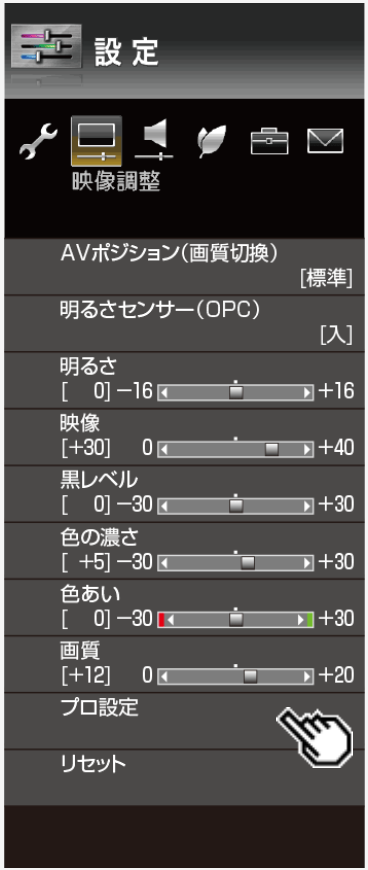
画質

- 画面をお好みの画質に調整します。
  AQUOS純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。

設定
0〜+20

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定

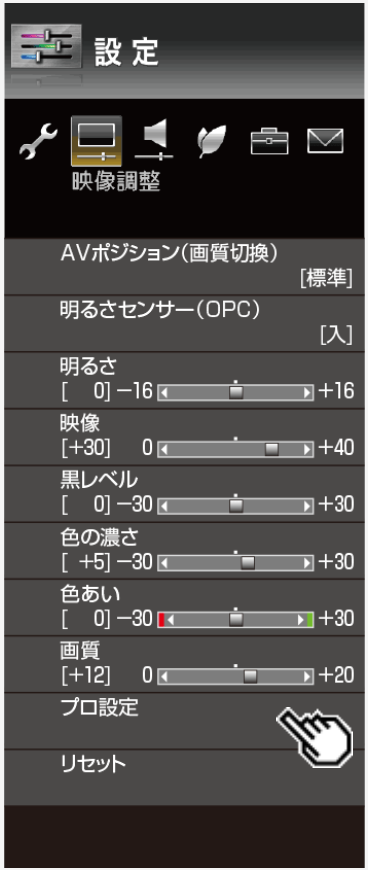
色域モード

- 表示する色再現範囲を設定します。

設定
アドバンス、スタンダード

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

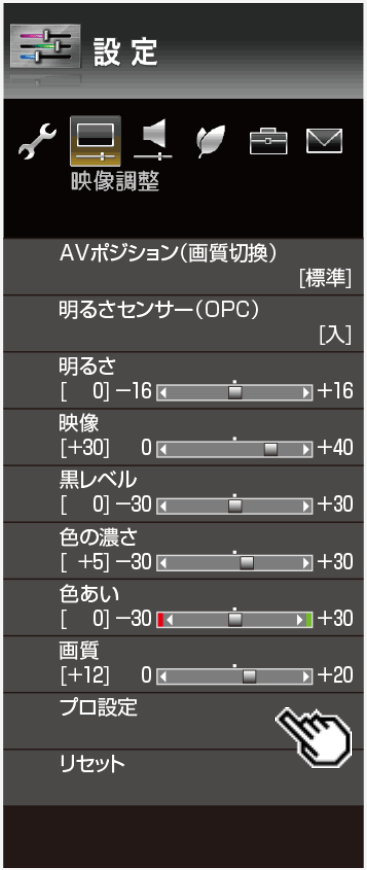
色温度

- 青みがかった白(色温度:高)にするか、赤みがかった白(色温度:低)にするかを調整します。

メニュー項目名		設定
色温度	色温度	高、高−中、中、中−低、低

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

動画補正

- 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする設定です。

設定
4T−B60AK1:アドバンススピード、アドバンス(強)、アドバンス(標準)、切 4T−B50AKL:120スピード、切

お知らせ

- コンテンツマネージャーで写真や音楽を再生しているときは選択できません。ただし、動画を再生しているときは、選択できます。

解像感※1

- 高精細でよりくっきりとした映像にします。

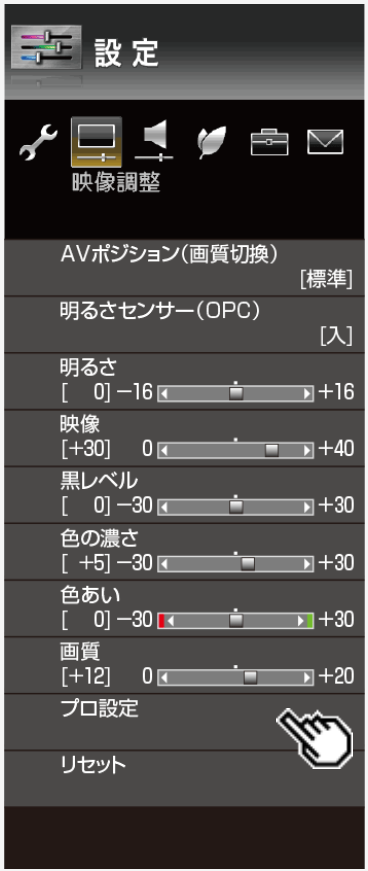
メニュー項目名	設定
ディテール(高域)	0〜+10
ナローエッジ(中域)	0〜+10
ワイドエッジ(低域)	0〜+10

お知らせ

※1 4T−B60AK1のみ対応です。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

アクティブコントラスト ※1

- シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。

メニュー項目名	設定
アクティブコントラスト ※1	する、しない

ガンマ設定

- 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。

HDRガンマ設定 ※2

- HDR信号入力時の映像調整をします。値を大きくすると輝度を重視し、値を小さくすると明るさを抑え、階調表現を重視します。

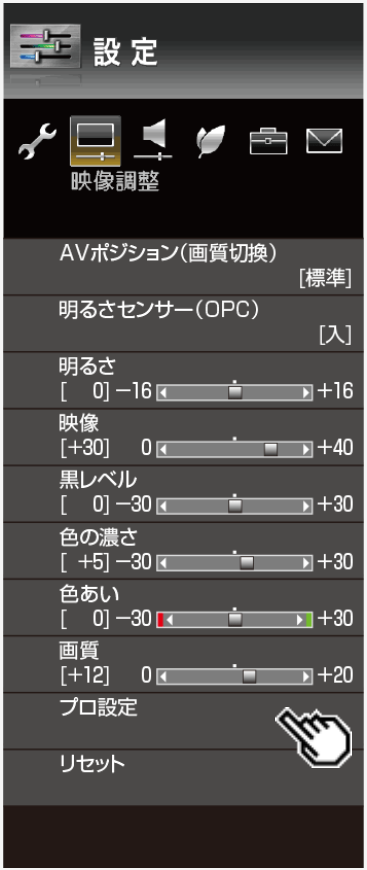
メニュー項目名	設定
ガンマ設定	−3〜0〜+3
HDRガンマ設定 ※2	−2〜0〜+2

お知らせ

※1 視聴している画面によっては選択できません。
※2 入力1に切り換え、HDR信号入力時以外は選択できません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

フィルムモード ※1※3※4※5

- フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。

デジタルNR ※2※4※5

- 映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。

リビングビュー ※6

- 階調表現をコントロールし、広範囲で視聴するのに適した設定です。

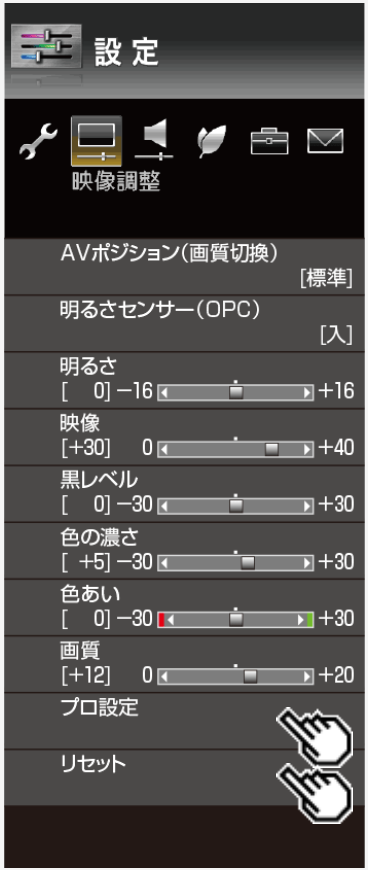
メニュー項目名	設定
フィルムモード	4T-B50AKL:する、しない 4T-B60AK1:アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
デジタルNR	自動、強、中、弱、しない
リビングビュー	する、しない

お知らせ

※1 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※2 AVポジションが「PC」のときは選択できません。
※3 入力信号がPC信号のときは選択できません。
※4 視聴している画面によっては選択できません。
※5 入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
※6 4T-B50AKLのみ表示されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



プロ設定(つづき)

明るさセンサー(OPC)設定

- 明るさセンサー(OPC)「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。
  周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。

メニュー項目名		設定
明るさセンサー(OPC)設定	最大値設定	−16〜0〜+16
	最小値設定	−16〜0〜+16

リセット

- 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

設定
する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



オートボリューム

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

設定	
強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
中	音量変化を中くらいに抑えます。
弱	音量変化をわずかに抑えます。
切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。

お知らせ

- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。
- 放送やBD/DVDなどのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



高音

- 高音を調整できます。

設定
−15～0～+15

低音

- 低音を調整できます。

設定
−15～0～+15

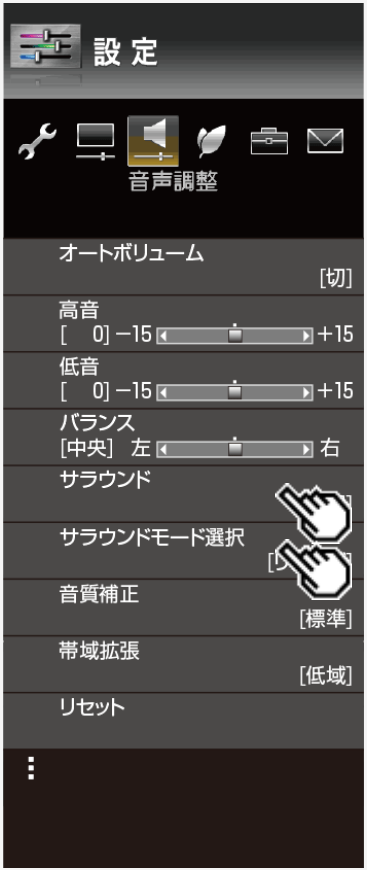
バランス

- 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。

設定
左30～中央～右30

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



サラウンド

- 内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。

設定
自動、入、切

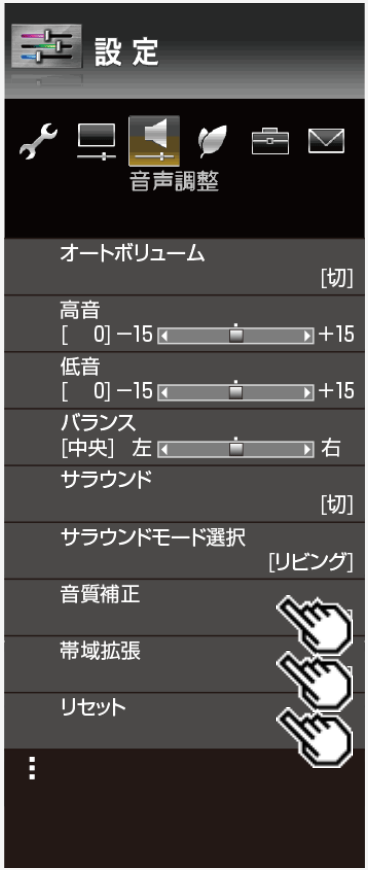
サラウンドモード選択

- サラウンド有効時のモードを選択します。

設定	
リビング	立体的なサラウンドが楽しめます。
シアター	映画館のような臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。
ホール	ホールで聞いているようなサラウンドが楽しめます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



音質補正※1

- 選択しているAVポジションの音質を設定します。

設定	
標準	標準設定です。
ダイナミック	メリハリのきいた設定です。

帯域拡張

- 低域と高域を拡張します。

設定
低域＋高域、低域、しない

リセット

- 上記の音声調整設定を工場出荷時の設定に戻します。

お知らせ

※1 4T-B60AK1のみ表示されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



壁掛視聴設定

- この機能は、当社が開発した壁掛け設置に適した音質の設定機能です。

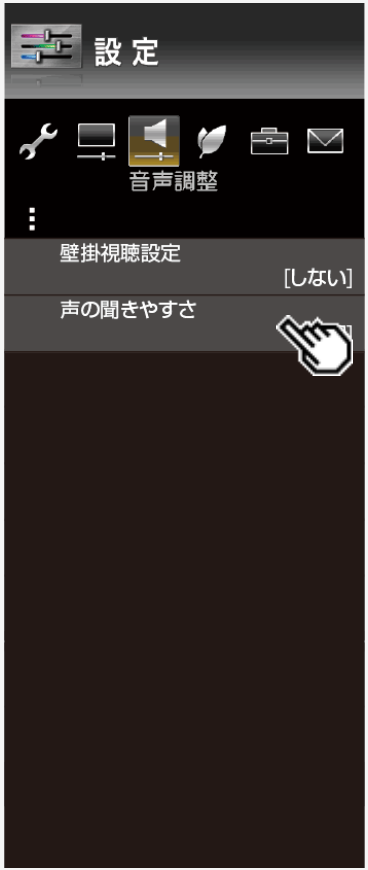
メニュー項目名	設定
壁掛視聴設定	する、しない

お知らせ

- 壁掛視聴設定は、一般的な壁に掛けた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合は、ホームメニューから「設定」ー「(音声調整)」で調整してください。
- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、視聴設定は選べません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- 壁掛視聴設定は4T-B60AK1のみ対応です。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



声の聞きやすさ

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

設定	
標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
切	この機能を無効にします。（工場出荷時設定）

お知らせ

- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



照明オフ連動

- 部屋の照明を消すなど、本機の周囲が明るい状態から暗くなったときに自動的に本機の電源をオフにします。

メニュー項目名	設定	
照明オフ連動	解除、設定	照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。
電源切（待機状態）移行時間	0分、15分、30分、60分	部屋の明るさがある程度の暗さに変わってから、画面の明るさと音量を徐々にさげ、何分後に本機の電源を「切」にするかを設定します。
表示設定	アイコン＋文字、文字のみ	画面にアイコンとメッセージを表示するか、メッセージのみ表示するかを選択します。

お知らせ

- 明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



セーブモード設定

メニュー項目名	設定	
セーブモード映像オフ	する、しない	セーブモードにすると映像が消えるように設定できます。（音声は消えません）
セーブモード画質	する	画面の明るさを最小にして消費電力を抑えつつ、見やすい画質にします。
	しない	画面の明るさを控えめ（最小にはしない）にして、消費電力を抑えます。
セーブモード無信号オフ	する	セーブモードにすると、「無信号オフ」が「する」に自動で設定されます。（⇒2-39ページ）
	しない	「無信号オフ」の設定に従います。（⇒2-39ページ）
セーブモード無操作オフ（3時間）	する	セーブモードにすると、「無操作オフ」が「3時間」に自動で設定されます。（⇒2-39ページ）
	しない	「無操作オフ」の設定に従います。（⇒2-39ページ）

お知らせ

- セーブモードへの切り換えはホームメニューから「設定」ー「(機能切換)」ー「視聴操作」ー「セーブモード」を選んでください。
- セーブモードに設定されている場合は、映像調整ができません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



映像オフ

- 映像を消して音声だけを聞くことができます。

設定
する、しない

お知らせ

- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



無信号オフ

- 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。

設定
する、しない

お知らせ

- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

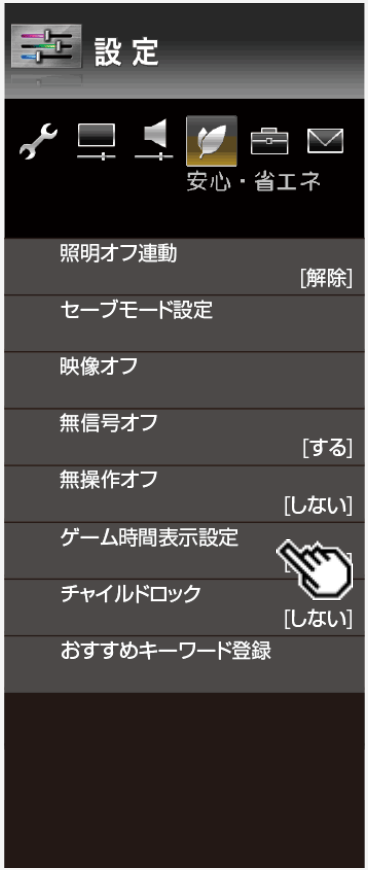
無操作オフ

- 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定
しない、30分、1時間、2時間、3時間

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



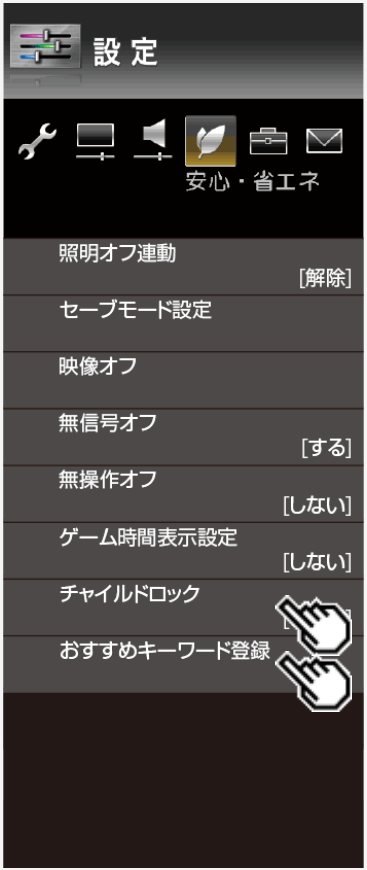
ゲーム時間表示設定

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を30分ごとに表示する機能です。
- 入力1～入力6に入力切換しているときに表示されます。

設定
する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



チャイルドロック

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

設定
しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック

お知らせ

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン（⇒同梱取扱説明書）で操作し、ロックを解除してください。
（⇒8-20ページ ビジュアルガイド）

おすすめキーワード登録

- おすすめキーワードの登録を行います。キーワード入力後、「詳細設定」から以下のメニュー項目を設定してください。

メニュー項目名	
キーワード	検索の対象にしたいキーワードを設定します。
除外ワード	検索の結果から除外したいキーワードを設定します。
ジャンル	各種ジャンルから検索の対象にするかどうかを設定します。
自動録画	見つかった番組を自動で録画するかどうかを設定します。
録画先HDD	自動で録画するUSB-HDDを設定します。
対象の放送	自動録画の対象にする放送種別「地上D」「BS」「CS」を設定します。
有料チャンネル	有料放送を自動録画の対象にするかどうかを設定します。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



視聴操作

メニュー項目名	
番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。 リモコンの番組情報でも表示できます。（⇒1-15ページ） ツールメニューからも表示できます。（⇒2-64ページ）
画面表示	視聴中のチャンネル情報を表示します。 リモコンの画面表示でも表示できます。（⇒1-23ページ）
3桁入力	3桁のチャンネル番号を入力して選局します。 ツールメニューからも選局できます。（⇒2-64ページ）
テレビ/ラジオ/データ/ポータル	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。 ツールメニューからも切り換えられます。（⇒2-65ページ）
dデータ	データ連動がある番組のとき、データ画面を表示できます。
映像切換	複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えられます。
音声切換	複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えられます。
字幕	字幕の表示方式や表示言語を変更します。 ツールメニューからも変更できます。（⇒2-65ページ） （詳しい操作手順は⇒1-18ページ）
静止	画面を静止させます。（詳しい操作手順は⇒1-14ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



視聴操作（つづき）

メニュー項目名	
画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。 ツールメニューからも操作できます。（⇒2-67ページ） （画面サイズ切換の設定項目については⇒ 9-5ページ）
2画面	2つの映像を同時に画面表示します。 ツールメニューからも表示できます。（⇒2-64ページ）

「画面サイズ」について

- USBメモリーの画像の表示中は、画面サイズの切り換えはできません。
- 字幕表示の「表示方式」を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。（⇒1-21ページ）
- 1035iは、本機では「1080i」と表示されます。
- ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル2」でご覧ください。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧

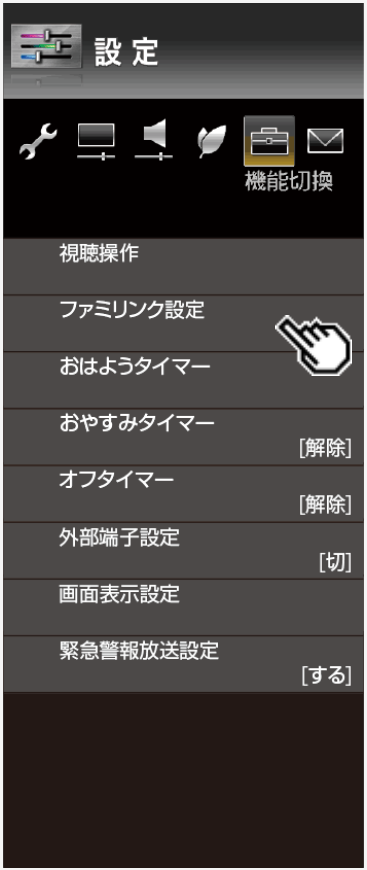


視聴操作（つづき）

メニュー項目名	
録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間・カウンター、録画モード、録画可能時間などを10秒程度表示します。 ツールメニューからも表示できます。 （⇒2-63ページ）
ファミリンク操作	ファミリンク機器の操作ができます。
セーブモード	セーブモードでの視聴に切り換えできます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



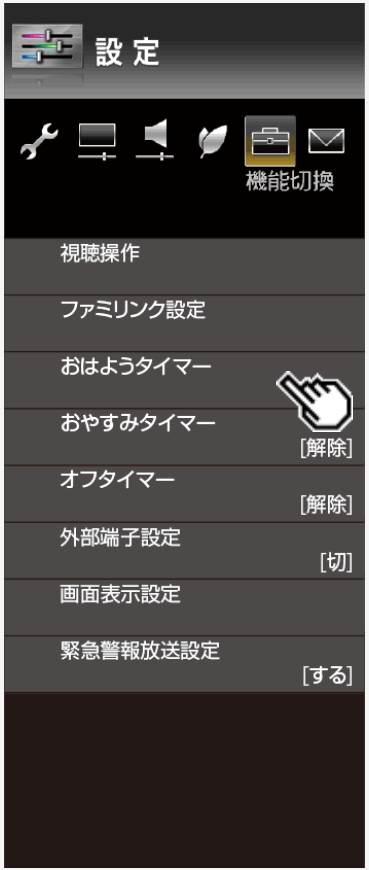
ファミリンク設定

メニュー項目名		設定	
ファミリンク制御（連動）		する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
連動起動設定		する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
ファミリンクレコーダー選択		録画・ファミリンク連携に使用するファミリンク機器を選択します。	
一時停止/静止ボタン機能切換		AQUOSタイムシフト、画面静止	一時停止／静止ボタンの機能を切り換える設定です。AQUOSタイムシフトを使用する場合は、対応するファミリンクレコーダーが必要です。また、ファミリンクレコーダー側での設定が必要です。詳しくはファミリンクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
ジャンル連動		する、しない	デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。
選局キー	入力1	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOSレコーダーの操作が行えます。 （⇒6-18ページ） 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
	入力2	自動、する、しない	
	入力3	自動、する、しない	
	入力4	自動、する、しない	
ARC設定		自動、切	「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

ツールメニューからも設定できます。（⇒2-69ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。(ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。) おはようタイマーを設定すると、本体の下記のランプが橙色に点灯します。
  ・4T-B50AKL:POWER/TIMER・RECランプ
  ・4T-B60AK1:TIMER/RECランプ
  異なる設定のタイマーを7種類までセットできます。

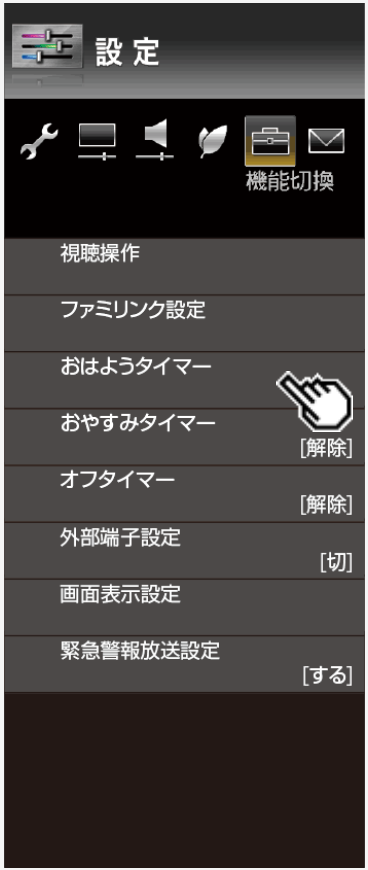
(⇒1-36～1-42ページ)

メニュー項目名	設定
おはようタイマー	解除、設定
曜日	毎日、月ー土、月ー金、毎週日曜～毎週土曜、 1回だけ
時刻(時)	おはようタイマー時刻設定 時
時刻(分)	おはようタイマー時刻設定 分
入力	地上D、BS、CS、入力1～6、コンテンツマネージャー
CH	
音量	0～100
アラーム音	なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥
モード	通常、スヌーズ、サンライズ、 サンライズ(アイコン)

ツールメニューからも設定できます。 (⇒2-67ページ)

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー（つづき）

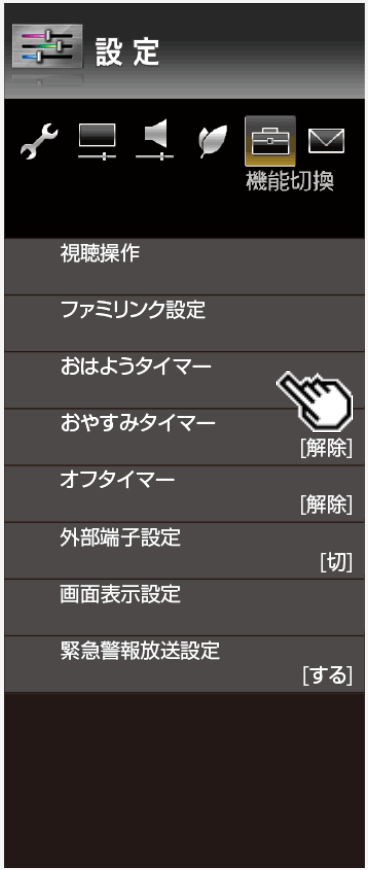
お知らせ

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- タイマー1～7は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7件別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、他のタイマーは作動しません。
- タイマー1～7が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。
- 「曜日」が「1回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



おはようタイマー（つづき）

お知らせ

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。 （⇒2-15ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



おやすみタイマー

- 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

（⇒1-32ページ）

メニュー項目名	設定
おやすみタイマー	解除、設定
時刻（時）	おやすみタイマー時刻設定 時
時刻（分）	おやすみタイマー時刻設定 分
モード	通常、サンセット
表示設定	アイコン+文字、文字のみ

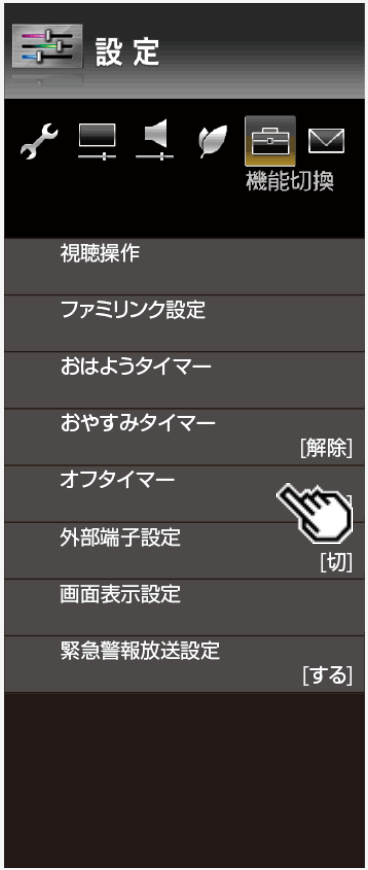
ツールメニューからも設定できます。 （⇒2-67ページ）

お知らせ

- 無操作オフや無信号オフが設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。 （⇒2-39ページ）
- おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を10分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」が必要です。 （⇒2-18ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



オフタイマー

- 指定した時間後に電源を切ります。 （⇒1-29ページ）

設定	
変更する	切、この番組の最後まで（次の番組の最後まで）、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分
変更しない	

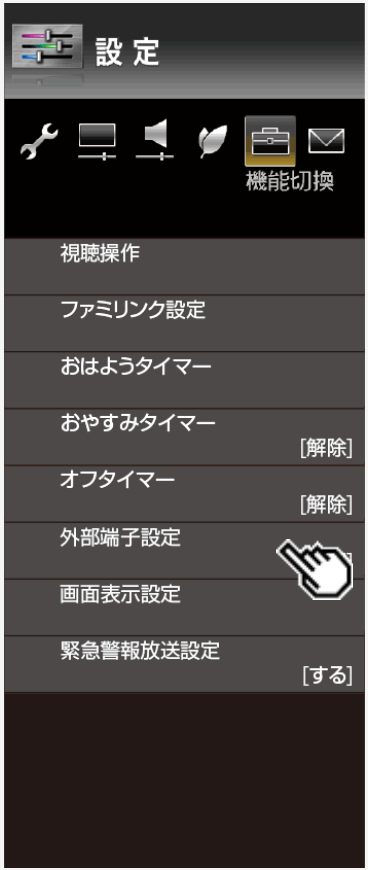
ツールメニューからも設定できます。 （⇒2-67ページ）

お知らせ

- 「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
- 「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。
- 設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
- 番組終了の約2分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
- 番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定

ヘッドホン

- ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

メニュー項目名	設定	
ヘッドホン	モード1	ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
	モード2	ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむときに便利な設定です。
	モード3	1画面時はヘッドホン端子からのみ出力され、2画面時は操作側音声がスピーカーから出力され、非操作側音声がヘッドホン端子から出力されます。

お知らせ

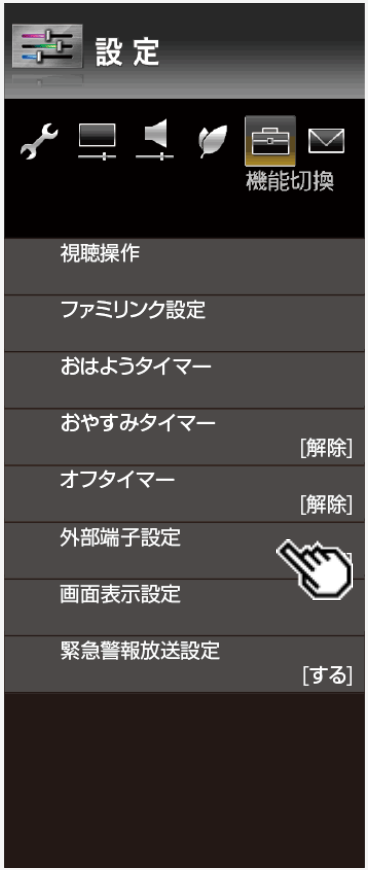
「モード2」「モード3での2画面表示中」の音量調整について

- スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
- ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。
- リモコンの消音ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は「0」になりません。

詳しくは、「ヘッドホンで音声を聞く」をご覧ください。（⇒ 1-46ページ）

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定（つづき）

アナログ音声出力設定

- アナログ音声出力端子の設定を変更します。

入力1音声選択※1

- 入力1時に、音声入力する端子を切換します。

入力6音声選択※2

- 入力6時の音声入力を設定します。

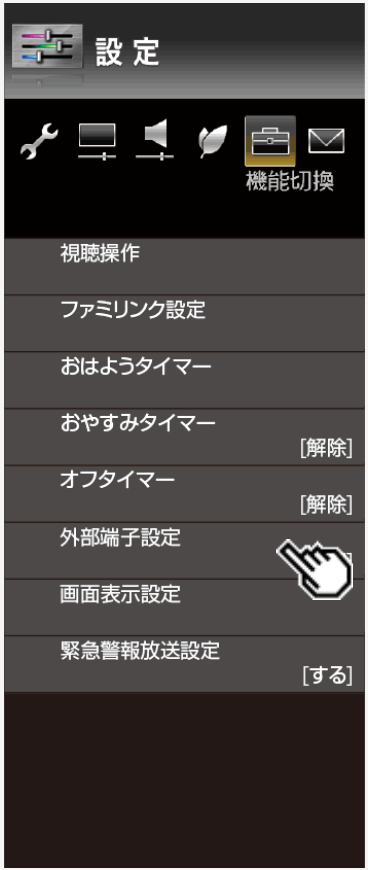
メニュー項目名	設定		
アナログ音声出力設定	モード1	する、しない	音量固定に設定します。テレビのスピーカーからも音が出ます。
	モード2	する、しない	音量可変に設定します。通常、テレビのスピーカーから音が出ません。
	モード3	する、しない	音量可変に設定します。テレビのスピーカーからも音が出ます。
入力1音声選択	HDMI アナログ音声入力		入力1時に、音声入力する端子を切換します。
入力6音声選択	アナログ音声入力 使用しない		入力6時の音声入力を設定します。

お知らせ

※1 入力1に入力切換しているときに表示されます。
※2 入力6に入力切換しているときに表示されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定（つづき）

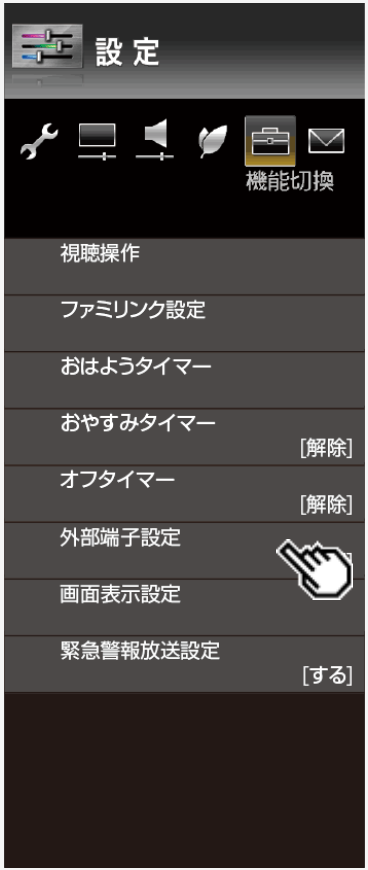
デジタル音声設定

- デジタル音声の信号形式を設定します。

メニュー項目名	設定	
デジタル音声設定	PCM	AAC／ドルビーデジタルに対応していない機器につなぐときは、「PCM」（⇒6-43ページ）に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。
	ビットストリーム	AAC／ドルビーデジタル対応のAVアンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定（つづき）

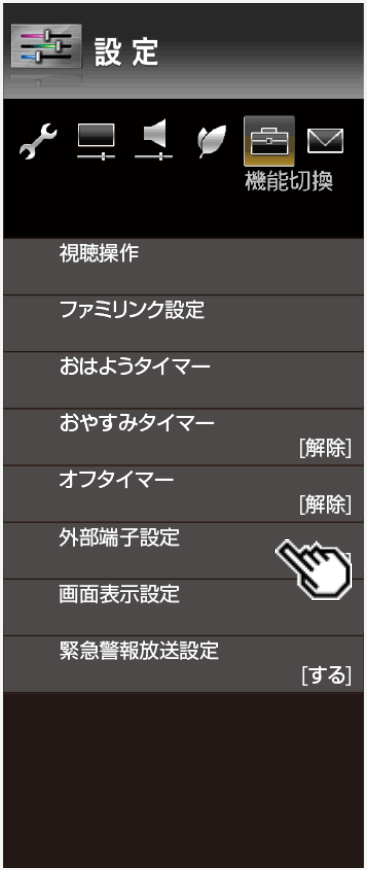
入力スキップ

- 入力1～4、入力6、コンテンツマネージャー、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際にスキップすることができます。

メニュー項目名		設定
入力スキップ	入力1（HDMI）	する、しない
	入力2（HDMI）	する、しない
	入力3（HDMI）	する、しない
	入力4（HDMI）	する、しない
	入力6（PC）	する、しない
	コンテンツマネージャー	する、しない
	地上デジタル（本体）	する、しない
	BSデジタル（本体）	する、しない
	CSデジタル（本体）	する、しない

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



外部端子設定（つづき）

入力表示

- 入力1～6に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

メニュー項目名	設定
入力表示※1	（選択入力で内容変化）ユーザー設定: 編集

HDMIコンテンツタイプ連動

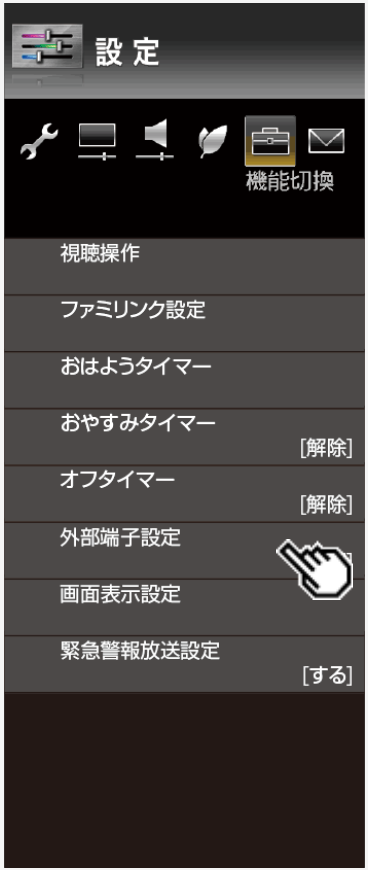
- HDMIケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的にAVポジションを切り換えます。

メニュー項目名	設定
HDMIコンテンツタイプ連動 ※2	する、しない

お知らせ

※1 入力1～入力6に入力切換しているときに表示されます。
※2 入力1～入力4に入力切換しているときに表示されます。

次ページへつづく⇒



設定メニュー項目の一覧

外部端子設定（つづき）

対応信号モード切換

- 接続機器との互換性を保つため、対応信号モードを切り換えます。（入力1のみ）

メニュー項目名	設定	
対応信号モード切換	フルモード（HDR）	接続機器が4K映像の高精細(4:4:4/4:2:2)・広色域(BT.2020)・高コントラスト(HDR)に対応している場合に設定するモードです。
	フルモード	接続機器が4K映像の高精細(4:4:4/4:2:2)・広色域(BT.2020)出力に対応している場合に設定するモードです。
	互換モード1	接続機器が4K映像の高精細(4:4:4/4:2:2)出力に対応している場合に設定するモードです。
	互換モード2	接続機器との互換性を優先するモードです。

各モードの4K映像対応信号

設定	対応フレームレート	対応クロマサンプリング	BT.2020色域入力対応	HDR対応
フルモード(HDR)	24p/30p/60p	4:2:0/4:2:2/4:4:4	○	○
フルモード	24p/30p/60p	4:2:0/4:2:2/4:4:4	○	—
互換モード1	24p/30p/60p	4:2:0/4:2:2/4:4:4	—	—
互換モード2	24p/30p/60p	4:2:0	—	—

※「フルモード(HDR)」「フルモード」で映像や音声が正しく出ない場合は、「互換モード1」または「互換モード2」に設定します。

入力2～4の4K映像対応信号

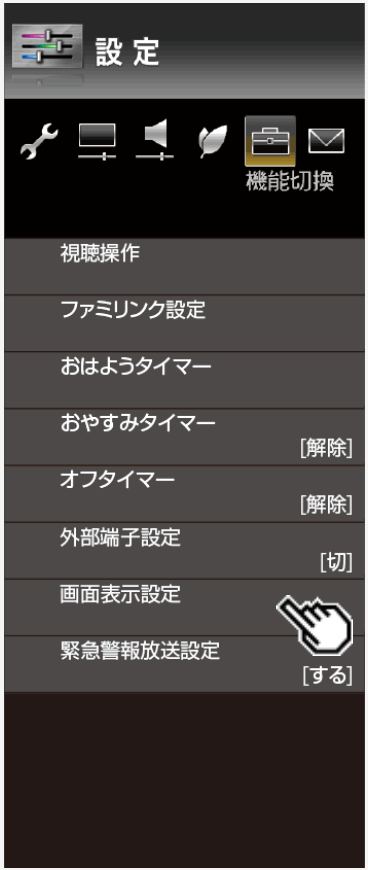
対応フレームレート	対応クロマサンプリング	BT.2020色域入力対応
24p/30p/60p	4:2:0	—

お知らせ

- 入力1に入力切換しているときに表示されます。
- 「フルモード(HDR)」設定時、「明るさセンサー(OPC)」（⇒ 2-20ページ）と「明るさ」（⇒ 2-21ページ）は、HDR映像コンテンツとSDR映像コンテンツで別々に調整が可能です。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



画面表示設定

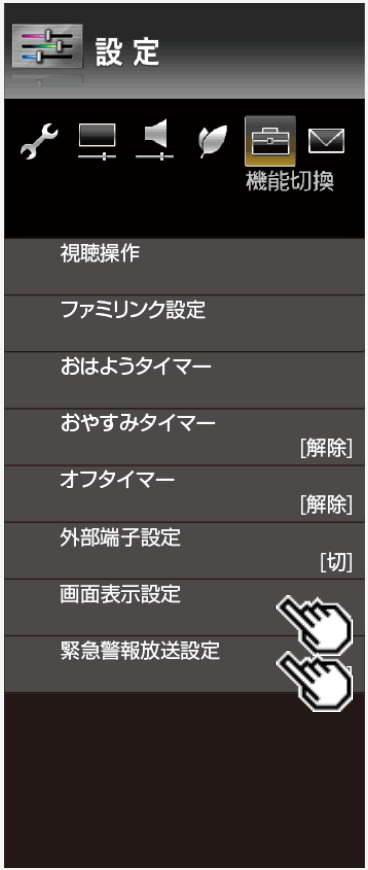
メニュー項目名		設定	
文字サイズ		標準、 大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
文字 スーパー 表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
画面位置	水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。	
	垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。	
	リセット	工場出荷時の状態に戻します。	

お知らせ

- 「文字スーパー表示」を「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。
- 「画面位置」は、インターネット閲覧時は設定できません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



画面表示設定（つづき）

オートワイド

- オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。デジタル放送視聴時は選択できません。

メニュー項目名		設定	
オートワイド	映像判別	する、しない	入力1～5から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（⇒9-5ページ）にします。
	HDMI識別	する、しない	入力1～4から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

緊急警報放送設定

- 外部入力などを視聴中に地上デジタル放送の緊急警報放送を受信したときに、受信した放送局へ自動で切り換えます。

設定
する、しない

お知らせ

- 電源待機状態からの起動はしません。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



受信機レポート

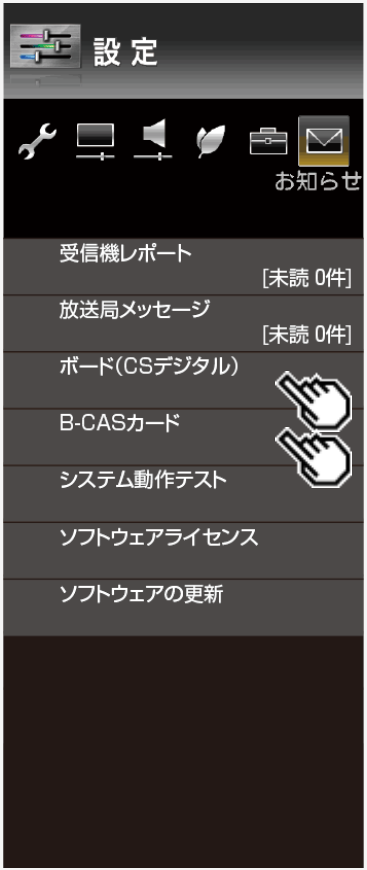
- 予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）やB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。

放送局メッセージ

- 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。ダウンロード設定（⇒2-14ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



ボード(CSデジタル)

- 現在の放送で送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。
  ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
  録画予約実行中は選べません。

設定
CS1、CS2

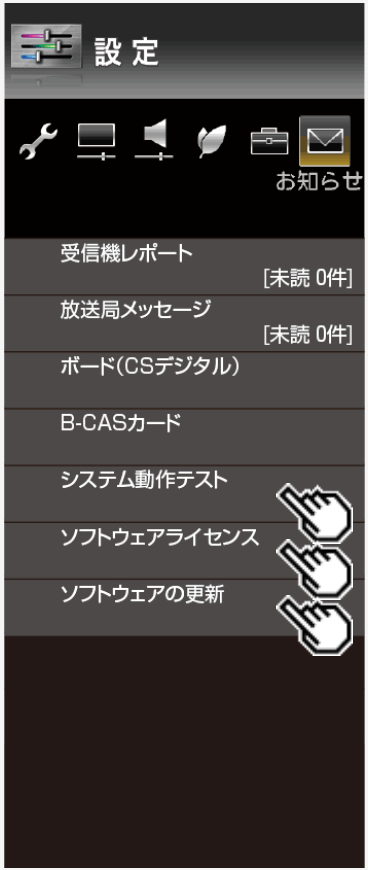
B-CASカード

- 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。
  カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
  カードID……カード固有の番号です。

設定
実行

次ページへつづく⇒

設定メニュー項目の一覧



システム動作テスト

- B-CASカードが正しく挿入できているかをテストします。

設定
テスト実行

ソフトウェアライセンス

- ソフトウェアライセンスを表示します。

ソフトウェアの更新

- ソフトウェアをアップデートします。

設定
USBアップデート、ネットワークアップデート ※1、4K表示システムアップデート ※2

お知らせ

※1 本機がLANに接続されていない場合は選択できません。
※2 4T-B60AK1のみ表示されます。また、外部入力に入力切換しているときは選択できません。

ツールメニューの使いかた



ツールメニューの基本的な操作のしかた

1. ツール (字幕) を押してツールメニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで目的の項目を選び、決定を押す
   - リモコンのチャンネル(数字)ボタンで項目を選ぶこともできます。
3. 上下カーソルボタンでさらに目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。

お知らせ

- 表示中の画面によってツールメニューの項目は異なります。

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ツール
(字幕)

- 放送視聴中や外部入力視聴中などに を押すと表示されます。
- 視聴中の画面によっては、表示されない項目があります。

録画状態

- USB-HDDの情報を画面に表示します。
- USB-HDD録画をしているときに表示されます。

AVポジション(画質切換)

- 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ツール
(字幕)

- 放送視聴中や外部入力視聴中などに を押すと表示されます。
- 視聴中の画面によっては、表示されない項目があります。

2画面

- 2つの映像を同時に画面表示します。

番組情報

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

3桁入力

- 3桁のチャンネル番号を入力して選局します。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ツール
(字幕)

- 放送視聴中や外部入力視聴中などに を押すと表示されます。
- 視聴中の画面によっては、表示されない項目があります。

テレビ/ラジオ/データ/ポータル

- 放送メディア切換を行います。

字幕

- 字幕放送がある番組のとき、字幕の表示ができます。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

パソコン入力

- アナログRGB入力の設定をします。
- 入力6に入力切換しているときに表示されます。

入力解像度

- 入力映像信号の解像度の手動設定です。

メニュー項目名	設定
入力解像度	自動、1024×768、1366×768、1360×768

自動同期調整

- 画面を自動で調整します。(入力信号によっては自動調整できないことがあります。)

メニュー項目名	設定
自動同期調整	する、しない

画面調整

- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号やPCによっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。手動で画面を調整してください。

メニュー項目名	設定	
画面調整	水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
	垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
	クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
	クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
	リセット	工場出荷時の設定に戻します。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

画面サイズ

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。

タイマー機能

- 各種タイマー機能の設定をします。

メニュー項目名	
お知らせタイマー	指定した時間に電子音を鳴らします。
おはようタイマー	設定した時間に電源を入れます。
おやすみタイマー	設定に従い自動で電源を切ります。
オフタイマー	指定した時間後に電源を切ります。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

お知らせ(受信機レポート)

- 予約の失敗や変更、本体に関わる情報を表示します。

次ページへつづく⇒

ツールメニュー項目の一覧



ツール(放送視聴／外部入力など)

ファミリンク設定

- 外部機器との連携操作を行うファミリンクの設定です。
- 外部入力1～4を選択した時のみ表示されます。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

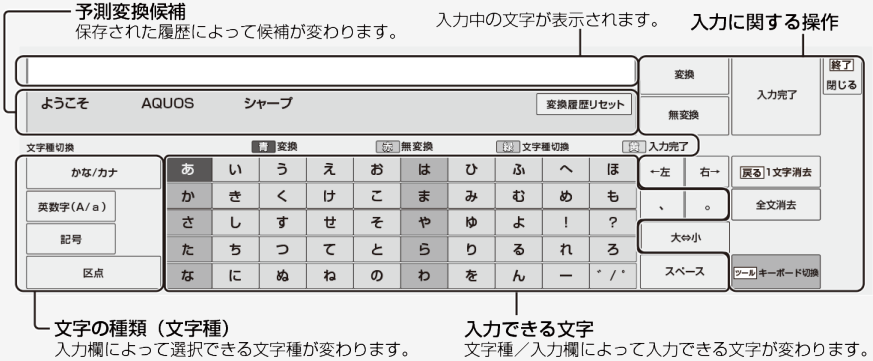


- 本機の操作でUSBハードディスクの機器名の変更、番組表の検索等文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。
- ソフトウェアキーボードは文字入力欄を選んで 決定 を押すと表示されます。
- ソフトウェアキーボードは2種類あり、ツール（字幕）で切り換えられます。

ソフトウェアキーボードの画面例①

（予測変換候補や文字種などの画面は一例です。）

上下左右カーソルキーと決定ボタンで文字や機能を選びます。
「文字種切換」や「入力完了」などボタン名が書かれている機能は、リモコンのボタンで直接選べます。

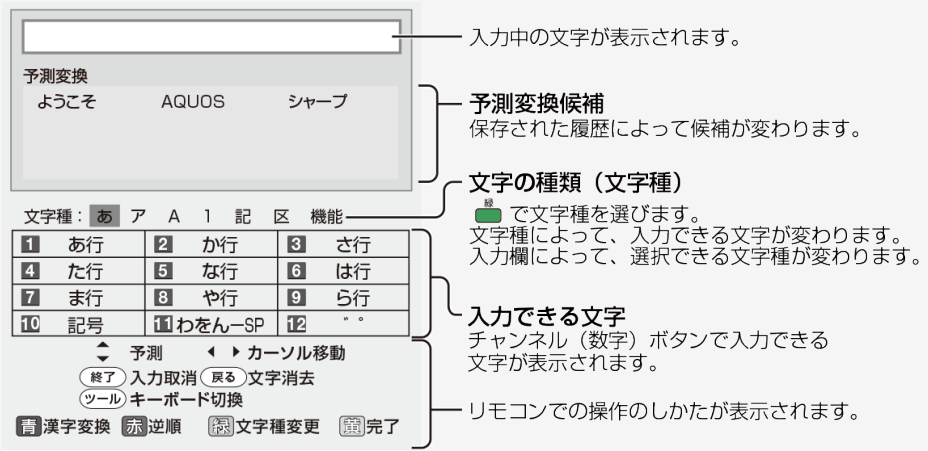


文字を入力する（ソフトウェアキーボード）



ソフトウェアキーボードの画面例②

（予測変換候補や文字種などの画面は一例です。）



入力中の文字が表示されます。

予測変換候補
保存された履歴によって候補が変わります。

文字の種類（文字種）
緑 で文字種を選びます。
文字種によって、入力できる文字が変わります。
入力欄によって、選択できる文字種が変わります。

入力できる文字
チャンネル（数字）ボタンで入力できる
文字が表示されます。

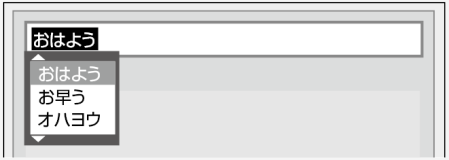
リモコンでの操作のしかたが表示されます。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

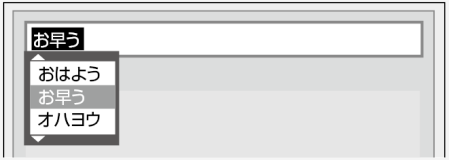


漢字やカタカナに変換する

1. 青 を2回押し、入力欄の文字を変換する
   - 変換候補が表示されます。
   - 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。



2. 上下カーソルボタンで入力したい文字を選び、 決定 を押す
   - ここでは「お早う」を選びます。
   - 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。



次ページへつづく⇒

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）



漢字やカタカナに変換する

お知らせ

文字入力の制限について

- 文字入力する画面によっては、予測変換されない場合があります。
- 1つの入力欄に入力できる文字数は全角で128文字まで、半角で256文字までです。ただし、入力欄によっては、別途文字数制限が設けられている場合があります。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。このとき、全角で128文字（半角の場合は256文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

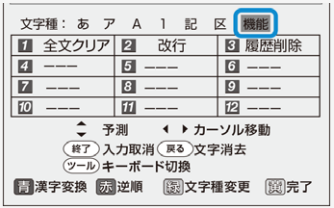
- 上下左右カーソルボタンで、「変換履歴リセット」を選んで 決定 を押します。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）



改行するとき

1. 改行したい箇所を選ぶ
2. 緑 を繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ



3. 2 を押し、「改行」を選ぶ

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

お知らせ

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角1文字として数えられます。
- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。

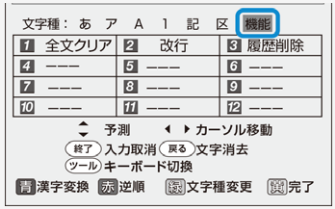
文字を入力する（ソフトウェアキーボード）



入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1. 緑 を繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ



2. 1 を押し、「全文クリア」を選ぶ
   - 入力中の文字が全て消えます。
   - 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

コンテンツマネージャー

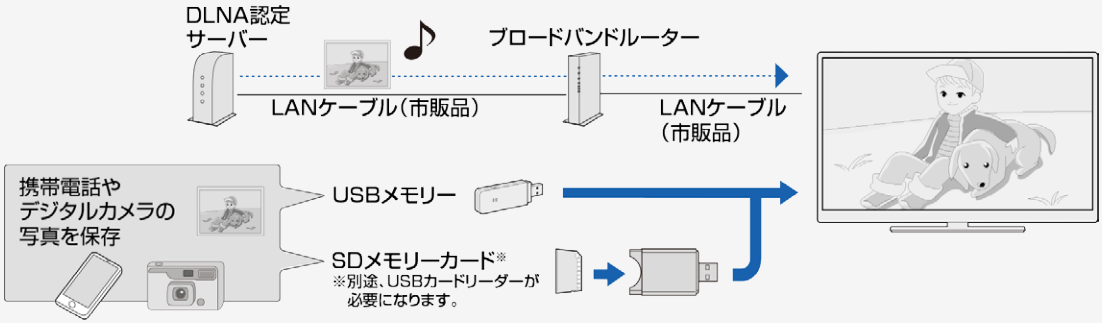
コンテンツマネージャーをお使いになる前に

コンテンツマネージャーでできること

- USBメモリーやホームネットワーク上のサーバー機器に保存されている写真・音楽・動画を再生することができます。
  USBメモリー内の写真を他のメモリーにコピーすることができます。

お知らせ

- DLNA認定機器とはDLNAガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。



コンテンツマネージャー

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USB端子に取り付けられる機器

- USBメモリー、USBカードリーダー（マスストレージクラス）

ファイルシステム

- FAT、FAT32

お知らせ

- 本機の電源が入った状態でUSBメモリーを取り付けるとコンテンツマネージャーが表示されます。

次ページへつづく⇒

コンテンツマネージャー

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機に取り付けられるUSBメモリーについて

USBメモリーの取り付け・取りはずしについて

- 推奨のUSBハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
  推奨USBハブについては、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

	AQUOS サポートページ シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索 http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「コンテンツマネージャー」を終了する前に、USBメモリーを本機から取り外さないでください。
- USBメモリーの抜き差しをむやみに繰り返さないでください。
- USBカードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをUSBカードリーダーに挿入し、その後USBカードリーダーを本機に接続してください。
- USBメモリーを本機のUSB端子に接続する場合、USB延長ケーブルは使わないでください。
  USB延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USBメモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。

コンテンツマネージャー

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

写真ファイル形式

- JPEG(.jpg)(DCF2.0準拠)
  最大解像度(画像サイズ):8192x8192画素
  最小解像度(画像サイズ):32x32画素

音楽ファイル形式

- MP3(.mp3)
  ビットレート:32～320kbps
  サンプリング周波数:32k, 44.1k, 48kHz
- WAV(.wav)
  ビットレート:64～1536kbps(LPCM)
  サンプリング周波数:32k、44.1k、48kHz
- WMA(.wma)
  ビットレート:32～384kbps
  サンプリング周波数:8k、11.025k、16k、22.05k、32k、44.1k、48kHz
- AAC(.m4a／.aac)
  ビットレート:1～1728kbps
  サンプリング周波数:
  8k、11.025k、12k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(AAC)
  16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48kHz(HE-AAC)

次ページへつづく⇒

本機で再生できるUSBメモリーのファイルについて

音楽ファイル形式（つづき）

- FLAC（.fla）
  ビットレート：128～2304kbps
  サンプリング周波数：8k、16k、22.05k、24k、32k、44.1k、48k、88.2k、96k、192kHz
  量子化ビット数：8、16、24bit

映像ファイル形式

- m2ts、mp4、3gp

お知らせ

- プログレッシブ形式のjpegファイルはサポートされていません。
- 3D形式の写真はサポートされていません。
- USB1.1の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USBメモリー機器によっては、保存されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- 対応のファイル形式であっても、正しく再生されないことがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。

接続するサーバー機器について

接続する機器について

- サーバー機器は10台まで選択できます。
- サーバー機器の設定や操作についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

使用可能なサーバーの最新情報について

- SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

	AQUOS サポートページ シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索 http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機で再生できるサーバー上の写真について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されているJPEGファイルを再生できます。

再生できるJPEGファイル

- 色情報：YUV420、YUV422、YUV444
  JPEGヘッダーの回転タグは4方向（上、下、左90度、右90度）に対応しています。
- 最大ファイルサイズ：10MB
- 最大解像度（画像サイズ）：8192x8192画素
- 最小解像度（画像サイズ）：32x32画素

お知らせ

- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。
- パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- プログレッシブ形式のJPEGはサポートされていません。
- JPEG静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

コンテンツマネージャー

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機で再生できるサーバー上の音楽について

- ホームネットワーク上のDLNA認定サーバーに保存されている音楽データを再生できます。

本機で再生できる音楽データの形式

- LPCM：サンプリング周波数32k/44.1k/48kHz、stereo/mono
- MP3：サンプリング周波数32k/44.1k/48kHz 32～320kbps、stereo/mono
- AAC：サンプリング周波数32k/44.1k/48kHz 1～1728kbps、stereo/mono

使用可能なサーバーについて

- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

お知らせ

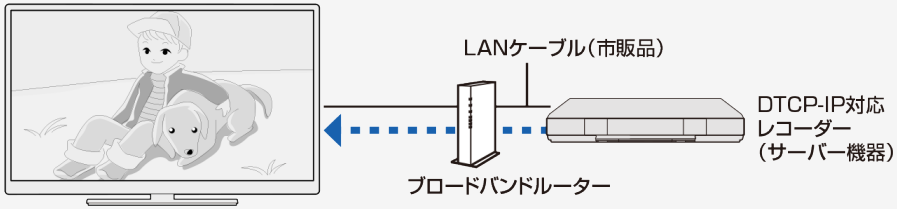
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。
  パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- ホームネットワークではFLACファイルは再生できません。

本機で再生できるサーバー上の動画について

- DTCP-IP対応レコーダーに保存されているデジタル放送の番組やサーバーに保存されている動画を再生できます。

DTCP-IPとは

- DTCP-IPは、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ(1回だけ録画可能なデジタル放送の番組など)を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IPは、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。



本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- MPEG2-PS、MPEG2-TTS、MP4、3GP形式の動画が再生できます。

次ページへつづく⇒

本機で再生できるサーバー上の動画について

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP対応のレコーダーです。
詳しくはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

お知らせ

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送のSTB（セットトップボックス）やCATV（ケーブルテレビ）のSTB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を全て保証するものではありません。レコーダーが配信可能な動画データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

コンテンツマネージャー

コンテンツマネージャーをお使いになる前に

本機で再生できるサーバー上の動画について

DTCP-IP対応レコーダーの取扱説明書またはWebページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。(プレイリストは不可など)
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の動画を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況(使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など)によっては、動画をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機にサーバー名が表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーでBD/DVDの再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーはHDD(ハードディスク)に記録されている映像のみ配信できます。BDやDVDの映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機のMACアドレスを登録する必要があります。

写真を楽しむ



写真を表示する

この機能について

- USBメモリー、ホームネットワークにある写真を表示できます。

お知らせ

- 2番組録画またはIPTV録画中、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、決定 を押す
   - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定 を押す
3. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、決定 を押す

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ



写真を表示する

4. 上下左右カーソルボタンでフォルダを選び、決定を押す

5. 上下左右カーソルボタンで写真を選び、決定を押す

- 写真が全画面で表示されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の画像が表示されます。
- 戻る でひとつ前の画面を表示できます。

お知らせ

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズ、そのメディアの空き容量が表示されます。
  ※EXIFファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。
- 画面サイズの切り換えはできません。
- サーバー機器や写真データによっては、サムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でも、サムネイルは横位置で表示されることがあります。(サーバーの仕様により異なります。)
- 写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは「コンテンツマネージャーに関するエラーメッセージ」(⇒8-26～8-28ページ)をご覧ください。

写真を楽しむ



写真表示中の操作について

この機能について

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス(操作案内)が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

お知らせ

- スライドショー再生中は、写真の回転はできません。
- GPSの地図データ情報が入っている写真データや一部のファイル形式では、回転しない場合があります。
- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

写真を表示中の操作

◀ ▶ 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。

青 ガイダンス(操作案内)の表示・非表示を切り換えます。

黄 写真を右に90度回転します。

緑 写真を左に90度回転します。

ツール 機能メニューを表示します。

(字幕)戻る 一覧表示に戻ります。

終了 コンテンツマネージャーを終了します。

写真を楽しむ



写真の表示モードを変える

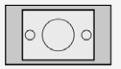
この機能について

- 写真の表示モードを切り換えられます。

操作のしかた

1. 写真表示中にツール(字幕)を押し、上下カーソルボタンで「表示モード切換」を選び、決定を押す
2. 上下カーソルボタンでお好みの設定を選び、決定を押す

表示モード切換の項目と表示について

画像サイズ	ノーマル		Dot by Dot		トリミング	
3840×2160ドットを超える画像		比率を変えず画面いっぱいに表示します。16:9でない画像は、左右または上下に黒い帯が表示されます。		比率を変えず画面いっぱいに表示します。		画面全体に画像を縮小して表示します。画面から画像がはみ出す場合、はみ出した部分を切り取った状態で表示します。
3840×2160ドットまでの画像				解像度どおりに表示します。		比率を変えず画面いっぱいに表示します。画面から画像がはみ出す場合、はみ出した部分を切り取った状態で表示します。

写真を楽しむ

スライドショーを楽しむ

この機能について

- 写真をスライドショーで表示することができます。
- USBメモリーに保存されている写真の場合、スライドショーで表示する写真を選ぶことができます。
- サーバー機器に保存されている写真のスライドショーは、フォルダごとに行われます。

お知らせ

- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ



スライドショーを楽しむ

写真の一覧からスライドショーを行うには

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、決定 を押す
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定 を押す
3. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、決定 を押す

- サーバー機器の場合、緑 を押すと前回再生したスライドショーを再開できます。
  黄 を押すと最後に再生したフォルダを表示します。

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ



スライドショーを楽しむ

写真の一覧からスライドショーを行うには

4. 左右カーソルボタンでフォルダを選び、決定を押す
5. 青を押す

- サーバー機器に保存されている写真の場合は、スライドショーが始まります。
- USBメモリーに保存されている写真の場合、写真選択モードになります。スライドショーで表示したい写真を上下左右カーソルボタンで選び、黄で選択／解除を切り換えます。

  一括で選択／解除を行いたい場合は、ツール(字幕)を押し、機能メニューから「スライドショー全選択」または「スライドショー全解除」を選んでください。

  青を押すとスライドショーが始まります。
- スライドショーをやめるには、戻るを押します。

写真を楽しむ



スライドショーの設定をする

この機能について

- 写真の保存先が、USBメモリーの場合とサーバー機器の場合で操作が異なります。

写真の保存先がUSBメモリーの場合

1. 写真一覧画面で ツール (字幕) を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「スライドショー設定」を選び、 決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで設定を選び、 決定 を押す

写真の保存先がサーバー機器の場合

1. 写真一覧画面で ツール (字幕) を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで設定を選び、 決定 を押す

設定項目は⇒3-20ページ以降をご覧ください。

次ページへつづく⇒

スライドショーの設定をする

スライドショー間隔

- 次の写真に切り換わるまでの時間を設定します。
- サーバーや写真によっては設定時間どおりに表示が切り換わらない場合があります。

スライドショー効果

- 写真が切り換わるときの視覚効果を設定します。

スライドショーOFFタイマー設定

- スライドショーにタイマーを設定し、時間になると自動的に電源が切れます。
- 本機を大画面のフォトフレームとしてご使用になるときに、電源の切り忘れを予防できる機能です。
- スライドショー中のみタイマーが進みます。

明るさ控えめモード

- まぶしさを抑え、スライドショーを楽しむことができます。
- スライドショーを長時間表示するときも、消費電力を一定程度削減できます。
  （削減できる消費電力は環境や写真によって変わります。）

BGM再生

- サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。
- サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。

写真を楽しむ



スライドショーのBGMを選ぶ

この機能について

- スライドショー表示中に流れる音楽(BGM)を選べます。
- 写真の保存先が、USBメモリーの場合とサーバー機器の場合で手順が異なります。

写真の保存先がUSBメモリーの場合

- USBメモリーに保存されている音楽をBGMにできます。

1. スライドショー写真選択モードで 緑 を押す
2. 上下左右カーソルボタンでメディアを選択し、 決定 を押す
3. 左右カーソルボタンでBGMにしたいデータが入っているフォルダを選び、 決定 を押す
4. 上下カーソルボタンでBGMにしたいデータを選び、 黄 で選択／選択解除する
5. 戻る を押し、フォルダを選ぶ画面に戻る
6. 戻る を押し、スライドショー写真選択モードに戻る
7. スライドショー写真選択モードで 青 を押し、スライドショーを開始する

お知らせ

- 初期設定では、すべての音楽ファイルが選ばれています。
- スライドショー表示中は、選択されたBGMが繰り返し再生されます。

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ



スライドショーのBGMを選ぶ

写真の保存先がサーバー機器の場合

- サーバー機器に保存されている音楽のうち最後に再生した曲が保存されているフォルダがBGMとして流れます。

1. 写真の一覧画面で ツール(字幕) を押し、機能メニューから「BGM再生」ー「する」を選ぶ
2. 戻る を数回押し「写真」を選ぶ画面に戻る
3. 左右カーソルボタンで「音楽」を選び 決定 を押す
4. 上下左右カーソルボタンでBGMにしたい音楽を選び 決定 を押して再生する
5. 戻る を数回押し「音楽」を選ぶ画面に戻る
6. 左右カーソルボタンで「写真」を選び 決定 を押す
7. 写真の一覧画面で 青 を押す

- スライドショーなどの「写真」機能を、お好みのBGMでご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由によりBGMが停止する場合がありますが、その場合も「写真」機能はそのまま続行されます。
再度BGMを再生するには、「音楽」を選び、音楽の再生をやり直してください。

写真を楽しむ



写真をコピーする

この機能について

- USBメモリーの写真を、他のメモリーにコピーします。ホームネットワーク上のサーバー機器に保存されている写真はコピーできません。
- SDメモリーカードにコピーする場合、USBカードリーダーが必要です。
- 使用するUSBメモリーは、あらかじめ本機に取り付けておいてください。
- 設定メニューでコピー先を指定し、コンテンツマネージャーでコピーの操作をします。

写真のコピー先を指定する

1. 本機にUSBメモリーをひとつだけ接続した状態にする
2. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選んで決定を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「各種設定」ー「USBメモリー設定」を選んで決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「USBメモリーの指定」を選んで決定を押す
5. 左右カーソルボタンで「する」を選んで決定を押す
6. 決定を押す

- コピー操作については⇒ 3-24ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ



写真をコピーする

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び 決定 を押す
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでコピーしたい写真が保存されているメモリーを選び、決定 を押す
3. 左右カーソルボタンで「写真」を選び、決定 を押す
4. 左右カーソルボタンでコピーしたい写真が入っているフォルダを選び、決定 を押す
5. ツール (字幕) を押し、上下カーソルボタンで「写真のコピー」を選び、決定 を押す
6. 「全てのフォルダ」「現在のフォルダ」「選択したファイル」の中からコピー元を選び、決定 を押す

- 「選択したファイル」を選ぶと画像選択画面が表示されます。
  上下左右カーソルボタンと黄でコピーするファイルを選んだあと、赤を押してください。

7. 上下カーソルボタンで保存先を選び、決定 を押す
8. 上下カーソルボタンで保存するフォルダを選び、決定 を押す

- 「新規フォルダを作成」を選ぶと新規フォルダを作成できます。
  ソフトウェアキーボードが表示されますので、フォルダ名を入力します。(⇒2-70ページ)

9. 上下カーソルボタンで「はい」を選び、決定 を押す
10. 確認画面で決定 を押す

次ページへつづく⇒

写真を楽しむ

写真をコピーする

お知らせ

- ファイル名は全角80文字、半角160文字までです。これより長い名前のファイルはコピーされません。
- 写真をコピーしているときに入力切換をするとコピーが中断されます。
- 同じファイル名の写真がある場合、最大10個までコピーされ、ファイル名の後ろには「(01)～(10)」が追加されます。
- 「全てのフォルダ」「現在のフォルダ」を指定した場合は、コピー先に無いファイルのみコピーされます。

コピー先に使用するUSBメモリーを取り外すときは
⇒3-26ページをご覧ください。

本機に取り付けられるUSBメモリーについて
⇒3-2ページをご覧ください。

写真を楽しむ



コピー先に使用するUSBメモリーを取り外すときは

操作のしかた

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選んで決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「各種設定」ー「USBメモリー設定」を選んで決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んで決定を押す
4. 決定を押す
5. 決定を押す
6. USBメモリーを取り外す

お知らせ

- 「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んでも、USBメモリーを取り外すまでは「コンテンツマネージャー」でUSBメモリーのデータを視聴できます。
- 「指定済みUSBメモリーの取り外し」を選んだあとUSBメモリーは、コピーや削除の機能が使用できません。
  コピーや削除の機能を使用する場合は、USBメモリーを接続し直してください。
  （自動的に再度指定されます）

写真を楽しむ



写真を削除する

この機能について

- USBメモリーに保存されている不要な写真を削除できます。

操作のしかた

1. 写真一覧画面でツール(字幕)を押し、機能メニューを表示する
2. 上下カーソルボタンで「写真削除」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「全てのフォルダ」「現在のフォルダ」「選択したファイル」の中から削除元を選び、決定を押す
   - 「選択したファイル」を選ぶと画像選択画面が表示されます。上下左右カーソルボタンと黄で削除するファイルを選び 赤を押してください。
4. 上下カーソルボタンで「はい」を選び、決定を押す
5. 決定を押す

音楽を楽しむ



音楽を再生する

この機能について

- USBメモリーやホームネットワークにある音楽を再生できます。

お知らせ

- 2番組録画またはIPTV録画中は、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、 決定 を押す
   - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定を押す
3. 左右カーソルボタンで「音楽」を選び、 決定 を押す
   - サーバー機器の場合、緑 を押すと前回再生したファイルを再開できます。 黄 を押すと最後に再生したフォルダを表示します。
4. 上下左右カーソルボタンで曲名を選び、 決定 を押す

次ページへつづく⇒

音楽を楽しむ



音楽を再生する

- 音楽が再生されます。
- フォルダを選んだときはフォルダ内の音楽が表示されます。
- 戻る ○でひとつ前の画面を表示できます。
- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生され、最後のファイルを再生したあとは最初のファイルの再生に戻ります。
- USBメモリーの場合、黄 □で音楽ファイルの左側にあるチェックボックスにチェックマークを入れると、選択したファイルのみを再生することができます。ツール ○(字幕)で表示されるメニューから「自動再生全選択」を選ぶとすべての音楽ファイルにチェックマークが入り、「自動再生全解除」を選ぶとすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。
- ツール ○(字幕)で表示されるメニューから「AVポジション(画質切換)」を選ぶと画質や音質を切り換えられます。
- AVポジションの設定項目については⇒ 2-20ページをご覧ください。

お知らせ

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

音楽を楽しむ



音楽再生中の操作のしかた

ホームネットワークにある音楽を再生

青 30秒先に送ります。
赤 10秒前に戻します。
緑 音楽の再生を停止します。
黄 音楽の再生／一時停止をします。

USBメモリーに保存された音楽を再生

戻る 一つ前の手順に戻ります。
赤 音楽の再生／一時停止をします。
緑 音楽の再生を停止します。
黄 再生したい音楽の選択／選択解除を行います。
ツール(字幕) 機能メニューを表示します。

動画を楽しむ



動画を再生する

この機能について

- USBメモリーやホームネットワークにある動画を再生できます。

お知らせ

- 2番組録画またはIPTV録画中は、コンテンツマネージャーを使用できません。

操作のしかた

1. 入力切換を押し、上下カーソルボタンで「コンテンツマネージャー」を選び、決定を押す
   - USBメモリーを取り付けると、自動的に「コンテンツマネージャー」が表示されます。
2. 上カーソルボタンを押して左右カーソルボタンでメモリーまたはサーバー機器を選び、決定を押す
3. 左右カーソルボタンで「動画」を選び、決定を押す
   - サーバー機器の場合、緑を押すと前回再生した動画を続きから再生します。続きから再生できない場合は先頭から再生します。
     黄を押すと最後に再生したフォルダを表示します。

次ページへつづく⇒

動画を楽しむ



動画を再生する

4. 上下左右カーソルボタンで動画を選び、決定を押す
   - 動画が再生されます。
   - 途中まで見ていた動画を選んだ場合は、続きから再生されます。
   - フォルダを選んだときはフォルダ内の動画が表示されます。
   - 戻るでひとつ前の画面を表示できます。

お知らせ

- 無効な動画ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、再生バーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。
- 本機で再生できない動画が表示されることもあります。
- 表示される動画は、正常に再生できることを保証するものではありません。

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した動画の状態を再生の新しい順で50件まで保持しています。この動画を選んだときは前回のつづきから始まります。
- 動画によっては、つづき再生ができない場合があります。

最初から再生したいときは

- 上下カーソルボタンで動画を選び、赤を押します。

動画を楽しむ



動画再生中の操作のしかた

動画再生中の操作について

- 一時停止や再生などの操作ができます。
- USBメモリーに保存されている動画と、サーバー機器に保存されている動画で操作が異なります。

USBメモリーに保存されている動画を再生しているとき

- 次のリモコンのボタンで操作できます。

再生 / 一時停止/静止	
前/早戻し	いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
早送り/次	次のチャプターを頭出しします。 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階)
停止	再生を停止し、動画一覧画面に戻ります。
10秒戻し	約10秒戻します。
30秒送り	約30秒送ります。
ツール (字幕)	機能メニューを表示します。操作パネルを表示して上記と同じ操作をしたり、画質や音質、画面サイズを切り換えられます。

- 動画によっては操作できない場合があります。

次ページへつづく⇒

動画を楽しむ



動画再生中の操作のしかた

サーバー機器に保存されている動画を再生しているとき

1. ファミリンク を押す
   - 操作パネルが表示されます。
2. 上下左右カーソルボタンで操作したい機能のボタンを選び、 決定 を押す
   - 操作パネルの表示を消すときは、 終了 を押します。

お知らせ

- 動画によってできる操作が異なります。操作できないボタンは、表示されません。
- 10秒戻し／30秒送りで操作できる時間は、おおよその時間です。
- 早送り再生やスロー再生では、音声が出力されない場合があります。

操作パネルの見かた



再生中に映像や音声が途切れるときは

- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LANの通信速度が低くても再生できる場合があります。

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクを使ってできること

- ○ 地上デジタル放送の録画と再生
- ○ BSデジタル放送の録画と再生
- ○ 110度CSデジタル放送の録画と再生
- ○ IPTV(ひかりTV)放送サービスの録画と再生

- 地上/BS/110度CSデジタル放送は2番組同時に録画できます。

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクを使ってできないこと

- × ビデオデッキなど、本機につないだ外部入力映像の録画
- × 本機以外につないで録画したUSBハードディスクの再生
- × 本機につないで録画したUSBハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
- × 2番組録画またはIPTV録画中のコンテンツマネージャー
- × 2番組録画またはIPTV録画中の2画面視聴
- × 録画モード「標準(DR)」以外で録画中のUSB4K動画再生
- × インターネット動画の録画
- × アクトビラビデオの録画
- × IPTV(ひかりTV)のVODサービスとカラオケサービスの録画
- × 2番組録画またはIPTV録画中のインターネット
- × 2番組録画中のIPTV視聴
- × 録画モード「標準(DR)」以外で録画中の一部インターネット系コンテンツの視聴
- × IPTV視聴中のIPTV裏番組録画
- × 2番組録画または録画モード「標準(DR)」以外で録画中のハイブリッドキャストVOD視聴

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

お知らせ

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USBハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

◆ 重要 ◆

- USBハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。
- 本機のUSB2端子(USBハードディスク用)には、動作確認済み機器を接続してください。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、AQUOSサポートページでご確認ください。

	AQUOS サポートページ シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索 http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクを使う前に

USBハードディスクを本機のUSB2端子(USBハードディスク用)につなぐ
⇒4-5ページ

▼

初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする
⇒4-7ページ

▼

「録画機器選択」で録画に使用するUSBハードディスクを選ぶ
⇒4-22ページ

▼

必要に応じて省エネの設定をする
⇒4-10ページ

録画の操作
⇒4-22ページをご覧ください。

再生の操作
⇒4-50ページをご覧ください。

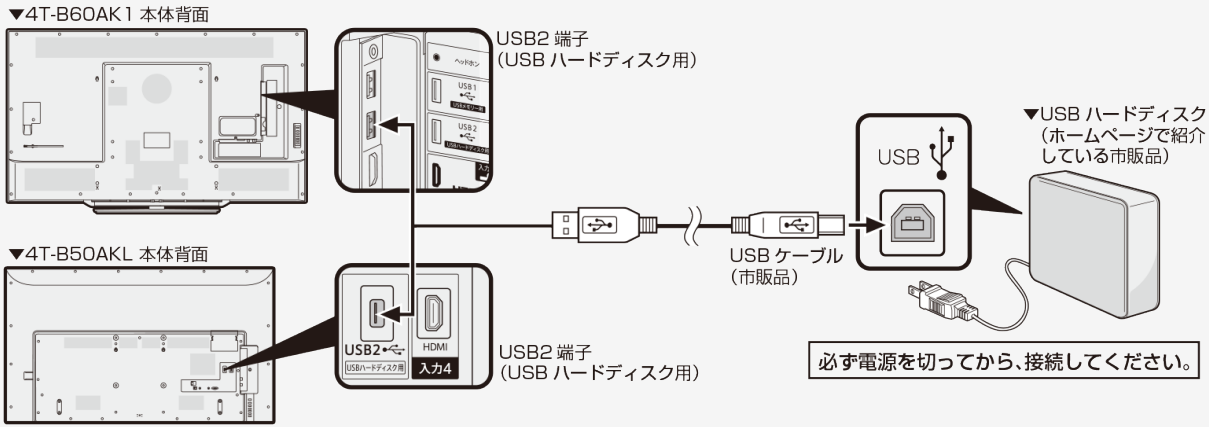
USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクをつなぐ

①本機の電源を切る
②本機のUSB2端子(USBハードディスク用)に、市販のUSBハードディスクを接続する
③USBハードディスクの電源を入れる

- USBハードディスクを取りはずすときは⇒ 4-11ページをご覧ください。



動作確認済みのUSBハードディスクについては、AQUOSサポートページでご確認ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

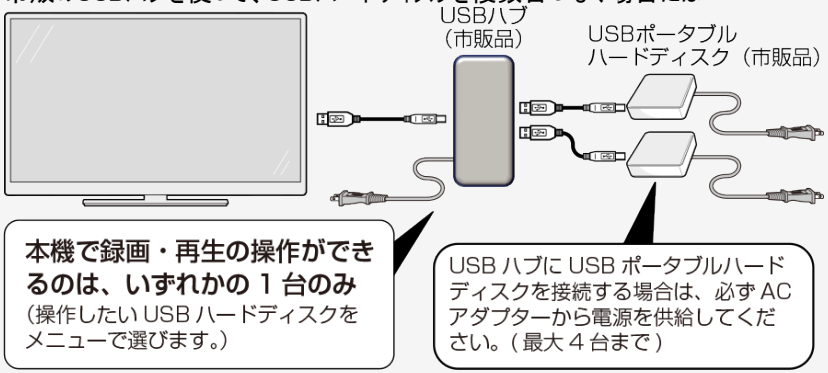
次ページへつづく⇒

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクをつなぐ

市販のUSBハブを使って、USBハードディスクを複数台つなぐ場合には



USBハブ経由でUSBハードディスクを接続する場合は

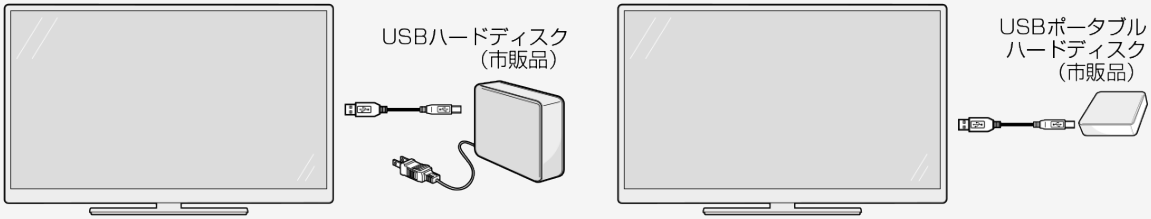
- USBハブは、USB2.0以降を使用してください。
- USBハブにACアダプターを使用し、電源供給をする必要があります。
- 本機にUSBハブを接続する場合は、USBハブにACアダプターを接続し、電源を供給してから接続してください。
- USBハブからUSBハブを接続しての使用はできません。
- USBハブの種類によっては、USBハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。
- 本機にUSBハブを使って複数接続できるポータブルUSBハードディスクは、ACアダプターで電源が供給できるポータブルUSBハードディスクです。ACアダプターで電源を供給できないポータブルUSBハードディスクは、本機に直接接続してください。
- USBハブをご使用する際は、接続するUSBハードディスクのUSB規格と同等の規格のものをご使用ください。

USBハードディスク

USBハードディスク（市販品）の準備をする

USBハードディスクを初期化（登録）する

- USBハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化（登録）」が必要です。
- 初期化（登録）するときは、USB2端子(USBハードディスク用)とUSBハードディスクを1台だけ直接接続してください。
- USB機器を2台以上接続している場合は、初期化（登録）できません。



◆ 重要 ◆

- レコーダーやパソコンで録画したUSBハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化（登録）が必要です。
- USBハードディスクを初期化（登録）すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。
- 消去されたタイトルは元に戻せませんので、USBハードディスクの内容をよく確認してください。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク（市販品）の準備をする



USBハードディスクを初期化（登録）する

1. USBハードディスクを本機のUSB2端子(USBハードディスク用)に接続し、本機とUSBハードディスクの電源を入れる
2. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
4. 上下左右カーソルボタンと決定で「機器の初期化」ー「する」を選ぶ
   - 機器の初期化設定画面が表示されます。
5. 上下左右カーソルボタンと決定を使って画面に従って操作する

お知らせ

- 初期化中にUSBハードディスクを取り外したり、USBハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

USBハードディスク

USBハードディスクの名前を変えたいときは



- USBハードディスクを複数台つないだ(登録した)ときにつないだ機器を識別しやすくするために、各USBハードディスクに名前を付けることができます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
3. 「機器名の変更」を選ぶ
4. 名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ
5. ソフトウェアキーボード(⇒ 2-70ページ)で、新しい名前を入力する
6. 「この名称に変更しますか？」で「する」を選ぶ

USBハードディスクを省エネで使うには



- USBハードディスクを使わない状態が続いたときに、USBハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
3. 「省エネ設定」を選び、決定を押す
4. 「する」を選び、決定を押す

USBハードディスクを取りはずすときは



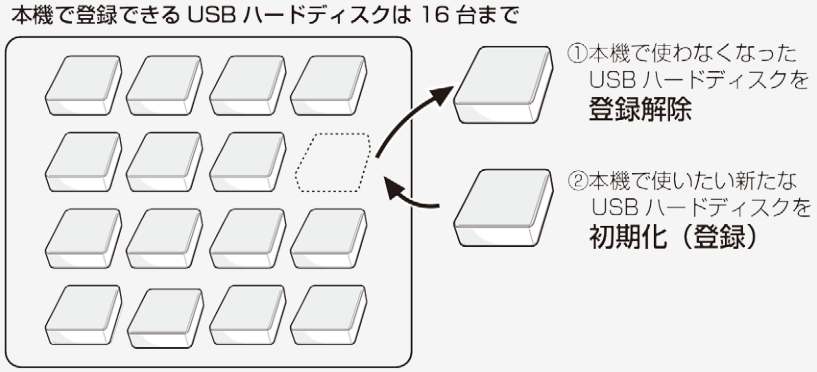
- 本機やUSBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
3. 「機器の取りはずし」を選び、決定を押す
4. 取りはずすUSBハードディスクを選び、決定を押す
   - 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
   - 取りはずしが完了するまで、USBハードディスクの電源を切ったり、接続しているUSBケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。
5. 「確認」で決定を押す
6. 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

USBハードディスク

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは

- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。（本機で初期化をすると、自動的に登録されます。）
- 本機に登録していないUSBハードディスクでは、録画・再生できません。
- 本機に16台のUSBハードディスクが登録された状態で、新たなUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクのいずれかを登録解除してください。



◆ 重要 ◆

- 登録解除されたUSBハードディスクは、本機で録画・再生できなくなります。
- 再登録するためには、本機で初期化する必要があります。（初期化すると録画したタイトルは全て削除されます。）

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

本機に登録したUSBハードディスクの登録を削除するときは



- 本機に登録しているUSBハードディスクを選んで、本機の登録リストから削除します。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
3. 「機器の登録解除」を選び、決定を押す
4. 登録を解除したいUSBハードディスクを選び、決定を押す
   - 画面の指示に従って操作をします。
5. 「解除する」を選び、決定を押す
6. もう一度「解除する」を選び、決定を押す
   - このUSBハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、このUSBハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。
7. 「確認」で決定を押す

- 新たに登録したいUSBハードディスクを本機で使えるように初期化してください。(⇒4-8ページ)

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）



- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」を選び、決定を押す
3. 「オートチャプター設定」を選び、決定を押す
4. 「おまかせ」「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

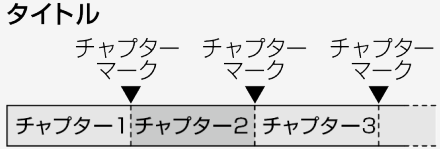
録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

項目	内容
おまかせ	• 音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターが入ります。
しない	• チャプターが入りません。
10分	• 10分間隔でチャプターが入ります。
15分	• 15分間隔でチャプターが入ります。
30分	• 30分間隔でチャプターが入ります。

チャプターマークとチャプターとは

- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。



お知らせ

- 録画中は、チャプター間隔を変更できません。
- 音声のフォーマットによっては、検知ができないことがありますので、「おまかせ」設定時にはチャプターが作成されないことがあります。
- IPTVの録画中は、「おまかせ」に設定していても15分間隔でチャプターが入ります。

USBハードディスク

録画をする前にお読みください

◆ 重要 ◆

- 「電源ボタン設定」(⇒ 2-15ページ)を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
  - 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について

- 1台のUSBハードディスクには、最大999番組まで録画可能です。(USBハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大32件までの予約が可能です。

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

録画をする前にお読みください

録画・録画予約実行中の制限について
- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

マルチビューサービス放送を録画して再生する場合は
- マルチビューサービスは、主映像のみ録画されます。

連動データ放送を録画する場合は
- 「録画モード」を「標準（DR）」にして録画してください。「モード1」または「モード2」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。

HDD（ハードディスク）について
- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- 2画面表示中に録画予約が開始されたときは、2画面が解除されます。
- 2番組録画中またはIPTV録画中は、インターネット、コンテンツマネージャーに切り換えられません。
- 2番組録画またはIPTV録画が開始されたとき、インターネット、コンテンツマネージャーからテレビの画面に切り換わります。
- 2番組録画中は、IPTV視聴できません。また、IPTV視聴中に2番組録画が開始されたときは、テレビの画面に切り換わります。
- 録画モード「標準(DR)」以外で録画中は、一部インターネット系コンテンツの視聴、USB4K動画再生、ハイブリッドキャストの視聴はできません。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

録画をする前にお読みください

HDD（ハードディスク）について（つづき）

- IPTV録画中は、IPTVの選局、IPTV(ポータル)の表示、IPTVの設定、同時録画再生(追いかけ再生を含む)はできません。
- IPTVを録画する場合、番組を連続して録画したり、IPTV視聴から引き続いて録画したりすると、録画番組の開始時間や終了時間の変更に追従できない場合があります。
- 録画中に再生を行うと、画面の映像が粗くなる場合があります。
- USBハードディスクおよびファミリンク機器が合わせて1台しか接続されていない場合、 録画リスト を押すと直接その機器の録画リストが表示されます。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS（ビーキャス）カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機にB-CASカードが入っていることを確認してください。

著作権について

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

録画をする前にお読みください

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
- 「録画可能」：制限なしに録画が可能です
- 「録画禁止」：録画できません（視聴のみ）
- 「1回だけ録画可能」：録画できます
- 「ダビング10」：録画できます

録画が可能な区間の中に「録画禁止」区間がある場合

- 録画中、一旦「録画禁止」になると、録画は停止し、「録画禁止」でなくなっても、自動的には録画は復帰しません。

◆ 重要 ◆

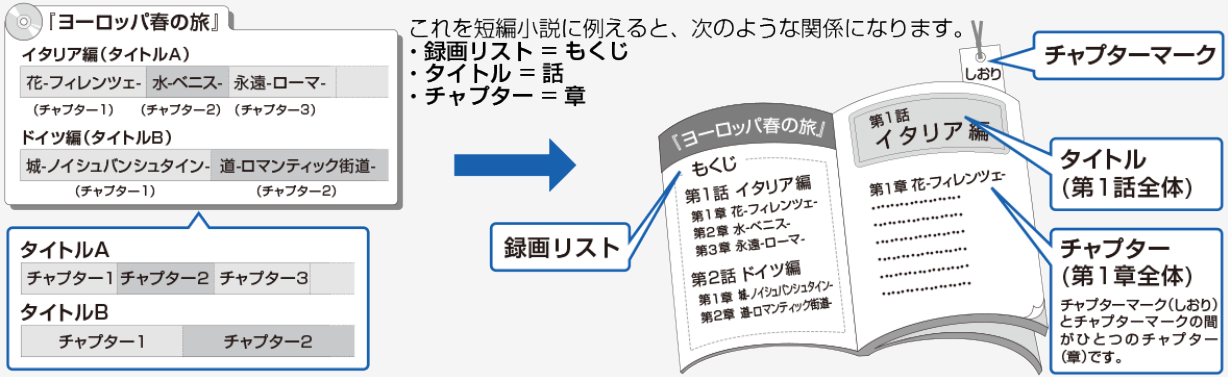
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

次ページへつづく⇒

録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。
  各タイトル（録画した番組）は「録画リスト」に一覧表示され、再生・消去・タイトル名変更・タイトルの並べ換え・保護・保護解除・毎週予約・タイトル検索ができます。
  タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する（⇒4-70ページ）
  タイトル（録画した番組）を消去する（⇒4-76ページ）
  録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには（⇒4-63ページ）

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係（市販のビデオディスクの場合の例）



次ページへつづく⇒

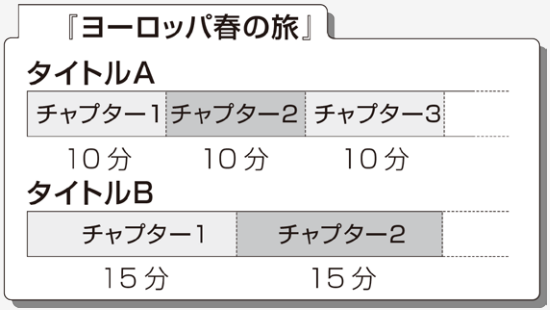
USBハードディスク

録画をする前にお読みください

録画した番組の構成について

例）本機で録画したUSBハードディスクの場合

※タイトルAは「オートチャプター設定」を「10分」に、タイトルBは「15分」に設定した例です。



お知らせ

- 本機は、番組録画中に音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターを作成する「おまかせオートチャプター」機能を搭載しています。また、一定時間でチャプターを作成することもできます。
- 本機には録画中にチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。
  デジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。（⇒4-14ページ）

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



優先して録画するUSBハードディスクを選択する

- 複数のUSBハードディスクを接続している場合に、優先して録画に使用するUSBハードディスクを選択します。接続が1台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「録画機器選択」を選び、決定を押す
3. 表示された機器から1台または、「録画／予約時に選択する」を選んで決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。
   - 「録画／予約時に選択する」を選んだときは、録画を押したときに録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



視聴中の番組を録画する（一発録画）

- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重要 ◆

- 録画の前に、USBハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。（⇒4-1～4-2ページ）
- 「電源ボタン設定」を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。（⇒2-15ページ）

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

- 録画の前に「録画をする前にお読みください」をご覧ください。（⇒4-16ページ）
- USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 録画 でUSBハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」（⇒4-22ページ）で「USB-HDD」または「録画／予約時に選択する」を選択しておく必要があります。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



視聴中の番組を録画する(一発録画)

1. 録画したい放送の種類を選ぶ
   - 地上 BS CSのいずれかを押すか、「IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ(⇒5-44ページ)」の手順で録画したい放送の種類を選びます。
   - 「チャイルドロック」(⇒ 2-41ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ
3. 録画をはじめる
   - 録画 ●を押します。
   - テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。
   - 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、停止 ■を押し、メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- デジタル放送はB-CASカードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。
- BS/CSの自動録画実行中にBS/CSの一発録画をすると、録画は開始されますが、自動録画している番組に視聴画面が切り替わります。

次ページへつづく⇒



USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

視聴中の番組を録画する(一発録画)

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、停止 を押すまで、最大6時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは
  ⇒下記をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

1. 録画中に、録画 を押して終了時刻設定画面を表示させる
2. 上下カーソルボタンで終了時刻を選び、決定を押す(1分単位)
   - 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。)
   - 設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。
- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶ、または 停止 を押すまで、最大6時間録画が続きます。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



視聴中の番組を録画する(一発録画)

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「 設定しない(解除)」を選びます。

「設定しない(解除)」を選んだとき

- 「 設定しない(解除)」を選んだときは、停止 ■ またはファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大6時間録画が続きます。USBハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。
- 続いて「する」を選ぶと、録画が停止します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- 7日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32番組です。

◆ 重要 ◆

- 録画予約の前に、USBハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。
  （⇒4-1～4-2ページ）
- 録画予約する前に、USBハードディスクかファミリンク録画機器が接続されていることを確認してください。
- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」
  （⇒4-16ページ）をご覧ください。
- 「電源ボタン設定」
  （⇒2-15ページ）を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…

- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

お知らせ

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1. 録画したい放送の種類を選ぶ
   - 地上 BS CS のいずれかを押すか、「IPTV(ひかりTV)のテレビサービスを楽しむ(⇒5-44ページ)」の手順で録画したい放送の種類を選びます。
   - 「チャイルドロック」(⇒ 2-41ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. 番組表(予約)を押し、番組表を表示する
3. 上下左右カーソルボタンで予約したい番組を選ぶ
   - 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒1-5ページ)

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



デジタル放送の番組を録画予約する

4. 決定を押し、予約する
   - 他の予約と予約時間が重なる番組を選んだときは画面にメッセージが表示されます。画面の説明に従って操作してください。
     (⇒8-41ページ)
   - 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

   録画禁止の番組を予約したときは
   - 視聴予約となります。

   USBハードディスクが接続されていないときは
   - 予約方法の選択画面が表示されます。

5. 番組表(予約)を押し、番組表を消す

   4T-B60AK1:予約が設定されると、TIMER/RECランプが橙色に点灯します。
   (自動録画予約の場合は点灯しません。)

   4T-B50AKL:予約が設定されると、本機が待機状態のとき、POWER/TIMER・RECランプが橙色に点灯します。
   (自動録画予約の場合は点灯しません。)

録画予約の取り消し・変更をしたいときは

- ⇒4-44ページをご覧ください。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

録画モードと録画時間

- 本機でデジタル放送を録画するときは、録画モード（録画時間）「標準（DR）」「モード1」「モード2」が選べます。
（USBハードディスクの録画モードを設定する⇒4-34ページ）
- 録画するときの画質を下げると、録画できる時間を増やすことができます。

1.0TBハードディスクの場合の録画モードと録画時間の関係（録画時間は目安です）

「標準（DR）（放送画質）」で録画するとき

- 【BS】【CS】HD放送 87時間 【地上D】HD放送120時間 標準放送173時間

「モード1／モード2」で録画するとき

- 「モード1」【BS】【CS】【地上D】HD放送348時間
- 「モード2」【BS】【CS】【地上D】HD放送696時間
- デジタル標準（SD）放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。
- IPTVを録画する場合、録画モードの設定に関わらず「標準(DR)」での録画となります。

「【BS】【CS】HD放送」は、BS・110度CSハイビジョン放送です。

「【地上D】HD放送」は、地上デジタルハイビジョン放送です。

次ページへつづく⇒

録画モードと録画時間

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により⇒4-30ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

お知らせ

- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく「標準（DR）」、「モード1」の画質で録画していただくことをおすすめします。「モード2」の長時間録画モードで録画をするとブロック状に見える画像ノイズが目立つ場合があります。

録画モードと録画される内容・楽しめる機能

録画モード / 放送の種類	標準（DR）	モード１／モード2
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）	主映像（音声は主・副両方記録されます）	主映像（音声は主・副両方記録されます）
連動データ放送	○	×
二重音声放送	○	○
字幕	○	○
番組情報	○	○

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

録画モードと録画時間

USBハードディスクの容量と録画時間について

- 録画時間は、お使いになるUSBハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画モードを標準（DR）にした場合の録画時間の目安です。

容量／放送の種類	BS・110度CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
4TB	約348時間	約480時間	約694時間
3TB	約260時間	約360時間	約520時間
2TB	約174時間	約240時間	約347時間
1TB	約87時間	約120時間	約173時間
500GB	約44時間	約60時間	約87時間

次ページへつづく⇒

録画モードと録画時間

お知らせ

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110度CSデジタルハイビジョン（HD）放送は約24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約17Mbps、標準（SD）放送は約12Mbpsで算出しています。
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により
⇒4-32ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 「標準（DR）」を選ぶと、放送と同じ画質で録画できます。



USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

録画モードと録画時間

USBハードディスクの録画モードを設定する

- デジタル放送を録画する場合、画質を優先するときは「標準（DR）」に、より長い時間の録画を優先するときは「モード1」か「モード2」に設定することをおすすめします。ただし、IPTVを録画する場合は、録画モードの設定にかかわらず「標準(DR)」での録画となります。

お知らせ

- 「モード1」、「モード2」で録画できるのは録画①（予約の場合は予約①）で録画した場合のみです。
- 録画②（予約の場合は予約②）で録画した場合は「標準（DR）」で録画されます。

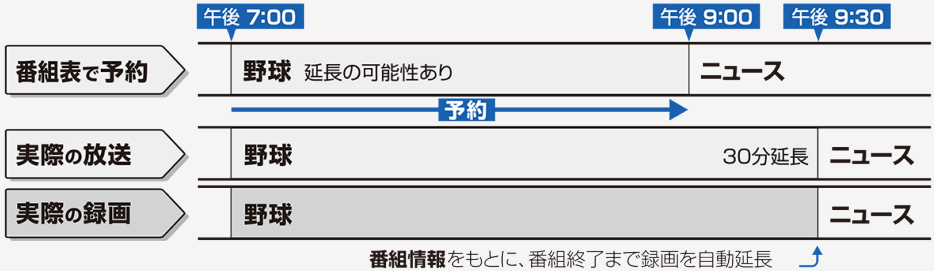
1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンと決定で「🔧（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」ー「録画モード」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで録画モードを選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

デジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

スポーツ番組を番組表から録画予約したとき



お知らせ

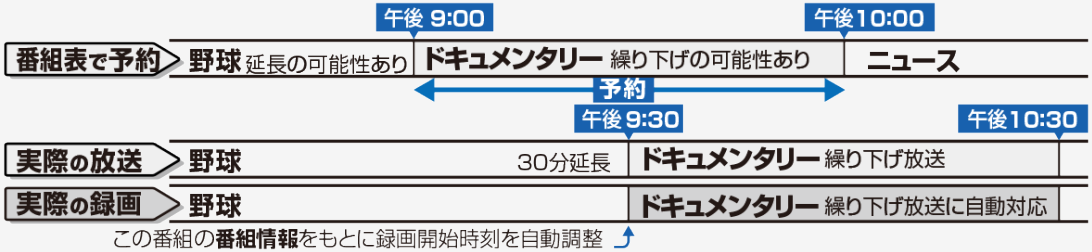
- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- 外部ビデオ入力の録画には対応していません。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

デジタル放送の延長予約について

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき



お知らせ

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、変更した時刻で録画されます。（延長に対応しなくなります。）
- 放送される番組によっては、延長に対応できない場合もあります。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

デジタル放送の延長予約について

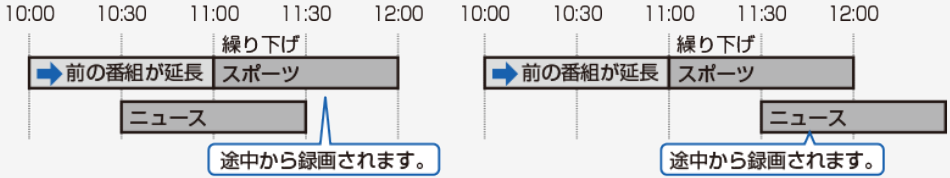
番組の延長により、予約が重なった場合

- 予約Aと予約Bが重複できない予約の場合、先の予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。



重複できる録画や予約の組み合わせ（⇒ 4-39ページ）

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。



お知らせ

- 予約が取り消される場合があります。（⇒ 4-39ページ）

デジタル放送の延長予約について

予約が取り消される場合について

- 以下の組み合わせの場合、後から開始した予約は実行されず、取り消されます。
  - 組み合わせ①
    予約A：IPTV以外のテレビの視聴予約／録画予約
    予約B：IPTV視聴予約／録画予約
  - 組み合わせ②
    予約A：IPTV視聴予約／録画予約
    予約B：IPTV以外のテレビ視聴予約予約／録画予約

USBハードディスク

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

重複できる録画や予約の組み合わせ

		録画②／予約②				
		USB-HDD 録画モード：モード1、モード2	USB-HDD 録画モード：標準（DR）	ファミリンク	視聴	IPTV 視聴／録画
録画①／予約①	USB-HDD 録画モード：モード1、モード2	×	○	○	○	×
	USB-HDD 録画モード：標準（DR）	×	○	○	○	×
	ファミリンク	×	○	×	○	×

※視聴予約およびIPTV録画予約の予約先に「予約①」は選べません。
※IPTVの録画予約／視聴予約は、他の予約と重複できません。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する

番組を自動で録画する（自動録画）

- USBハードディスクを使って、登録したキーワードやジャンルなどの条件で見つかった番組を自動で録画できます。

◆重要◆

- 自動録画機能を使うには、自動録画領域の設定とおすすめキーワード登録をする必要があります。
（⇒4-41ページ）

- 自動録画機能で録画した番組は、自動録画専用領域の録画可能時間を超えないように、録画日時の古い番組から自動的に消されます。
消されたくない番組は、消される前に通常録画に変更（「自動録画で録画した番組を自動消去対象から外す」⇒4-42ページ）しておくか、はじめから通常の録画・録画予約をしてください。

お知らせ

- 自動録画機能で録画する時間帯と通常の録画予約の時刻が重なったときは、通常の録画予約が優先されます。録画される番組は、「通常の録画番組（電子番組表から設定した予約）」、「一発録画」、「自動録画（おすすめキーワード登録の優先順）」の順に優先されます。
- 録画モードを設定することはできません。標準(DR)で録画されます。
- 自動録画は、予約②のみに登録されます。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



番組を自動で録画する（自動録画）

自動録画に割り当てるUSBハードディスク領域を設定する

- ハードディスクに自動録画するのに割り当てる時間を設定します。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンと決定で「🔧（視聴準備）」ー「USB-HDD設定」ー「自動録画領域設定」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで設定するUSBハードディスクを選んで決定を押す
4. 左右カーソルボタンで自動録画に割り当てる時間を選んで決定を押す

お知らせ

- USBハードディスク録画中は設定できません。
- 空き容量が不足している場合は、不要なタイトル（録画した番組）を削除してから、再度設定してください。
- 空き領域を増やす場合は、録画リストの自動録画タイトルを削除してください。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



番組を自動で録画する（自動録画）

自動で録画した番組を自動消去対象から外す

- 自動録画で録画した番組を通常録画に変更することで自動消去の対象から外すことができます。
- 操作する前に、USBハードディスクの準備をしてください。
  このUSBハードディスクの自動録画タイトルを通常録画タイトルに変更します。

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、赤 を押し、全画面録画リストを表示する
2. 上下左右カーソルボタンで自動消去対象から外したい自動録画タイトルを選ぶ
   - 自動録画タイトルには、アイコン（ AUTO ）が表示されます。
3. ツール（字幕） を押してツールメニューを表示する
4. 上下カーソルボタンで「自動録画番組の自動消去を解除する」を選び、決定 を押す
   - 選んだタイトルが自動消去対象から外されます。
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

USBハードディスクにデジタル放送の番組を録画・録画予約する



録画した番組を次回も録画予約する(また見たい予約)

- 録画した番組を次回(次週)もまた録画したいときに、毎週予約するように設定できます。

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、赤 を押し、全画面録画リストを表示する
2. 上下左右カーソルボタンで毎週予約したいタイトルを選び、ツール(字幕) を押してツールメニューを表示する
   - 複数のUSBハードディスクを接続している場合は、左右カーソルボタンでUSBハードディスクが切り換わります。
3. 上下カーソルボタンで「この番組を毎週予約する」を選び、決定 を押す
4. 決定 を押して「確認」で決定する

予約の確認・取り消し・変更をするには



- 録画先をUSBハードディスクやファミリンク機器に変更するときや、日時を指定して予約したいとき、視聴予約、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

実行中の予約録画を解除するには

- ファミリンクパネルを表示して、「録画停止」を選んで 決定 を押したあと、画面の指示に従って操作してください。
- 録画実行中の予約は「取り消す」のみ操作ができます。

予約を確認する

1. 番組表(予約) を押し番組表を表示する
2. 青 を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで予約リストページ1～8（自動）のいずれかを選び、上下カーソルボタンで確認したい予約番組を選んで、決定 を押す
   - 予約の設定内容が表示され、確認できます。
   - 終了する場合は、「変更しない」を選びます。

予約の確認・取り消し・変更をするには



予約を取り消す

1. 番組表(予約)を押し番組表を表示する
2. 青を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで予約リストページ1～8（自動）のいずれかを選び、上下カーソルボタンで取り消したい予約番組を選んで、決定を押す
4. 左右カーソルボタンで「取り消す」を選んで 決定を押し、左右カーソルボタンで「する」を選び決定を押す

予約の確認・取り消し・変更をするには



予約の設定を変更する

1. 番組表(予約)を押し番組表を表示する
2. 青 を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで予約リストページ1～8(自動)のいずれかを選び、上下カーソルボタンで設定を変更したい予約番組を選んで、決定を押す
4. 左右カーソルボタンで変更したい項目を選び、上下カーソルボタンで内容を選ぶ

予約の設定項目
「録画モード」:標準(DR)／モード1／モード2
「予約方法」:USB-HDD録画／ファミリンク録画／視聴予約
「録画日」:日付／毎週○曜／毎日／月-土／月-金
「予約先」:予約①／予約②

- 予約方法が「ファミリンク録画」の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
- 「日時指定予約」の場合、録画日の「日付」は、「今日の日付」～「28日後の日付」が選べます。
- USBハードディスクに録画する場合、予約先が「予約①」の場合のみ「モード1」、「モード2」での長時間録画が可能です。
  予約先が「予約②」の場合は「標準(DR)」で録画されます。
- 予約方法が「視聴予約」の場合、予約先に「予約①」は選べません。

5. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定を押す
6. 「確認」で決定を押す

予約の確認・取り消し・変更をするには



自動録画予約の設定を変更するときは

1. 番組表(予約)を押し番組表を表示する
2. 青を押し予約リストを表示する
3. 左右カーソルボタンで「自動」を選び、上下カーソルボタンで予約番組を選んで決定を押す
4. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定を押す
   - 通常録画予約に変更されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには



繰り返し予約をする

- 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

1. 番組表(予約)を押し番組表を表示し、上下左右カーソルボタンで繰り返し予約をしたい番組を選んで決定を押す

2. 上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定を押す
   - 予約した番組を予約リストからも選べます。

3. ①左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ
   ②上下カーソルボタンで「毎週〇曜」「毎日」「月ー土」「月ー金」のいずれかを選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
▲ 毎日 ▼	[火] 午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00	USB-HDD1	標準(DR)

残時間： ** 時間 ** 分　　今回の予約時間： 1 時間 00 分　　番組指定予約

次ページへつづく⇒

予約の確認・取り消し・変更をするには



繰り返し予約をする

4. カラーボタンで、予約の種類を設定する
   - 青 を押すと、「毎日予約」に設定できます。
   - 赤 を押すと、「毎週予約」に設定できます。
   - 黄 を押すと、「日時指定予約」※1に切り換えられます。
5. 左右カーソルボタンで「変更する」を選び、 決定 を押す
6. 「確認」で 決定 を押す

※1「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後3時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

お知らせ

- 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

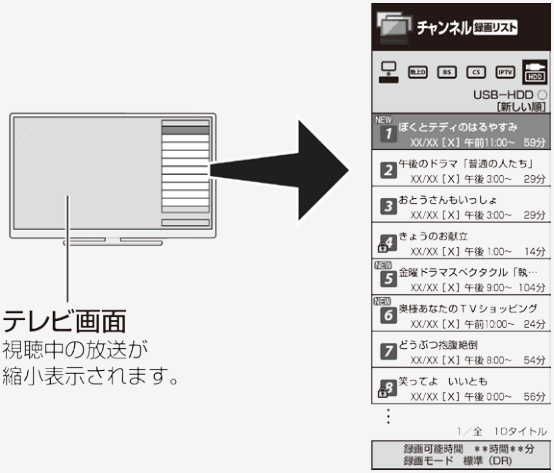
USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画リストについて

- 録画リスト を押してメニューを表示し、上下カーソルボタンで表示したいUSBハードディスクを選ぶと、録画した番組が表示されます。（1台のみの場合は録画リストが直接表示されます）
- 録画リストの表示中に 赤 を押すと、録画リストが全画面で表示されます。
- 録画リストを表示して、USBハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例



テレビ画面
視聴中の放送が
縮小表示されます。

次ページへつづく⇒

USBハードディスク

USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

全画面録画リストの画面例



全画面録画リストでできること

- 全画面録画リストで ツール (字幕) を押すと、機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから、次のことができます。
  - 録画した番組の消去（⇒ 4-76～4-78ページ）
  - 録画した番組のタイトル名の変更（⇒ 4-65ページ）
  - 録画した番組の保護（⇒ 4-70～4-75ページ）
  - 録画した番組の繰り返し予約（⇒ 4-48～4-49ページ）
  - 録画した番組の検索（⇒ 4-67ページ）
  - USB-HDDの設定（⇒ 2-10～2-12ページ）

お知らせ

- 本機以外につないで録画したUSBハードディスクや、登録解除したUSBハードディスクは再生できません。

録画リストは、以下の操作でも表示されます。

- ファミリンクパネルを表示して、ファミリンクパネルから選ぶこともできます。⇒ 4-68ページ

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画リストから再生する

1. 録画リストを押して録画リストを表示する
   - 接続している機器が1台のみの場合は、手順3に進みます。
   - 入力切換ボタンを押しても再生するUSBハードディスクを選べます。
2. 上下カーソルボタンで再生したいUSBハードディスクを選び、決定を押す



3. 上下カーソルボタンで再生したい番組を選び、決定を押す
   - 1ページに8タイトルまで表示されます。9タイトル以上あるときは、黄または緑を押すと、ページを切り換えて表示できます。
   - 選んだ番組の再生が始まります。
   - リモコンの 1 ～ 8 を押しても選べます。
   - 再生を止めるときは、停止を押します。



お知らせ

全画面録画リストのタイトル表示について

- 録画リストを全画面にした場合は、1ページに12タイトルまで表示されます。13タイトル以上あるときは、右カーソルボタンを押すと、ページを切り換えて表示できます。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画リストから再生する

録画リストから再生する

ボタン	説明
前/早戻し ⏮/◀◀	• いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 ⏮ 前 • 長押しで早戻しになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階) ◀◀1 → ◀◀2 → ◀◀3 → ◀◀4
早送り/次 ▶▶/⏭	• 次のチャプターを頭出しします。 ⏭ 次 • 長押しで早送りになります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。(4段階) • ▶▶1 は約1.5倍速の早見・早聞き視聴が行えます。 再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。 ▶▶1 → ▶▶2 → ▶▶3 → ▶▶4
10秒戻し ◀•	• 再生シーンを約10秒前に戻します。 • 連続押しは、6回(約1分前)まで戻せます。
30秒送り •▶	• 再生シーンを約30秒先に送ります。 • 連続押しは、6回(約3分先)まで送れます。
一時停止/静止 ⏸	• 再生を一時停止(静止画再生)します。 • 押すたびに「一時停止」⇔「再生」となります。

早見・早聞き再生中にチャプター頭出し、10秒戻し、30秒送り操作をしても早見・早聞き再生は継続します。

USBハードディスクに録画した番組を再生する



ホームメニューから再生する

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「チャンネル」を選び、決定を押す
2. 左右カーソルボタンで「USB-HDD」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで再生したい番組を選び、決定を押す
   - 1ページに8タイトルまで表示されます。9タイトル以上あるときは、黄または緑を押すと、ページを切り換えて表示できます。

USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 録画中の番組を再生することができます。
- 一発録画、予約録画に対応しています。

◆重要◆
- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません
- HDDの残量が少ないとき
- IPTV録画のとき

1. 録画中に、リモコンの 再生 を押して再生選択画面を表示する
2. 上下カーソルボタンで「録画番組（〇〇 〇〇〇ch）を追いかけ再生する」を選び、決定を押す

- 画面右上に緑色の再生マークが出ます。
- 追いかけ再生を停止するには 停止 を押します。
  録画を停止するときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」を選びます。

次ページへつづく⇒

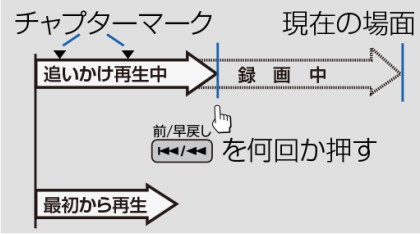
USBハードディスクに録画した番組を再生する



録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

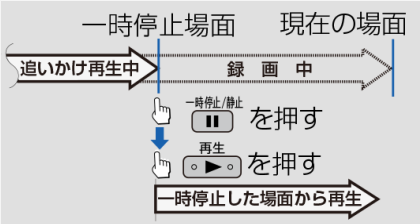
追いかけ再生中の早戻し／早送り

- 追いかけ再生中に 前/早戻し ⏮/◀◀ または 早送り/次 ▶▶/⏭ を長押しすると早戻し／早送り再生になります。そのまま押し続けると、速度が速くなります。（4段階）



追いかけ再生中に一時停止した場合

- 下図のように再生を再開することができます。



次ページへつづく⇒

USBハードディスクに録画した番組を再生する

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が6時間以上続いたときは、録画が停止します。録画が停止した時点で追いかけ再生から通常再生に変わります。
- 追いかけ再生中に早送りをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると追いかけ再生が解除され、最後に視聴したチャンネルの画面に戻ります。
  戻るタイミングは、早送りのスピードや録画モードにより異なります。
- 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。

再生時の操作



停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

停止した場所からつづけて再生するときは

1. 再生 を押す
   - つづきから再生できます。

はじめから再生するときは

1. 録画リストを表示する
   - ⇒4-52ページ
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. 上下カーソルボタンで再生したいタイトルを選ぶ
4. 赤 を押して、最初から再生する
   - 選んだタイトルがはじめから再生されます。

次ページへつづく⇒

再生時の操作



再生中に設定をする(視聴メニュー)

- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

お知らせ

- 字幕の表示が「－－」と表示される場合は、そのタイトルに選択できる字幕が記録されていません。

1. 再生中にファミリンクを押し、ファミリンクパネルを表示して、「視聴メニュー」を選ぶ
   - 上下左右カーソルボタンで選んで、決定を押します。



- ファミリンクパネル
  ⇒4-68ページ

次ページへつづく⇒

再生時の操作



再生中に設定をする(視聴メニュー)

2. 設定項目を選ぶ
   - 上下カーソルボタンで選んで、決定を押します。

①再生状態表示動作状態やディスクの種類
②設定項目(⇒4-61ページ)
③操作ガイド表示



3. 設定する(⇒4-61ページ)
   - 上下左右カーソルボタンで選んで、決定を押します。

- 戻るまたは終了を押して終了します。

お知らせ

- アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

次ページへつづく⇒

再生時の操作

再生中に設定をする（視聴メニュー）



1. T タイトル（トラック）選択
   - 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。
2. C チャプター再生表示
   - 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
3. 再生経過時間表示
   - 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
4. 字幕言語再生表示
   - 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。
5. 映像切換
   - 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。
6. 音声切換
   - 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。
   - 早見・早聞き視聴中は切り換えられません。

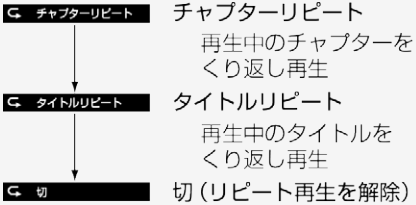
次ページへつづく⇒

再生時の操作



再生中に設定をする（視聴メニュー）

7. リピート再生
   - 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。
   - 上下カーソルボタンで「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選び、決定を押します。





   - リピート再生を開始します。
   - 選択画面に戻るには 戻る を押します。

お知らせ

- 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1. 録画リストを表示する
   - ⇒4-52ページ
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. 青 を押し、「並べ換え」をする
4. 「新しい順」「古い順」「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」「タイトル名順」「保護無し（古い順）」「データ量多い順」「自動録画（古い順）」のいずれかを選んで、決定 を押す
   - 並べ換えを行うと、録画リストフォルダの中にあるタイトルが選択した順に並べ換えられます。

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは（毎週予約）

1. 録画リストを表示する
   - ⇒4-52ページ
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. 毎週予約したいタイトルを選ぶ
4. ツール（字幕） を押し、ツールメニューを表示する
5. 「この番組を毎週予約する」を選ぶ
6. 「確認」で 決定 を押す
   - 録画予約した内容を取り消し・変更したいときは ⇒4-44ページをご覧ください。

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画した番組の名前を変更する

1. 録画リストを表示する
   - ⇒4-52ページ
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. タイトル名を変更したいタイトルを選び、ツールメニューを表示する
   - 上下左右カーソルボタンで選び、ツール(字幕)を押します。
4. 「タイトル名変更」を選び、決定を押す

機能メニュー
消去
タイトル名変更
タイトル保護／解除
この番組を毎週予約する

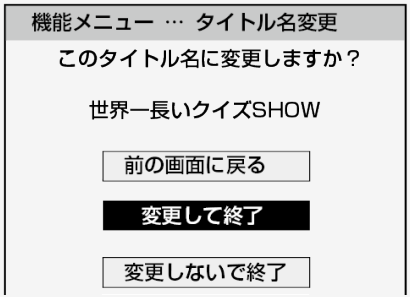
次ページへつづく⇒

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画した番組の名前を変更する

5. 「する」を選び、決定を押す
6. ソフトウェアキーボードを使ってタイトル名を変更する
7. 「変更して終了」を選び、決定を押す



- 操作を終了する場合は、終了を押します。

USBハードディスクに録画した番組の管理



録画した番組を録画リストのタイトルから探す

1. 録画リスト を押して録画リストを表示する
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. ツール (字幕) を押し、ツールメニューを表示する
4. 「タイトル検索」を選び、決定 を押す
5. ソフトウェアキーボードを使ってキーワードを入力する
   - 入力したキーワードを含む録画番組が一覧で表示されます。

USBハードディスクに録画した番組の管理



ファミリンクパネルの操作のしかた

- USBハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1. ファミリンクパネルを表示する
   - ファミリンク を押します。
   - ホームメニュー項目の「リンク操作」を選んでも操作できます。
2. USBハードディスクを選ぶ



- 上下左右カーソルボタンで選び、決定を押します。
- USBハードディスクの選択は、場合によっては表示されないことがあります。

次ページへつづく⇒

USBハードディスクに録画した番組の管理



ファミリンクパネルの操作のしかた

3. 操作したい機能のボタンを選ぶ



- 上下左右カーソルボタンで選び、決定を押します。

お知らせ

- 視聴コンテンツによっては、操作できない機能ボタンがあります。

タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する



タイトルを1つ選んで保護／解除する

1. 録画リストを表示して、保護／解除したいタイトルを選ぶ
   - 録画リストを表示する
     ⇒4-52ページ
2. 赤 を押し、全画面録画リストを表示する
3. ツール（字幕） を押し、機能メニューを表示する
4. 「タイトル保護／解除」を選び、決定 を押す

機能メニュー
消去
タイトル名変更
タイトル保護／解除
この番組を毎週予約する

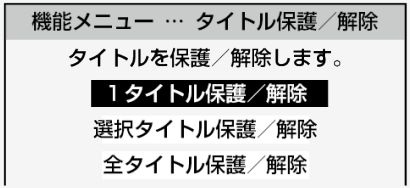
次ページへつづく⇒

タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する



タイトルを1つ選んで保護／解除する

5. 「1タイトル保護／解除」を選び、決定を押す



6. 「保護する」または「保護解除」を選び、決定を押す



- 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する



複数のタイトルを選んで保護／解除する

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、赤 を押し、全画面録画リストを表示する
2. ツール (字幕) を押してツールメニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「選択タイトル保護／解除」を選び、決定 を押す

次ページへつづく⇒

タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する



複数のタイトルを選んで保護／解除する

4. カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、 決定 を押す

NEW	🔒	ぼくとテディのはるやすみ	XX/XX
	🔒	午後のドラマ「普通の人たち」	XX/XX
	🔒	おとうさんもいっしょ	XX/XX
	🔒	きょうのお献立	XX/XX
NEW	🔒	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵5」	XX/XX
NEW	–	奥様あなたのTVショッピング	XX/XX
	–	どうぶつ抱腹絶倒	XX/XX

- 保護したいタイトルに、「🔒」マークを付けます。
- 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルには「🔒」マークが付きます。もう一度選ぶと「🔓」マークが外れます。

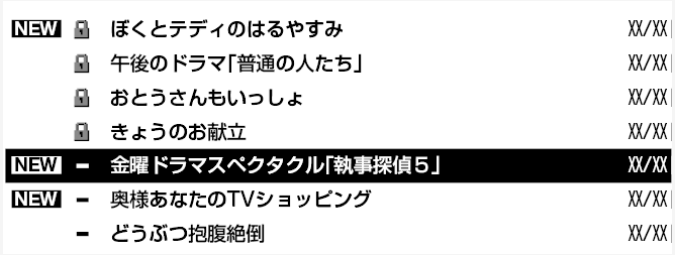
次ページへつづく⇒

タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する



複数のタイトルを選んで保護／解除する

5. 赤 を押す
   - 「🔒」マークが付いたタイトルが保護されます。
   - 「🔒」マークのない（外した）タイトルは保護されません。



- 操作を終了する場合は、終了 を押します。

次ページへつづく⇒

タイトル(録画した番組)が消されないように保護する／保護を解除する



タイトルを全て保護／解除する

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、赤 を押し、全画面録画リストを表示する
2. ツール (字幕) を押してツールメニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定 を押す
3. 上下カーソルボタンで「全タイトル保護／解除」を選び、決定 を押す
4. 左右カーソルボタンで「保護する」または「保護解除」を選び、決定 を押す
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

タイトル（録画した番組）を消去する



タイトルを1つ選んで消去する

お知らせ

- 消去したタイトルは復活できません。

1. 録画リストを押して録画リストを表示し、赤を押し、全画面録画リストを表示する
2. 上下カーソルボタンで消去したいタイトルを選ぶ
   - 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「タイトル保護／解除」（⇒4-70ページ）を行ってください。
3. ツールを押し、ツールメニューを表示する
4. 「消去」を選び、決定を押す
5. 「1タイトル消去」を選び、決定を押す
6. 「する」を選び、決定を押す
   - 選んだタイトルが消去されます。
   - 消去中は、電源を切らないでください。
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

タイトル(録画した番組)を消去する



複数のタイトルを選んで消去する

1. 録画リストを押して録画リストを表示し、赤を押し、全画面録画リストを表示する
2. ツール(字幕)を押し、ツールメニューを表示する
3. 「消去」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「選択タイトル消去」を選び、決定を押す
5. カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定を押す
   - 1回の操作で最大20タイトルまで選べます。
   - 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。
6. 赤を押す
7. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
   - ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
   - 操作を終了する場合は、終了を押します。

次ページへつづく⇒

タイトル(録画した番組)を消去する



USBハードディスクのタイトルを全て消去する

1. 録画リスト を押して録画リストを表示し、赤 を押し、全画面録画リストを表示する
2. ツール(字幕) を押し、ツールメニューを表示する
3. 「消去」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「全タイトル消去」を選び、決定 を押す
5. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定 を押す
   - すべてのタイトルが消去されます。(保護されたタイトルは残ります。)
   - 消去中は、電源を切らないでください。
   - 操作を終了する場合は、終了 を押します。

ネットワーク

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境やLAN環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使ってLAN接続をしてください。

ブロードバンド環境やLAN環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
AQUOS Cityやインターネットの表示 使いかた⇒5-22～5-33ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
デジタル放送の双方向通信 （LAN接続に対応している番組のみ）	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTV(ひかりTV)の視聴 使いかた ⇒5-34～5-53ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒5-54～5-55ページ	不要	不要	必要

次ページへつづく⇒

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

お知らせ

AQUOS Cityについて

- AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について

- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN接続で利用できるものもあります。）

ブロードバンド回線について

- IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。
  映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置はLANケーブルで接続してください。
  LANケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- IPTVのご利用には、実効速度（常時）20Mbps以上の光回線（FTTH）が必要です。実効速度が20Mbpsを下回る場合、映像がときどき停止してしまう可能性があります。
- 4K映像配信サービスのご利用には、無線LAN接続以上の通信速度が必要になる場合があります。
  映像に乱れや停止などが発生する場合は、無線LAN接続ではなく、有線LAN接続してください。

ホームネットワークの利用について

- ホームネットワークを利用するには、LAN接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

インターネット機能について

- 本機に搭載しているインターネット機能は、ネットワークサービス事業者が提供するサービスを視聴する機能です。サービス事業者の都合により、予告なく変更や終了されることがあります。サービスの変更や終了による損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

◆重要◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力（パスワードロック機能）が必要です。
  - インターネット接続を禁止する⇒ 5-19ページ
  - アドレス入力機能を禁止する（ブラウザ制限）⇒ 5-33ページ
  - プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）⇒ 5-20ページ

ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

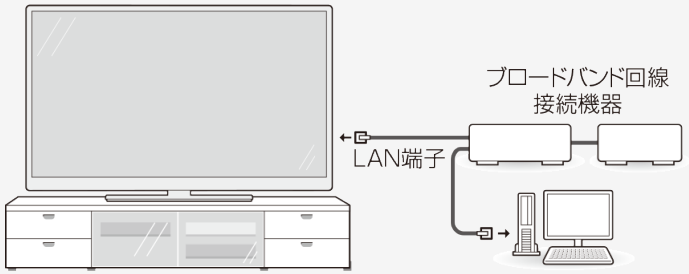
1. 本機が接続できるブロードバンド環境を確認する
   ⇒5-6～5-11ページ

   - 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
   - IPTVを視聴するためには、IPTVサービス事業者との契約などが必要です。
   - コンテンツマネージャー（⇒ 3-1ページ）を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内LANへの本機の接続が必要です。

   ブロードバンド環境の確認
   ・⇒5-6～5-11ページ

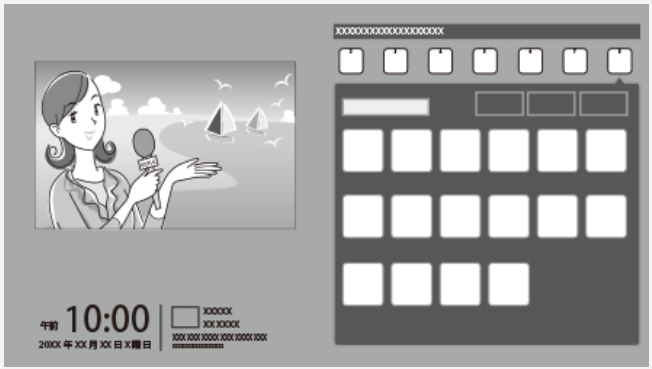
   ブロードバンドルーターと本機を接続する
   ・⇒5-8ページ

   ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた
   ・⇒5-7ページ



ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた

2. AQUOS Cityを表示してみる
⇒5-22ページ



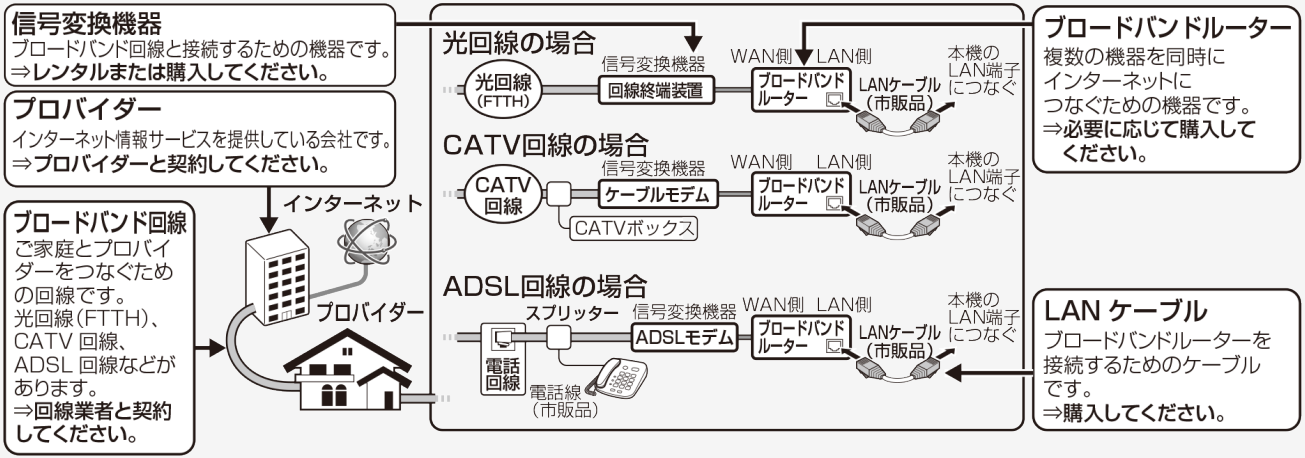
- AQUOS Cityの表示内容は一例です。
- AQUOS Cityが表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」（⇒5-12ページ）をご覧ください。

3. インターネットへの接続を制限する
- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。（⇒5-20ページ）

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。
  （⇒5-8～5-9ページ）
- IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境



IPTVをご利用になる場合は⇒5-34ページをご覧ください。
CATVボックスの接続例⇒取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

次ページへつづく⇒

ブロードバンド環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

お知らせ

IPTVやビデオオンデマンドなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。
映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置はLANケーブルで接続してください。LANケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

- IPTVのご利用には、実効速度（常時）20Mbps以上の光回線（FTTH）が必要です。

ブロードバンド環境がない場合

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV回線・ADSL回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

次ページへつづく⇒

ブロードバンド環境を用意する

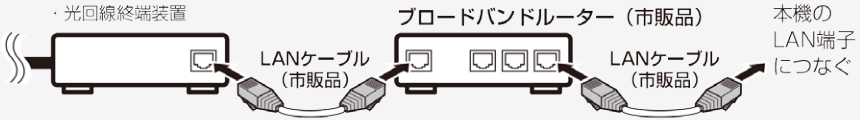
本機をインターネットに接続するためのLAN環境

- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

接続例 A

ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
ルーター機能が付いていない場合

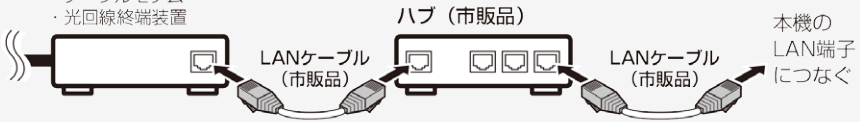
信号変換機器（ルーター機能なし）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置



接続例 B

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、
LAN端子の空きがない場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置



次ページへつづく⇒

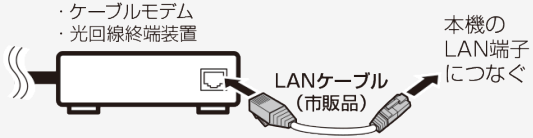
ブロードバンド環境を用意する

本機をインターネットに接続するためのLAN環境

接続例 **C**

ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム
・ケーブルモデム
・光回線終端装置



双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする



LAN設定を行う

- この操作を行うまえに、本機のブロードバンド環境とLAN環境を確認してください。
「ブロードバンド環境とLAN環境の用意のしかた」
（⇒5-4～5-5ページ）

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「LAN設定」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「変更する」を選び、決定を押す
5. 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定を押す
IPv4を設定する場合
    - 「IPv4設定」を選んで決定します。

    IPv6を設定する場合
    - 「IPv6設定」を選んで決定します。
6. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
    - 「DNSのIPアドレス自動取得画面」になります。

次ページへつづく⇒

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする



LAN設定を行う

7. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押したあと「次へ」で 決定を押す
8. 「完了」で 決定を押す

- 操作を終了する場合は、ホームを押します。

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を確認する

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 「LAN設定」を選び、決定を押す
4. 「変更する」を選び、決定を押す
5. 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定を押す
   - 各項目に数値が表示されているか確認します。

IPv4を設定する場合
- 「IPv4設定」を選んで決定します。

IPv6を設定する場合
- 「IPv6設定」を選んで決定します。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

- ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
- ブロードバンドルーターのDHCP機能（IPアドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP機能を使用しない場合は、LAN設定でIPアドレスなどを入力してください。
  （⇒5-16ページ）
- 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。

次ページへつづく⇒

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

各項目に数値が表示されている場合

LAN設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

- 接続する機器の電源は入っていますか。
- ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSLモデムなどが正しく接続されていますか。
- ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
- ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
- 「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。
（⇒5-19ページ）

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

次ページへつづく⇒

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

1. 5-12ページの手順1～3を行う
2. 上下カーソルボタンで「変更する」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定を押す

   IPv4を設定する場合

   - 「IPv4設定」を選んで決定します。

   IPv6を設定する場合

   - 「IPv6設定」を選んで決定します。

4. IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定を押す
   - 「IPアドレスなどの入力のしかた」(⇒ 5-16ページ)をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定を押します。

   入力する必要がない場合

   - 「する」を選び、決定を押したあと「次へ」で決定を押します。

次ページへつづく⇒

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

5. DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定を押す
   - 「IPアドレスなどの入力のしかた」(⇒ 5-16ページ)をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNSのIPアドレスを入力し、「次へ」で決定を押します。
   - セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

   入力する必要がない場合
   - 「する」を選び、決定を押したあと「次へ」で決定を押します。
6. 「完了」で決定する
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

次ページへつづく⇒

インターネットに接続できない場合は



ネットワークの設定を変更する

IPアドレスなどの入力のしかた

1. 入力欄を選び、決定を押す
   - ソフトウェアキーボードが表示されます。
2. 文字を入力する
   - 「0」を入力する場合は 10/0 を押します。
   - IPv6の場合 11 で「ABC」、12 で「DEF:」を入力できます。
3. 黄 を押して、入力した文字を確定する
   - ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス	192	---	---	---

次ページへつづく⇒

ネットワーク

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を変更する

IPアドレスなどの入力のしかた

お知らせ

IPアドレスについて

- TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNSのアドレスが見つからないとき

- DNSは、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する



双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒2-13ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 「ネットサービス制限設定」を選び、決定を押す
4. 「デジタル放送接続制限」を選び、決定を押す
5. 暗証番号を入力する
6. 「する」を選び、決定を押す
   - デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する



インターネット接続の利用を制限する

- インターネットは回線の利用料金がかかる場合がありますので、接続を禁止したいときに便利な設定です。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒2-13ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 「ネットサービス制限設定」を選び、決定を押す
4. 「インターネット接続制限」を選び、決定を押す
5. 暗証番号を入力する
6. 「する」を選び、決定を押す
   - インターネットの接続を禁止する／禁止しないを設定できます。禁止すると、インターネットの表示やIPTVの視聴ができなくなります。

双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する



プロキシ設定機能を利用する(プロキシサーバー設定)

- プロキシ形式のフィルタリングサービス(インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能)を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。

お知らせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定(⇒2-13ページ)をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選び、決定を押す
3. 「ネットサービス制限設定」を選び、決定を押す
4. 「プロキシサーバー設定」を選び、決定を押す
5. 暗証番号を入力する

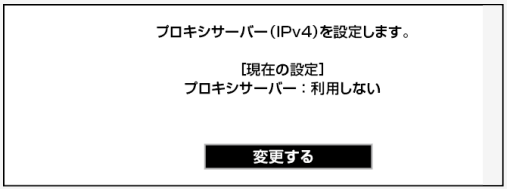
次ページへつづく⇒

双方向サービス/インターネット/ホームページへの接続を制限する



プロキシ設定機能を利用する(プロキシサーバー設定)

6. 「変更する」を選び、決定を押す



7. 「する」を選び、決定を押す
8. プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する
   - 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
   - 文字を入力し黄で確定します。詳しくは「文字を入力する」(⇒ 2-70ページ)をご覧ください。
9. 「完了」で決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

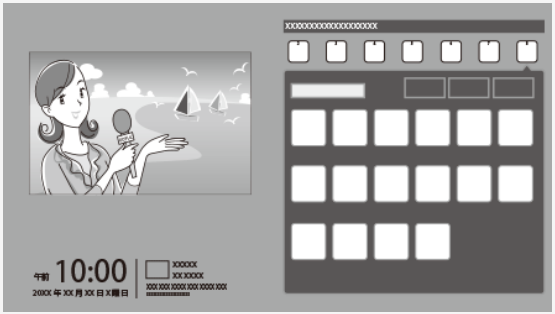
インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する

- AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS City」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

AQUOS Cityの表示内容は一例です。



- テレビの画面に戻すときは、終了 を押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

次ページへつづく⇒

インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する

お知らせ

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が表示されます。

接続について

- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
  ⇒5-4ページをご覧になり、接続と設定を行ってください。

AQUOS Cityが表示されないときは

- 「LAN接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。 ホーム を押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」(⇒5-12ページ)をご覧になって、インターネットに接続してください。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
  - ファイルのダウンロードはできません。
  - 表示したページの履歴は表示できません。
  - ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
  - ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
  - PDF(電子文書)を読み込む機能はありません。
  - メールの送受信機能はありません。

次ページへつづく⇒

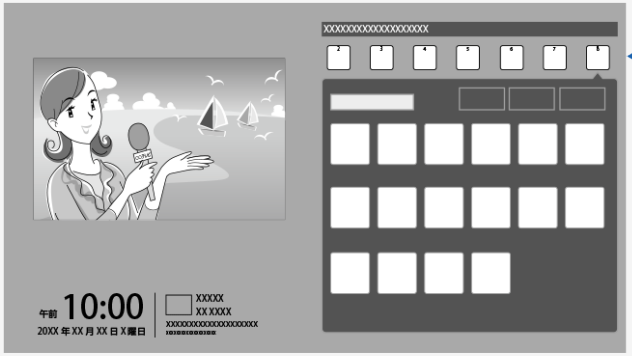
インターネットを楽しむ



AQUOS Cityを表示する

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「テレビ＋インターネット」を選び、決定 を押す
2. 左右カーソルボタンで「サービス一覧」を選ぶ

ブラウザで表示されたインターネットのページ例
（表示内容は一例です。）



インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、チャンネル（数字）ボタンを押すと、リンク先のページを呼び出せます。

インターネットを楽しむ



インターネットを見る画面の操作のしかた

操作に使用できるボタンの一覧

	リンクやテキストボックスなどを選びます。
決定	リンク先のページを呼び出したり、文字入力を開始したりします。
戻る	1つ前の画面に戻します。
ツール (字幕)	ツールバーを表示します。
1 ～ 12	インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、リンク先のページを呼び出すことができます。
終了	テレビ画面に戻します。

次ページへつづく⇒

インターネットを見る画面の操作のしかた

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が1画面で表示されます。

ネットサービスゾーンにアイコンが表示されないときは

- ネットワークに接続されていないメッセージが表示されます。「ネットワークの設定を確認する」（⇒5-12ページ）をご覧になって、インターネットに接続してください。

セキュリティの通知画面が表示されたとき
⇒5-27ページ

ページの一部が正しく表示されないとき
⇒5-27ページ

ツールバー（便利機能）の使いかた
⇒5-28ページ

◆重要◆

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。
  また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

インターネットを楽しむ



セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 「OK」を選んで 決定 を押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」（⇒5-32ページ）で設定できます。

ページの一部が正しく表示されないとき

- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像の可能性があります。
  ツールバーの（再読み込み）を選んで、ページを表示し直してみてください。
  「ツールバー（便利機能）の使いかた」（⇒5-28ページ）

インターネットを楽しむ



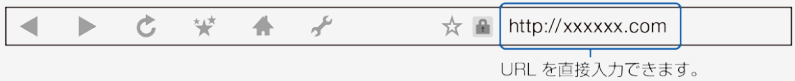
ツールバー(便利機能)の使いかた

この機能について

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

操作のしかた

- ツール (字幕) を押し、ツールバー(便利機能)を表示する



- 左右カーソルボタンでボタンを選び 決定 を押すとその機能が実行されます。
- ツールバー(便利機能)を消すには、もう一度 ツール (字幕) を押します。

次ページへつづく⇒

ツールバー（便利機能）の使いかた

ツールバー（便利機能）について

	1つ前のページに戻ります。
	1つ先のページに進みます。
	ページを再読み込みします。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	ブックマークを開くときに選びます。編集や削除もできます。
	AQUOS Cityを表示します。
	ブラウザメニューを表示します。（ブラウザの設定を確認・変更する⇒ 5-31ページ）
	表示中のページをブックマークに登録します。（表示しているページのURLを保存する⇒ 5-30ページ）

お知らせ

- 「ブラウザ制限」（有害サイトへのアクセスを防ぐ（ブラウザ制限）⇒ 5-33ページ）を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

インターネットを楽しむ



表示しているページのURLを保存する（ブックマークに登録する）

表示しているページのURLを保存しておくと

- 次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

操作のしかた

1. ブックマークに登録したいページを表示する
2. ツール（字幕）を押し、ツールバー（便利機能）を表示する
3. 左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の ☆（ブックマークに登録）を選び、決定を押す
4. ガイダンスに従って操作する
   - ブックマークに登録されます。

ブラウザの設定を確認・変更する

ブラウザの設定について

- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。

「拡大・縮小表示」

- ページの表示サイズを変更できます。
- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

「文字コード」

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

お知らせ

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効/無効および文字コードの設定は戻りません。

「ページ情報」

- 表示しているページの情報を確認できます。

次ページへつづく⇒

ブラウザの設定を確認・変更する

「セキュリティ設定」

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書 ※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
  ※ページを表示しても安全であることを証明するものです。

「Cookie設定」

- Cookie（クッキー）の受信方法の設定と、受信したCookieの削除ができます。

お知らせ

- Cookieをすべて削除するときは、「Cookieをすべて削除」を選んで 決定 を押し、「する」を選び、 決定 を押します。
- Cookieを削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

「リセット」

- ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻します。

お知らせ

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効／無効および文字コードの設定は戻りません。

インターネットを楽しむ



有害サイトへのアクセスを防ぐ(ブラウザ制限)

ブラウザ制限について

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URLを入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

お知らせ

- 「ブラウザ制限」を「する」にしている場合、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定を押す
5. チャンネル(数字)ボタン 1 ～ 10/0 で暗証番号を入力する
6. 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
   - メニューを消すときは ホーム を押します。

暗証番号の設定について

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。(暗証番号設定⇒2-13ページ)
- 「0」を入力したい場合は、10/0を押します。

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備

- IPTVとはブロードバンドの光回線（FTTH）を使って受信するテレビ放送などのサービスです。テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。 2017年9月現在、株式会社NTTぷららより、IPTVサービスとして「ひかりTV」が提供されています。
- IPTVはブロードバンドルーターなどとつないで受信します。（アンテナとの接続は必要ありません。）

IPTV（ひかりTV）を視聴するまでの準備の流れ

1. IPTVサービスの契約をする
   - IPTV事業者と、IPTVサービスや光回線（FTTH）の有料サービス契約をする必要があります。
   - IPTVサービスによっては、IPTVを見るためのサービスとビデオを見るためのサービスで、コースが分かれているものもあります。
   - IPTVサービス（ひかりTVなど）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
   - 本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要です。
2. 光回線（FTTH）に接続する⇒ 5-36ページ
   - IPTVのご利用には、実効速度（常時）20Mbps以上の光回線（FTTH）が必要です。
3. IPTVの基本登録とチャンネルの設定をする ⇒ 5-37～5-43ページ
   - IPTVサービスを利用するための登録をします。

お知らせ

- 引っ越した場合、IPTVが視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備

IPTV（ひかりTV）を見るための接続をする

- ご契約のIPTVサービスにより、必要になるブロードバンド環境が異なります。IPTVサービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要です。

IPv4環境の場合

- ⇒5-4～5-9ページをご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

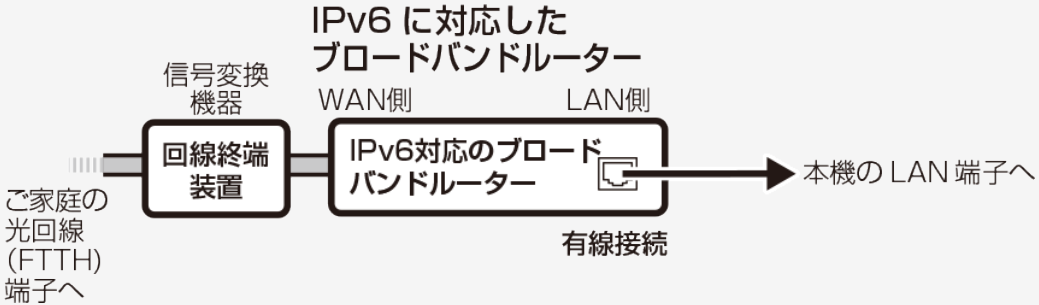
次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備

IPTV（ひかりTV）を見るための接続をする

IPv6環境の場合

- IPTVサービスが、IPv6方式の場合に必要な接続です。



◆重要◆

本機のIPv6接続はIPTVの受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4環境も必要です。

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）の基本登録をする

- IPTVを視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

お知らせ

「IPTV設定」ー「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV設定」を「する」にした場合、IPTVのサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たにIPTVの契約をした場合は、IPTVのサービス設定を「する」に設定してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「サービス設定」を選び、決定を押す
5. 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定を押す
6. 「終了」で決定を押す

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）の基本登録をする

7. 上下カーソルボタンで「基本登録」を選び、決定を押す

8. 上下カーソルボタンで基本登録をするIPTV事業者名を選び、決定を押す
   - IPTV事業者の基本登録画面が表示されます。

9. 「基本登録」をする
   - 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

IPTVのチャンネル設定は⇒5-40ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）の基本登録をする

お知らせ

IPTVの基本登録画面が表示されないときは

- IPTVサービス事業者がIPv6でサービスを行っている場合は、ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」ー「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「LAN設定」ー「LAN設定(IPv6)」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
- 各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターがIPv6に対応したものになっていますか。また、IPv6を使用できる設定になっていますか。
  - 本機とブロードバンドルーターの間に無線LANを接続していませんか。無線LANでは、IPv6の通信ができない場合があります。
  - 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置(ONU)や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者やIPTVサービスへお問い合わせください。
- IPTVサービス事業者がIPv4でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」（⇒5-12ページ）をご覧ください。

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）のチャンネルを設定する

- IPTVの放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
  IPTVのチャンネル設定の前に、IPTVの基本登録が必要です。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定を押す
5. 上下カーソルボタンで「IPTVー自動」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）のチャンネルを設定する

6. 左右カーソルボタンで「する」を選び、 決定 を押す

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。
- 自動設定が始まります。終わるまでしばらくお待ちください。

7. 「終了」で 決定 を押す
   - 操作を終了する場合は、 ホーム を押します。

お知らせ

チャンネルを追加するときは

- 「IPTVー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、⇒5-40ページの手順5で「IPTVー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で 決定 を押します。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備

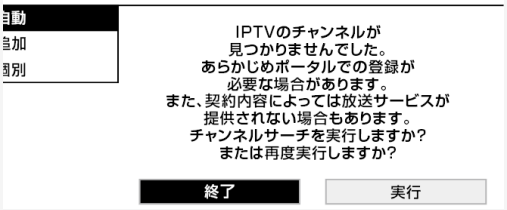


IPTV（ひかりTV）のチャンネルを設定する

お知らせ

IPTVのチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。



- IPTVの放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。（⇒5-37ページ）
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTVの放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

IPTVの受信状態を確かめたいときは

- ⇒5-37ページの手順4で「受信状態」を選びます。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を視聴するための準備



IPTV（ひかりTV）のチャンネルを設定する

選局ボタンで選べる不要なチャンネルをスキップする／
スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧で非表示にするには

1. ⇒5-40ページの手順5で「IPTV－個別」を選び、決定を押す
2. スキップするチャンネルを選び、決定を押す
3. 「スキップ」を選び、決定を押す
4. 「する」を選び、決定を押す
5. 「する」または「しない」を選び、決定を押す
   - 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のテレビサービスを楽しむ

1. インターネット を押して、上下カーソルボタンで「IPTV（ポータル）」を選び、決定を押す
2. チャンネル（数字）ボタンや選局ボタンを使って選局する

- 3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。
- 字幕や複数の音声がある番組の場合は、字幕や音声を切り換えることができます。
（⇒1-17～1-22ページ）

お知らせ

IPTVの視聴について

- IPTVは光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
- 番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のテレビサービスを楽しむ

お知らせ

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

IPTVのポータル画面について

- ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
- IPTVサービスによっては、IPTVを受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。
- 見ているIPTVの放送サービスに連動したポータルがある場合は、データ d を押すとそのポータル画面に切り換わります。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のテレビサービスを楽しむ

お知らせ

- 複数のプラットフォームを受信している場合は、ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」ー「（機能切換）」ー「視聴操作」を選び、「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」を選んでプラットフォームを切り換えられます。（「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」は、ツールメニューからも選べます。）
- プラットフォームとは、IPTVサービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1種類のIPTVサービスに加入しているときでも、IPTVサービスによっては複数のプラットフォームを使用している場合があります。また、複数のIPTVサービスに加入していても使用しているプラットフォームは1つだけの場合もあります。
- ポータル画面表示中およびVOD再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒1-15ページをご覧ください。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る

IPTV（ひかりTV）のテレビサービスを楽しむ

テレビ放送の番組表（⇒ 1−1ページ）と同じように次の操作ができます

- 番組情報の表示
- 指定した日時の番組表を表示
- 見つかる検索
- ジャンル検索
- 特徴検索
- キーワード検索
- 録画予約

お知らせ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTVの番組表に表示される情報の期間は最大8日分です。
- IPTVの番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTVの成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のポータル画面を活用する

- ポータル画面とはIPTVサービスの窓口となる画面のことです。

  ポータル画面でできること ※

  - IPTVサービスの基本登録をする
  - ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
  - IPTVサービス事業者からのお知らせを確認する
  - IPTVサービスのサービスプランを変える

※できることはIPTVサービスによって異なります。詳しくはIPTVサービス事業者にお問い合わせください。

1. インターネット を押して、上下カーソルボタンで「IPTV（ポータル）」を選び、 決定 を押す
   - 前回表示したポータル画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のポータル画面を活用する

2. カーソルボタンでポータル画面の中から目的の項目を選び、決定を押す
   - 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面からIPTVのテレビ放送に切り換えるには

- ⇒5-48ページの手順1で「テレビ」を選ぶと、IPTVのテレビ放送に切り換えることができます。

IPTV（ひかりTV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンド（VOD ※）とは、映画などを見たいときに見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。
  ※「VOD」とは、Video on Demandのことです。

◆重要◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTVサービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

お知らせ

- ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。
- ポータル画面は、IPTV（ポータル）の番組を選局したあとで、ツールメニューを表示して、「テレビ/ラジオ/データ/ポータル」を選んでも表示できます。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒5-48ページ）で行います。

◆ポータル画面を表示する

1. インターネット を押して、上下カーソルボタンで「IPTV（ポータル）」を選び、 決定 を押す
   - 前回表示したポータル画面が表示されます。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

◆ビデオオンデマンドのタイトルを探す

2. 画面の項目からビデオオンデマンドに関する項目を選び、決定を押す

3. 再生したいタイトルを選び、決定を押す
   - 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

次ページへつづく⇒

IPTV（ひかりTV）を見る



IPTV（ひかりTV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

再生中の操作のしかた（VOD操作）

- 再生中はリモコンの（前/早戻し／再生／早送り/次／10秒戻し／一時停止/静止／停止／30秒送り）で操作することができます。番組によっては、操作できない機能があります。

お知らせ

前/早戻し 早送り/次について

前/早戻し	いま見ているチャプターの先頭に戻ります。 長押しで早戻しになります。
早送り/次	次のチャプターを頭出しします。 長押しで早送りになります。

携帯端末を使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ



- 携帯端末やパソコンを使って、ホームネットワーク経由で映像・写真・音楽を本機で再生させることができます。(リモート再生機能)
- 対応機器についてはAQUOSサポートページ「機能別情報→AQUOSファミリンクについて」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
(スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。)

- 携帯端末を使う場合は、無線LANルーターが必要です。

リモート再生機能を有効にする

- 本機がリモート再生を許可する設定です。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選び、決定を押す
3. 「ホームネットワーク設定」を選び、決定を押す
4. 「リモート再生設定」を選び、「許可する」に設定する

次ページへつづく⇒

携帯端末を使ってホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ



リモート再生機能を有効にする

再生終了後に自動でテレビ画面に戻したいときは

- ホームネットワーク経由の映像再生が終了してから、テレビ画面に戻るまでのタイムアウト時間を設定します。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選び、決定を押す
3. 「ホームネットワーク設定」を選び、決定を押す
4. 「タイムアウト設定」を選び、設定したいタイムアウト時間を選択する
   - 自動でテレビ放送画面に戻したくないときは、「しない」を選びます。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- HDMIケーブルは必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  −4K2K出力に対応した機器をつなぐとき
  −1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「プレミアムHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1に接続してください。また、ホームメニューの「設定」ー「（機能切換）」ー「外部端子設定」ー「対応信号モード切換」をフルモード(HDR)に設定してください。
  （⇒2−56ページ）
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

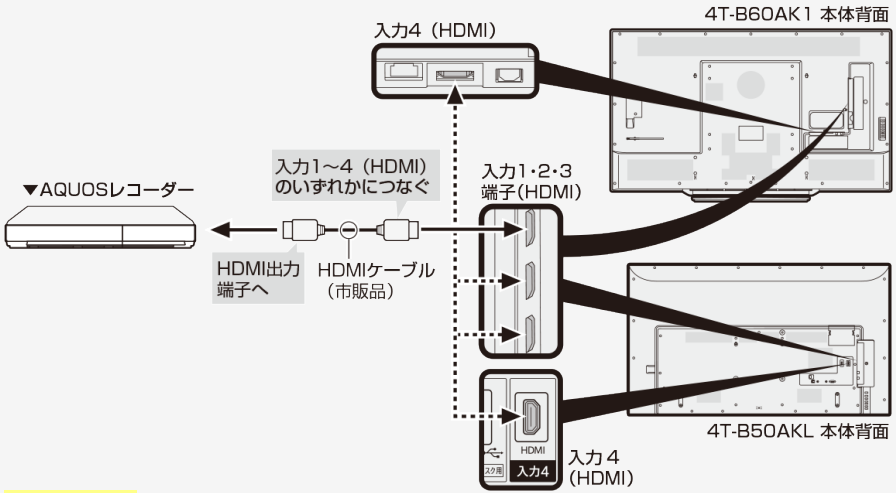
◆重要◆

- HDMIケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力1～4に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSレコーダーのみをつなぐとき



お知らせ

BDレコーダーなど他の機器を接続したとき、テレビの放送が映らなくなった場合は、次のことを確認してください。

- アンテナ線はBDレコーダーとテレビの両方に接続していますか。
- 地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子を間違えていませんか。
- BDレコーダーを経由してテレビにアンテナ線を接続しているときは、BDレコーダーのアンテナ入力とアンテナ出力を間違えて接続していませんか。
- BDレコーダーの電源を切るとテレビでBS・110度CSデジタル放送が映らなくなるときは、テレビのアンテナ電源を「入」にしてください。（⇒7-1～7-4ページ）

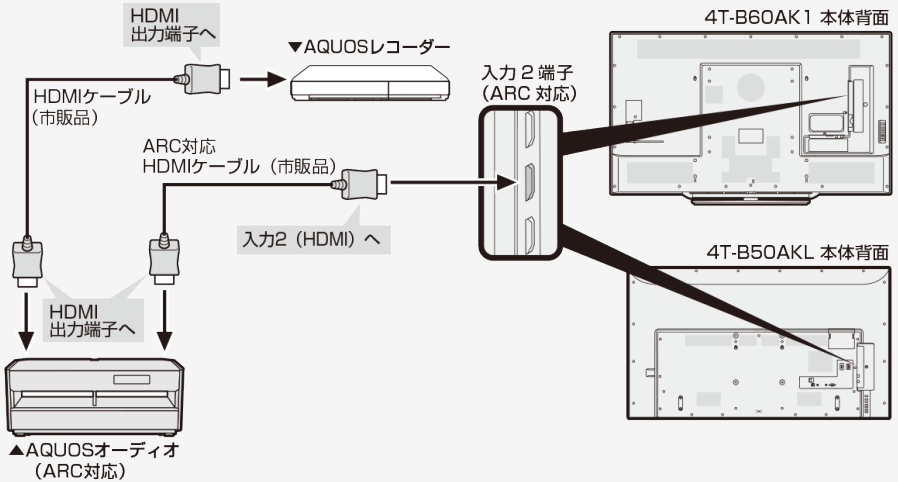
ファミリンクや他機器

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSオーディオ（ARC対応）を同時につなぐとき

本機の入力2（HDMI）端子につないでください。

- 本機の入力2（HDMI）端子はARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力2（HDMI）端子にARC対応のAQUOSオーディオをつなぐと、本機からAQUOSオーディオへの音声出力もHDMIケーブル1本で可能です。
- ARCに対応したHDMIケーブルをお使いください。ARCに対応していないHDMIケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。



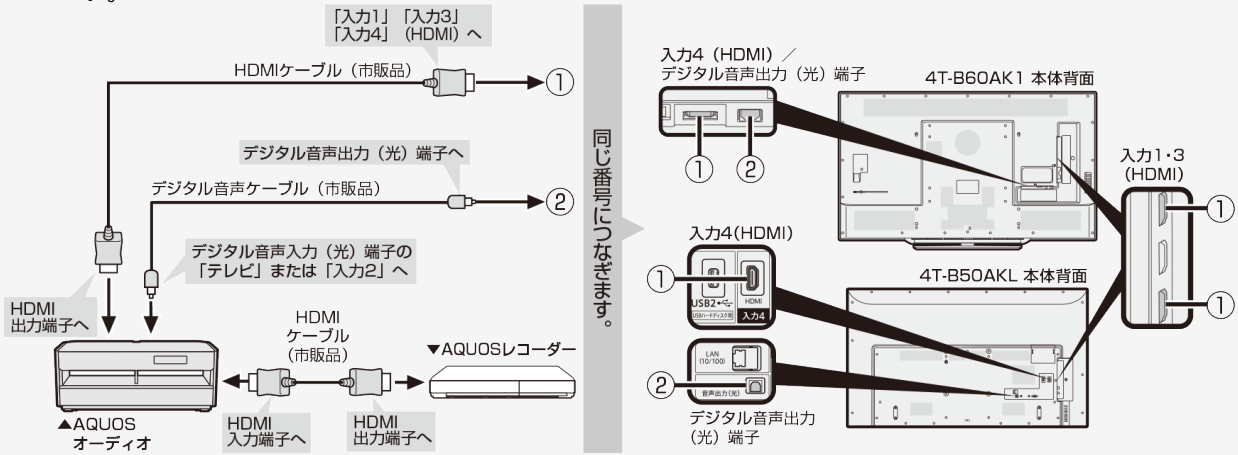
お知らせ

- 音声が正しく出力できない場合は、ホームメニューから「設定」ー「 (機能切換)」ー「外部端子設定」ー「デジタル音声設定」を選び、設定を切り換えてみてください。

ファミリンク対応機器をつなぐ

AQUOSオーディオ（ARC非対応）を同時につなぐとき

- 本機からAQUOSオーディオに音声信号を出力するために、本機とAQUOSオーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。

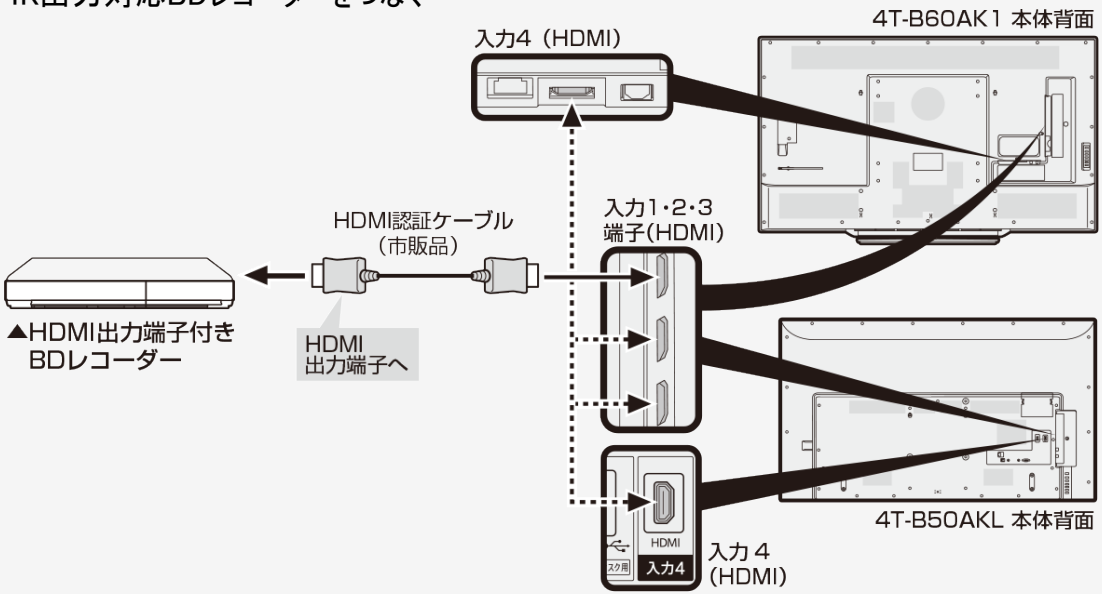


お知らせ

- 音声が正しく出力できない場合は、ホームメニューから「設定」ー「 (機能切換)」ー「外部端子設定」ー「デジタル音声設定」を選び、設定を切り換えてみてください。

4K出力対応機器をつなぐ

4K出力対応BDレコーダーをつなぐ

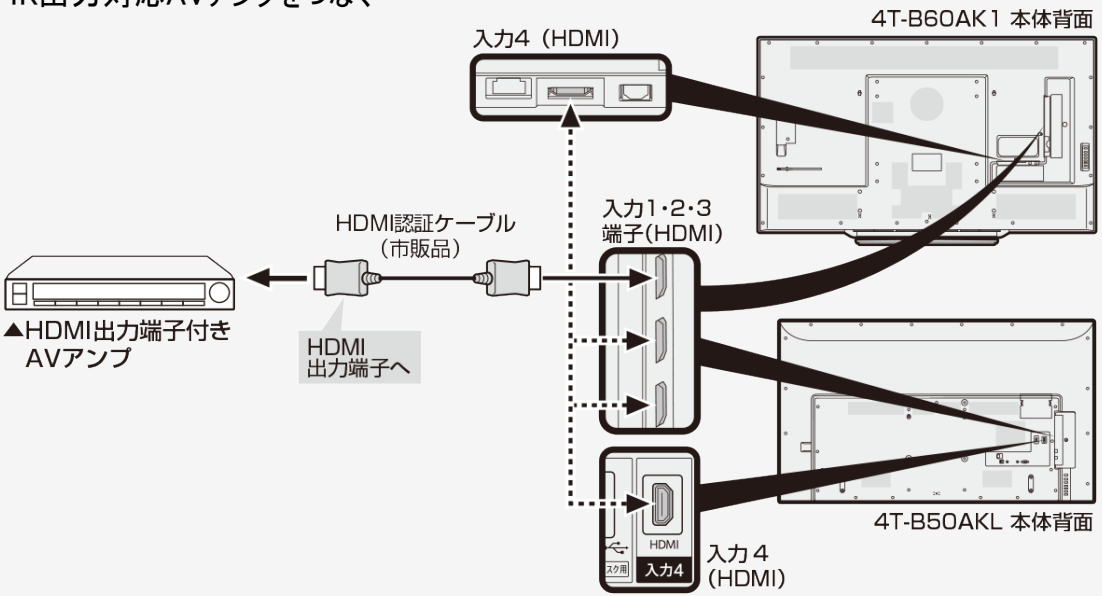


お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

4K出力対応機器をつなぐ

4K出力対応AVアンプをつなぐ



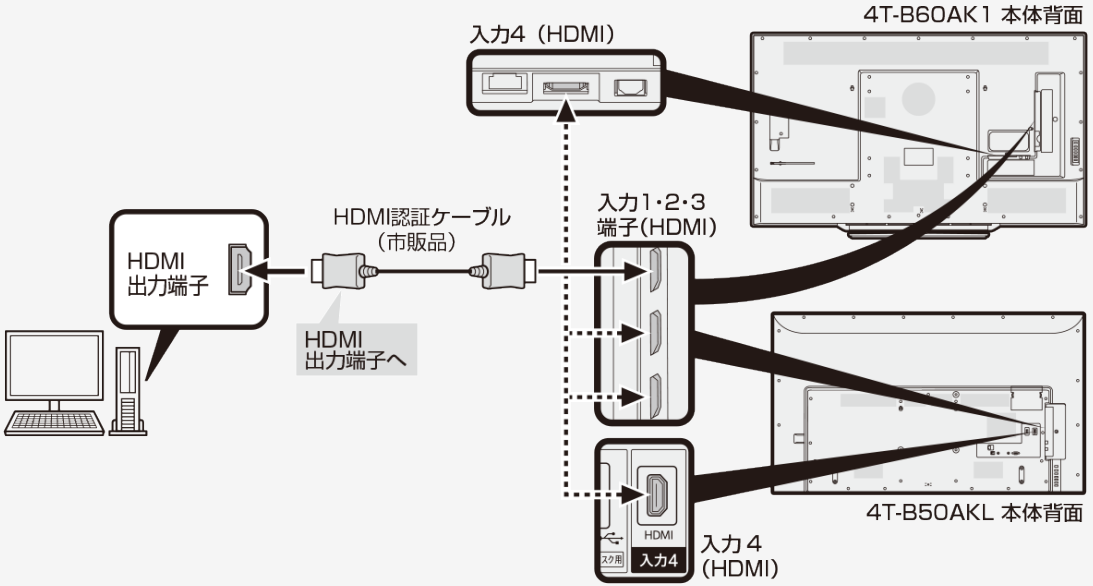
お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

4K出力対応機器をつなぐ

4K出力対応パソコンをつなぐ

- 4K出力（解像度3840×2160出力）に対応しているパソコンをご使用ください。

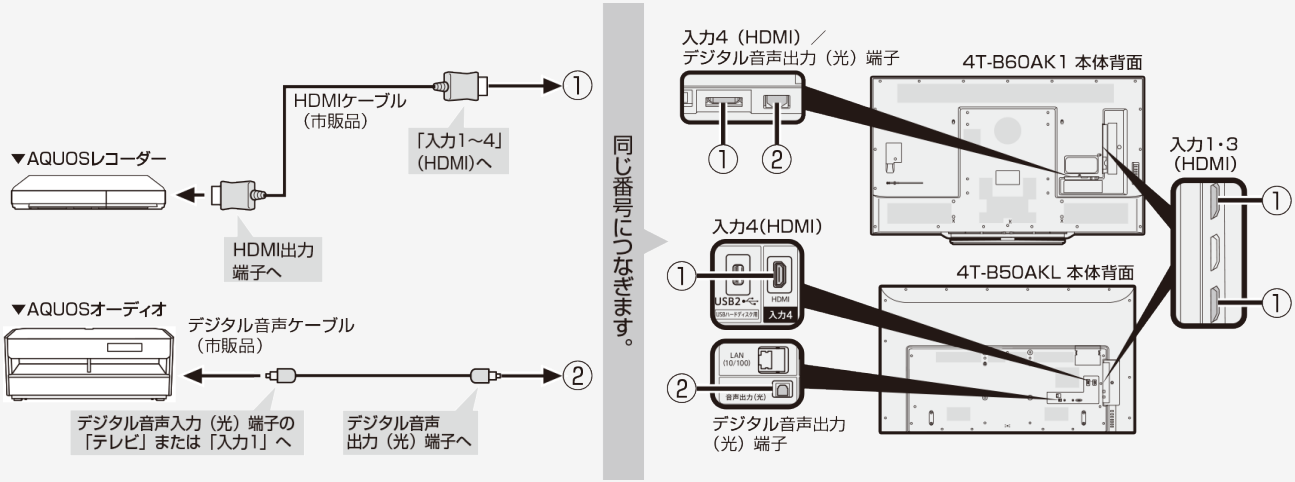


お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

4K出力対応機器をつなぐ

4K信号非対応のAQUOSオーディオをつなぐ



お知らせ

- 市販のHDMI認証ケーブル（ハイスピードタイプ）が必要です。

HDR映像を見る



- 本機は“Ultra HD ブルーレイ”がサポートするHDR(ハイダイナミックレンジ)に対応しています。
  HDR映像には従来より多くの輝度情報が収録されており、明暗差の大きな映像などで従来は表現できなかった明部・暗部の階調表現が可能となり、高コントラストでリアリティ溢れる映像を再現します。
- 本機でHDR映像を視聴する場合は、入力1にHDR対応機器を接続し、「対応信号モード切換」を「フルモード(HDR)」に設定してください。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで「入力1」を選び、 決定 を押す
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」ー「外部端子設定」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「対応信号モード切換」を選び、 決定 を押す
5. 上下カーソルボタンで「フルモード(HDR)」を選び、 決定 を押す

お知らせ

- 「フルモード(HDR)」設定時、「明るさセンサー(OPC)」(⇒ 2-20ページ)と「明るさ」(⇒2-21ページ)は、HDR映像コンテンツとSDR映像コンテンツで別々に調整が可能です。

HDR映像を見る



HDR映像を輝度重視または階調表現重視に調整する

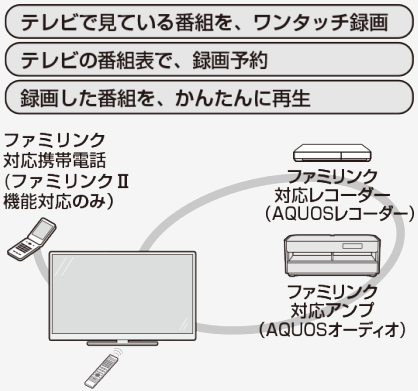
1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(映像調整)」ー「プロ設定」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで「HDRガンマ設定」を選び、決定を押す
4. 左右カーソルボタンで調整する
   - 値を大きくすると輝度を重視し、値を小さくすると階調表現を重視します。

お知らせ

- HDR信号入力時以外は選択できません。

ファミリンクで使う

ファミリンクとは



- HDMI端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMIケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。
本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOSレコーダー）やAVアンプ（AQUOSオーディオ）をHDMI認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、右記の連動操作が楽しめます。

お知らせ

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP Webページ内のAQUOSサポートページ「機能別情報→AQUOSファミリンクについて」をご覧ください。

AQUOS サポートページ
シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/
（スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOSレコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOSレコーダーと接続したときi.LINK録画（2番組同時録画）は働きません。

ファミリンクや他機器

ファミリンクで使う

ファミリンク機能を使う前に

1. ファミリンク対応機器とつなぐ
   ⇒6-1～6-4ページ
   - 市販品のHDMI認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。
2. 設定をする
   - ファミリンク機能を使うための設定（⇒ 6-13～6-19ページ）が必要です。
   - AQUOSレコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。
3. ファミリンクで楽しむ
   - ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。
     ⇒6-22～6-23ページ
   - 録画・録画予約してみましょう。
     ⇒6-24～6-32ページ
   - 再生してみましょう。
     ⇒6-33～6-36ページ
   - AQUOSオーディオを使ってみましょう。
     ⇒6-37～6-38ページ

ファミリンクで使う



ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 「ファミリンク設定」を選び、 決定 を押す
3. 「連動起動設定」を選び、「する」に設定する



次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



ファミリンク機能を使うための設定

録画先として使う機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。
- ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「録画機器選択」を選び、決定を押す
3. 上下カーソルボタンで録画する機器を選び、決定を押す



- USB-HDDは、USBハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームを押します。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う

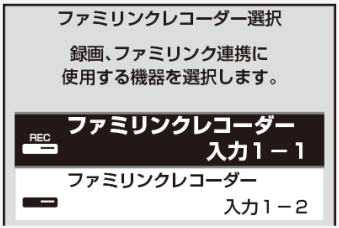


ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

- AQUOSレコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 「ファミリンク設定」を選び、 決定 を押す
3. 「ファミリンクレコーダー選択」を選び、 決定 を押す
4. ファミリンク録画予約で録画する機器を選び、 決定 を押す

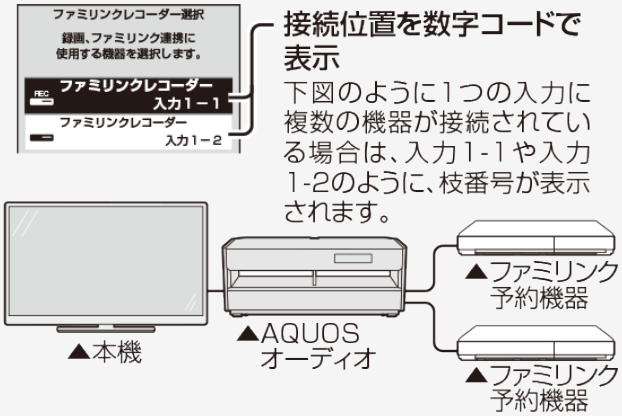


次ページへつづく⇒

ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

AQUOSオーディオを接続しているときの設定画面について



次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



ファミリンク機能を使うための設定

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下のAQUOSレコーダーの操作が行えます。

- 選局ボタンとチャンネル(数字)ボタンの 1 ～ 12 で選局の操作ができます。ただし、11 12 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表(予約) で番組表を表示できます。
- データ d で連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、データ d は、接続している機器によっては操作できない場合があります。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



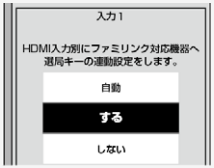
ファミリンク機能を使うための設定

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする
この設定は、入力端子ごとに設定します。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 「ファミリンク設定」を選び、 決定 を押す
3. 「選局キー」を選び、 決定 を押す



4. 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選び、 決定 を押す
5. 「する」を選び、 決定 を押す



- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う

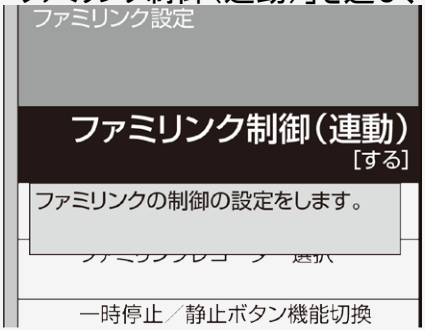


ファミリンク機能を使うための設定

一般のHDMI機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 「ファミリンク設定」を選び、 決定 を押す
3. 「ファミリンク制御（連動）」を選び、「しない」に設定する



ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーのホームメニューを表示する

- AQUOSレコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容はAQUOSレコーダーによって異なります。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す

2. 「ホームメニュー表示」を選び、 決定 を押す
   - AQUOSレコーダーのホームメニューが表示されます。
   - AQUOSレコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- ホームメニューを表示できるAQUOSレコーダーの対応機種については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートページ「機能別情報→AQUOSファミリンクについて」をご覧ください。

	AQUOS サポートページ シャープ　お問い合わせ　テレビ　検索 http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

ファミリンクで使う



本機からAQUOSレコーダーの電源を入／切するには

- 本機とつないだAQUOSレコーダーの電源を、本機から入／切できます。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す

2. 「レコーダー電源入／切」を選び、 決定 を押す
   - この操作をするたびに、本機とつないでいるAQUOSレコーダーの電源を入／切できます。

ファミリンクで使う



ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクⅡ機能に対応したAQUOSオーディオ・BDプレーヤー・BDレコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器(ファミリンクⅠ対応機器)では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1. ファミリンク を押し、操作したい機器を選び、決定 を押す
   - ホームメニュー項目の「リンク操作」から操作したい機器を選んでも操作できます。

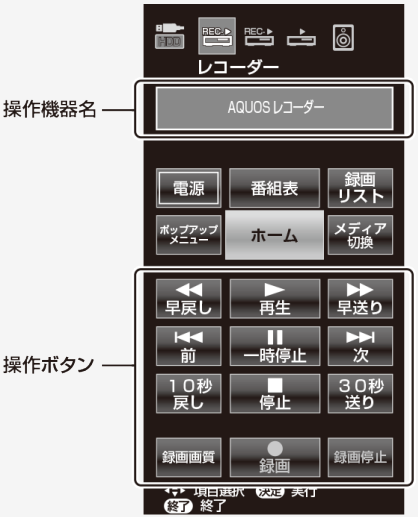
次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



ファミリンクパネルの操作のしかた

2. 操作したい機能のボタンを選ぶ



お知らせ

- プレーヤーやAQUOSオーディオと接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆重要◆

ファミリンクで録画を行う前にAQUOSレコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- 本機とAQUOSレコーダーをつないでいますか。
- B-CASカードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア（HDD、BD、DVDなど）に空き容量がありますか。
- 「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒6-14ページ）
- 初期設定では入力1に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

- 必要に応じてAQUOSレコーダー側のHDDモード／BDモード／DVDモードを切り換えます。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「機器のメディア切換」を選び、 決定 を押す
   - AQUOSレコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
   - 「機器のメディア切換」で 決定 を押すごとに、AQUOSレコーダーのメディアの種類が順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

1. 録画したい番組の視聴中に 録画 ● を押す
   - 「ファミリンクレコーダー選択」（⇒ 6-15ページ）で選択したAQUOSレコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOSレコーダーに録画を開始します。
   - 「録画機器選択」を「ファミリンクレコーダー」にしていない場合、「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は、「録画機器選択」を変更してください。
   - 「録画機器選択」が「録画／予約時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますので、レコーダーに録画する際は「ファミリンク録画」を選択してください。

録画の停止について

- お使いのAQUOSレコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。
- 録画開始時に、録画終了時刻が表示されなかった場合は、手動で録画の停止が必要です。
- USB-HDDの録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は、「ファミリンク録画停止」を選択してください。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



見ている番組をすぐに録画する(ワンタッチ録画)

見ている番組をAQUOSレコーダーに録画する

録画を途中で停止したいとき(録画を手動で停止したいとき)

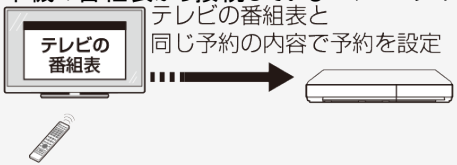
- ファミリンク を押して「操作メニュー」から「録画停止」を選んでください。
- ファミリンクパネルが表示された場合は、「録画停止」を選び、決定を押して、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 「録画機器選択」(⇒6-14ページ)で選択したAQUOSレコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴しているAQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(⇒6-14ページ)で選択したAQUOSレコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

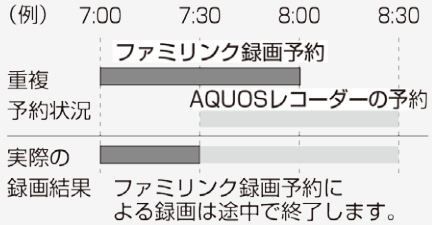
- 本機の番組表から接続しているAQUOSレコーダーに録画予約できます。



◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。（待機状態）
「電源ボタン設定」（⇒2-15ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切ると、録画されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOSレコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。



本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

◆重要◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いのAQUOS レコーダーによって異なります。

お知らせ

- 予約の確認・取り消し・変更については
  ⇒4-44～4-46ページをご覧ください。

ファミリンクで使う



本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

1. AQUOSレコーダー側の準備をする
   - 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
   - HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
   - 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードが、AQUOSレコーダーに挿入されていることを確認してください。
2. 番組表(予約)を押して本機の番組表を表示し、予約したい番組を選び、決定を押す
   - ジャンルや日時などを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒1-5ページ)
   - 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。
   - 「録画機器選択」の設定によって操作方法が変わります。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



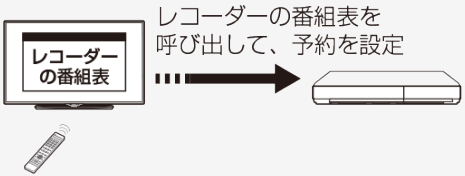
本機の番組表でAQUOSレコーダーに録画予約する

- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にファミリンクレコーダー選択（⇒6-15ページ）を行ってください。
- AQUOSレコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、AQUOSレコーダーの予約が優先されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOSレコーダーの予約を取り消してください。
- 電源ボタン設定を「モード2」に設定している場合は、本機の番組表を使って予約したファミリンク録画実行中に、テレビの電源を切らないでください。テレビの電源を切ると正常に録画されません。
- 操作を終了する場合は、番組表(予約)を押します。

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーの番組表を呼び出して録画予約する



1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで「操作メニュー」を選び、 決定 を押す
2. 上下カーソルボタンで「リンク予約（録画予約）」を選び、 決定 を押す
   - レコーダー側の番組表が表示されます。
3. 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする
   - レコーダー側の番組表は本機のリモコンの



で操作します。
（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

視聴するHDMI対応のレコーダーを選ぶ

- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選びます。

1. ファミリンク を押し、上下カーソルボタンで視聴したい機器を選び 決定 を押す

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ、レコーダーの「連動起動」を「する」に設定する必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

1. 録画リストを押し、上下カーソルボタンで表示したいレコーダーを選んで決定を押す
   - USBハードディスクおよびファミリンク機器が合わせて1台しか接続されていない場合、録画リストを押すと直接機器の録画リストが表示されます。
2. 再生したい番組(タイトル)を選び再生する
   - 録画リストは本機のリモコンの

で選択などの操作ができます。
   - 選んだ番組が再生されます。
   - 停止したいときは停止を押します。
   - 停止したときは、切り換わった入力のままです。

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

AQUOSレコーダーの録画リストから再生する

お知らせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ファミリンクを押し、上下カーソルボタンと決定で「操作メニュー」ー「機器のメディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。
- PinPのときは、以下のボタンでレコーダーのホームメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。



次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



AQUOSレコーダーを再生する

最後に録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

1. 入力切換 を押し、上下カーソルボタンで再生したいAQUOSレコーダーを選び、決定を押す
2. 再生 を押す

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。⇒ 6-22ページ
- リモコンの 前/早戻し 再生 早送り/次 停止 一時停止/静止 でも操作が行えます。

お知らせ

- リモコンの 10秒戻し 30秒送り は、機器によっては動作しない場合があります。

ファミリンクで使う



AQUOSオーディオで聞く

- AQUOSオーディオで音声が楽しめます。(本機のスピーカーからは音が出ません。)
- 本機のリモコンでAQUOSオーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

1. ファミリンクを押し、上下カーソルボタンで「音声出力機器切換」を選び 決定を押す
2. 上下カーソルボタンで「AQUOSオーディオで聞く」を選び、 決定を押す
   - 本機の音声が停止し、AQUOSオーディオから音声が出力されます。
   - 本機のスピーカーから音を出すときは、手順2で「AQUOSで聞く」を選びます。
   - 本機の設定メニューの「(音声調整)」の設定はできません。

オーディオリターンチャンネル(ARC)対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC(オーディオリターンチャンネル)」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。この機能は、入力2端子に接続したときのみ使えます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、 決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「ファミリンク設定」ー「ARC設定」を選び、決定を押す
3. 「自動」を選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

ファミリンクで使う



AQUOSオーディオで聞く

番組内容に適した音に切り換える

- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオが適切なサウンドモードに切り換わるように設定できます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「ファミリンク設定」ー「ジャンル連動」を選び、決定を押す
3. 「する」を選び、決定を押す

お知らせ

- DVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側で適切なサウンドモードに切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

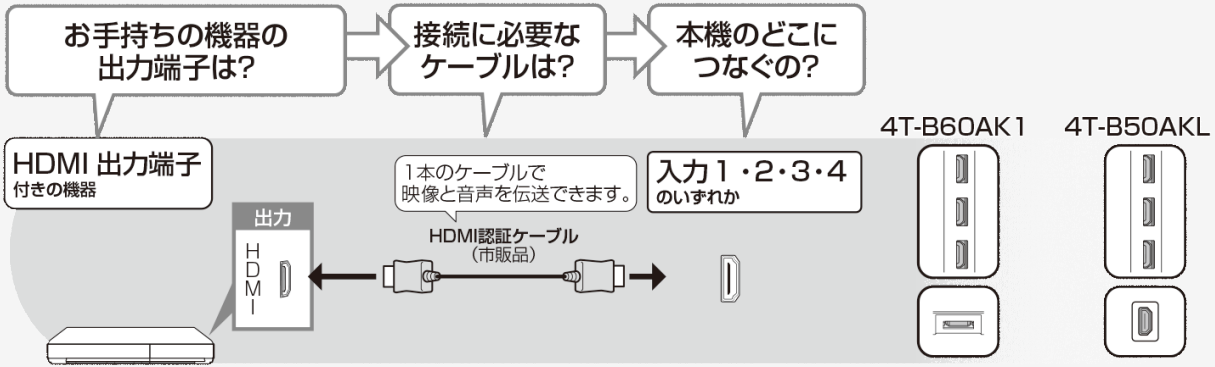
レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

HDMI端子で接続するには

- お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

お知らせ

- 映像の種類と画質について⇒ 6-43・9-1～9-2ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- 接続については、⇒ 6-42ページをご覧ください。
- ファミリンク対応レコーダーと接続したときは、本機のリモコンでレコーダーを操作できます。
  ⇒6-1ページ



レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

映像端子で接続するには



お知らせ

- AV端子変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子(黄と黄、白と白、赤と赤)につなぎます。
- レコーダーやプレーヤーで市販のBDを視聴するときは、HDMIケーブルで接続してください。著作権保護技術を採用したレコーダーやプレーヤーからブルーレイディスクの映像や音声が出力されない機器があります。

よりきれいな映像を楽しむためには

接続するときに気をつけること

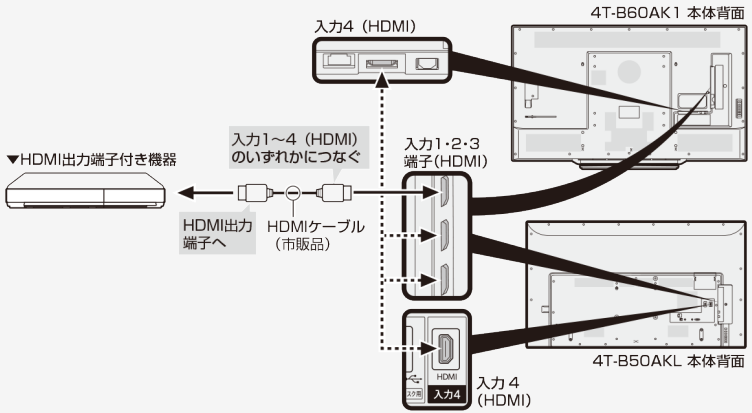
- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。
- レコーダーやプレーヤー側の接続端子について詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を合わせてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI出力端子が付いた機器の場合

- HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のHDMI認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 必ず市販のHDMI規格認証品（ハイスピードタイプ）をご使用ください。
  規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。
- 下記の場合は、ハイスピードタイプのHDMIケーブルをお使いください。
  —4K2K出力に対応した機器をつなぐとき
  —1080pの映像信号を入力するとき
- 4K60p映像やUltra HD ブルーレイのHDR映像を再生する場合は、18Gbps対応の「ハイスピードHDMIケーブル」認証を受けたケーブルを使用し、本機の入力1に接続してください。また、ホームメニューの「設定」—「(機能切換)」—「外部端子設定」—「対応信号モード切換」をフルモード(HDR)に設定してください。
  (⇒2-56ページ)



次ページへつづく⇒

HDMI出力端子が付いた機器の場合

対応している映像信号

- 3840×2160(24Hz/30Hz/60Hz※)、1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+

※入力1のみ4K60p(4:2:2、4:4:4)の信号に対応しています。

対応している音声信号

- 種類:リニアPCM(2ch)、AAC※、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス
  サンプリング周波数:48kHz／44.1kHz／32kHz

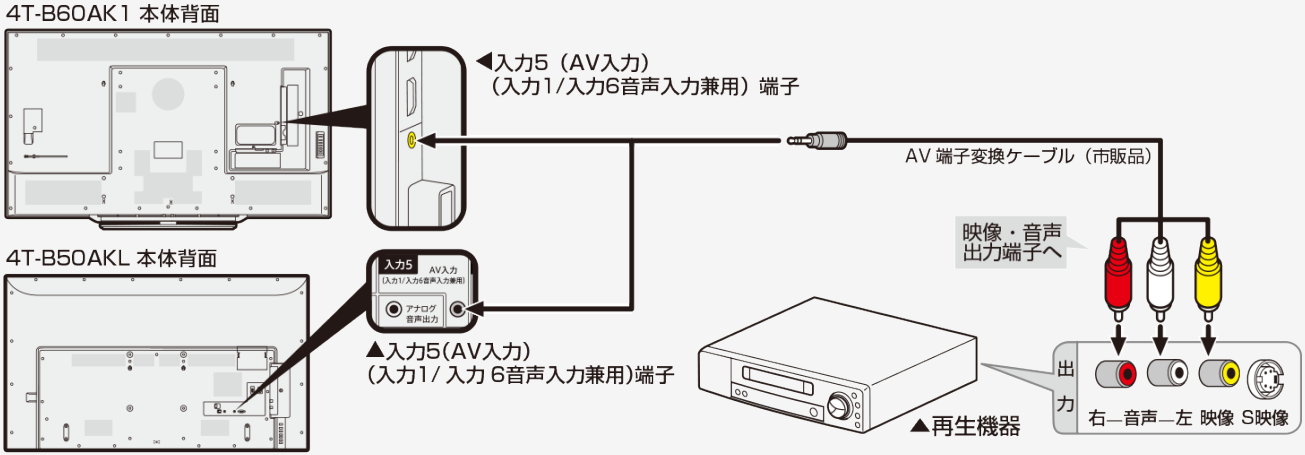
※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

お知らせ

- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御(連動)」を「しない」に設定してください。
  (⇒6-19ページ)

映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

- 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。
- AV端子変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 映像・音声ケーブルは先端部と 同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。



レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面からHDMI入力の画面に切り換えると、BDやDVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

1. BDレコーダーなどを本機に接続し、電源ボタンを押して電源を入れる
2. 再生したいディスクなどをセットする
3. 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する
   - 表示中に⇒6-46ページの操作を行います。

次ページへつづく⇒

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

下線部の手順はBDレコーダーなどの外部機器の操作です。

4. 入力切換 を繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ
   - 上下カーソルボタンでも選択できます。

   （例）本機の入力1に接続した機器の映像を見るときは、「入力1」を選ぶ



   選べる入力について
   - 入力5は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

5. BDレコーダーなどを再生する
   - 再生映像が表示されます。
   - 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続したBDレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

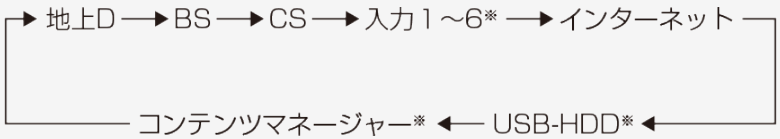
次ページへつづく⇒

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

お知らせ

本体の入力／放送ボタンでも入力を切り換えられます。

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）



※入力5、USB-HDD、コンテンツマネージャーは機器を接続していないときは、切り換えられません。

- 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

次ページへつづく⇒

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力1～6に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

1. 入力切換 を押して、上下カーソルボタンで表示を変更したい入力（入力1～6）を選び、決定を押す
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 （機能切換）」ー「外部端子設定」を選ぶ
4. 上下カーソルボタンで「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ
   - お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒2-70ページ）

次ページへつづく⇒

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

使用していない入力をスキップするには

- 入力1～4、コンテンツマネージャー、入力6、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「外部端子設定」を選ぶ
3. 上下カーソルボタンで「入力スキップ」を選び、決定を押す
4. 上下カーソルボタンでスキップしたい入力を選び、「する」に設定する
   - 入力スキップを解除する場合は、「しない」を選んでください。

次ページへつづく⇒

BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

ゲーム機をつないで使うときは

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジションの「ゲーム」(⇒2-20ページ)にすることをおすすめします。
- ゲームのキーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AVポジションを「ゲーム」に変更してください。

お知らせ

- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ



BDレコーダーやゲーム機などの画面に切り換える

ゲーム機をつないで使うときは

ゲームのプレイ時間を30分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームを押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンと決定で「設定」ー「（安心・省エネ）」ー「ゲーム時間表示設定」を選んで設定します。
（入力1～6を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	• 外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから30分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	• 何も表示しません。

◆重要◆

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力のAVポジション（⇒2-20ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

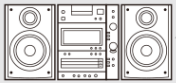
ファミリンクや他機器

オーディオ機器をつなぐ

- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。

お手持ちの機器の端子は? → 接続に必要なケーブルは? → 本機のどこにつなぐの?

アナログ音声端子付きのオーディオ機器





音声ケーブル(市販品)



アナログ音声出力

4T-B60AK1



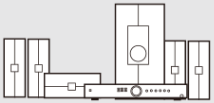
4T-B50AKL



音声ケーブルは先端部と同じ色の端子(白と白、赤と赤)につなぎます。

φ3.5、ステレオミニジャック

デジタル(光)音声端子付きのオーディオ機器





デジタル音声ケーブル(市販品)



角形プラグ

デジタル音声出力(光)

4T-B60AK1



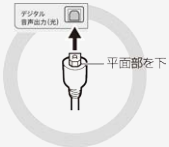
4T-B50AKL



接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

オーディオ機器をつなぐ

- デジタル音声出力（光）端子に接続するときは、方向をよく確かめてまっすぐ差し込んでください。
- 無理な力を加えると、端子が破損するおそれがあります。

	○	×	×	×
4T-B60AK1	 下方向から まっすぐ差し込む。	 反対方向で 差し込まない。	 差し込みながら ねじらない。	 斜めに差し込まない。
4T-B50AKL	 背面から まっすぐ差し込む。	 反対方向で 差し込まない。	 差し込みながら ねじらない。	 斜めに差し込まない。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

ホームネットワーク時に表示される本機の機器名を変更する



- ホームネットワーク時に表示される本機の機器名を変更できます。

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」ー「テレビ名設定」を選び、決定を押す
3. 機器名欄を選び決定を押す
   ・ソフトウェアキーボードが表示されます。
4. 機器名を入力する
5. 「完了」を選び決定を押す

お知らせ

- 機器名に全角文字やスペースを使用した場合、スマートフォンの機種によっては全角文字やスペース以降の文字が表示されない場合があります。この場合は、全角文字やスペース以外の文字(″_″ 等)を使用してください。
- 機器名に特殊文字を使用した場合、スマートフォンの機種によっては特殊文字が表示されない場合があります。

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン(PC)の出力解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。
- 接続方法は、⇒6-59～6-61ページを確認してください。

本機が対応している解像度

解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○

	解像度(画素)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	WXGA	1280 × 800	49.7	60	○
		1366 × 768	47.7	60	○
	SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
	SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
	480p	720 × 480	31.5	60	
※	1080i	1920 × 1080	33.8	60	
	720p	1280 × 720	45.0	60	
	1080p	1920 × 1080	67.5	60	
※	4K	3840 × 2160	53.95	24	
			67.5	30	
			135.0	60	

※HDMI入力時のみ

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

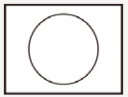
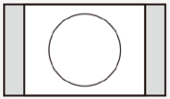
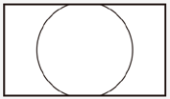
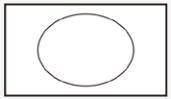
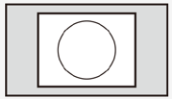
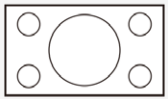
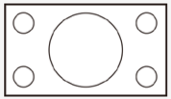
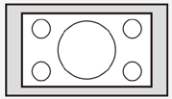
お知らせ

- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒6-57ページをご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

次ページへつづく⇒

パソコンのモニターとして使う

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号		ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも縦長の映像  640×480、800×600、1024×768、1280×1024など	⇒	 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	 画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。
16:9映像 	⇒	—	—	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度どおりに映します。

次ページへつづく⇒

パソコンとつないで使う



パソコンのモニターとして使う

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

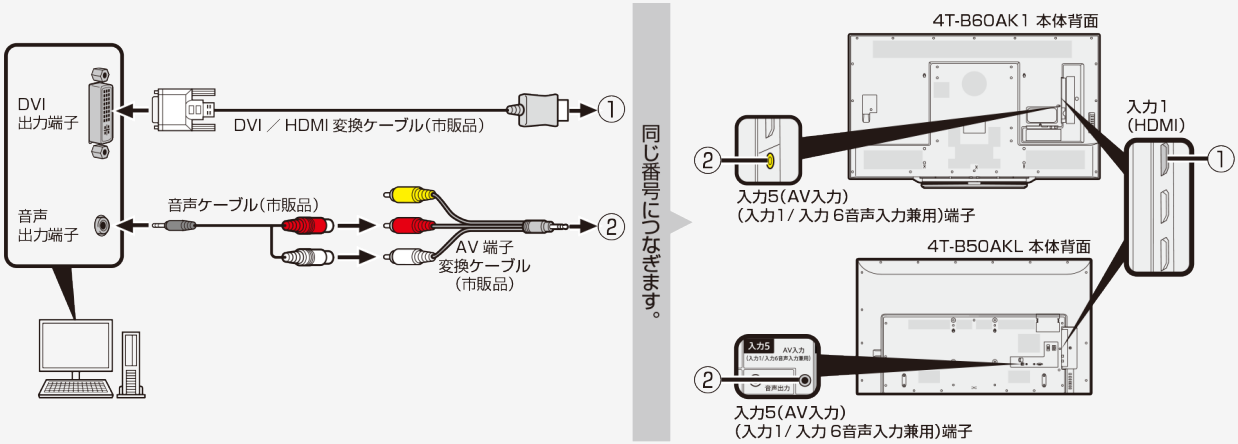
1. パソコン(PC)の電源を入れる
2. 入力切換 を押して、入力切換メニューを表示し、上下カーソルボタンでパソコンを接続した入力を選び、決定を押す
   - パソコンの画面が表示されます。
3. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
4. 上下左右カーソルボタンで「(機能切換)」ー「視聴操作」を選び、決定を押す
5. 「画面サイズ」を選んで 決定を押す
6. 画面サイズ切換メニューから、お好みの画面サイズを選ぶ
   - 画面の調整が必要なときは、下記をご覧ください。

入力1～4に接続したパソコンの画面を調整する

- ホーム を押してホームメニューを表示し、上下左右カーソルボタンと決定で「設定」ー「(機能切換)」ー「画面表示設定」ー「画面位置」で設定します。
(⇒2-57ページ)

パソコンとつないで使う

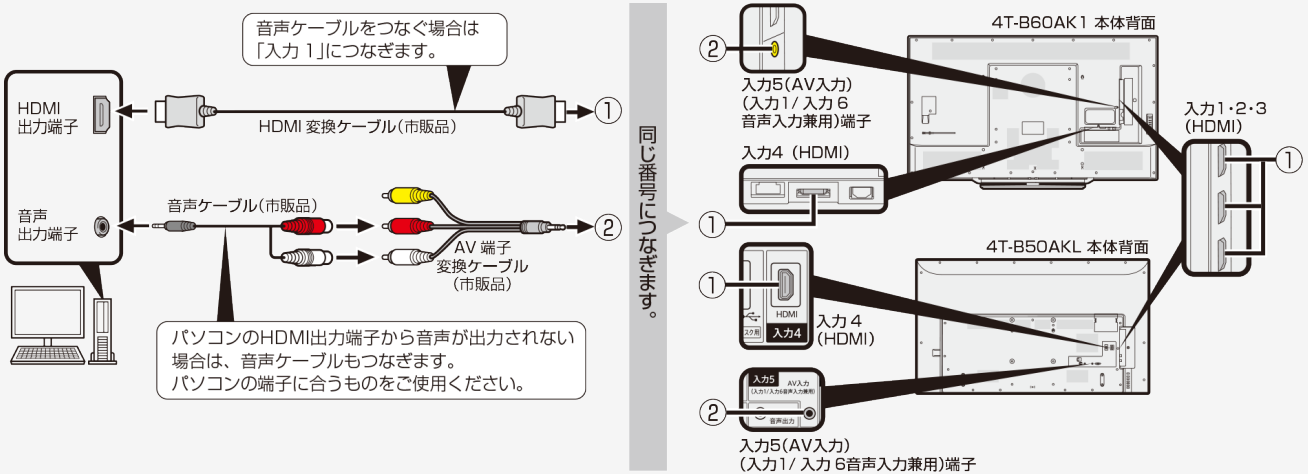
本機をDVI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）



- AV端子変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機のHDMI端子とパソコンのDVI端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによってはHDMI規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。
- 入力1に切り換えたあと、ホームメニューから「設定」ー「 (機能切換)」ー「外部端子設定」ー「入力1音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

パソコンとつないで使う

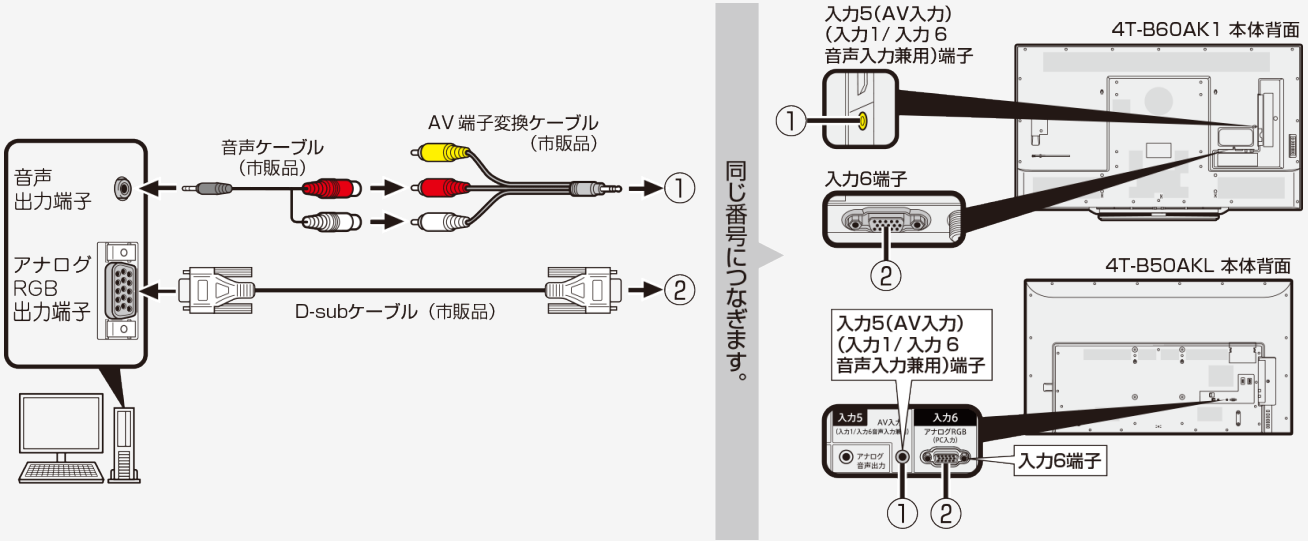
本機をHDMI出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）



- AV端子変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル（市販品）を使用してください。
- 市販のHDMI認証ケーブルが必要です。
- 入力1に切り換えたあと、ホームメニューから「設定」ー「 (機能切換)」ー「外部端子設定」ー「入力1音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

パソコンとつないで使う

本機をアナログRGB出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）



- AV端子変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- 市販のD-subケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 入力6に切り換えたあと、ホームメニューから「設定」ー「 (機能切換)」ー「外部端子設定」ー「入力6音声選択」を選び、「アナログ音声入力」に設定してください。

放送の設定と種類

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。
  初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」)を行ってください。
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

1. BS を押してBSデジタル放送を選ぶ
   - 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
   - 「チャイルドロック」（⇒ 2-41ページ）をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 （視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選び、決定 を押す
4. 「アンテナ設定」を選び、決定 を押す
5. 「電源・受信強度表示」を選び、決定 を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

◆アンテナに電源を供給するための設定

6. 上下左右カーソルボタンで「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

◆受信強度の調整

7. 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する
   - 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

8. 調整が終わったら 決定 を押す
   - 操作を終了する場合は、 ホーム を押します。

お知らせ

- 7-3ページの手順7で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、⇒ 8-21ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 7-3ページの手順6または手順7の画面で、「受信状態一覧へ」を選び 決定 を押すと受信状態一覧画面が表示されます。（⇒8-3ページ）
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信C/N※の換算値です。）

  ※受信C/Nとは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。
（例）BSデジタル放送の信号テストをする

1. 7-2ページの手順1～4を行い、「信号テストーBS」を選び、決定を押す
2. カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定を押す
   - 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
   - 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒8-21ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。
3. カーソルボタンで「終了」を選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送用アンテナの設定をする

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

お知らせ

地上デジタル放送・110度CSデジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- ⇒7-5ページの手順1で「信号テスト－地上D」または「信号テスト－CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- ⇒7-5ページの手順1で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。（例：BS15のアンテナ受信周波数11996を入力すると15chの受信強度が表示されます。）

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

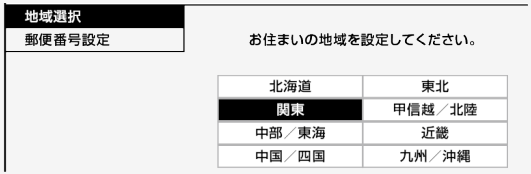


お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

- 地上デジタル放送の地域情報(緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報)をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
3. 「地域設定」を選び、決定を押す
4. 「地域選択」を選び、決定を押す
5. お住まいの地域を選び、決定を押す



- 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。(⇒7-9ページ)

次ページへつづく⇒

放送の設定と種類

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために(地域選択／郵便番号設定)

郵便番号設定

1. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「(視聴準備)」ー「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
3. 「地域設定」を選び、決定を押す
4. 「郵便番号設定」を選び、決定を押す
5. チャンネル(数字)ボタンで郵便番号を入力し、決定を押す



- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、チャンネル(数字)ボタンで数字を選び直します。

放送の設定と種類

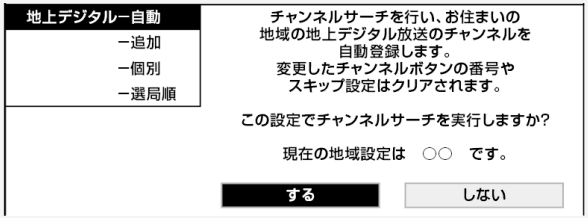
デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（⇒7-7～7-8ページ）をしてください。

1. 地上デジタル放送を選局する
2. ホームを押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選び、決定を押す
4. 「チャンネル設定」ー「地上デジタル」を選び、決定を押す
5. 「地上デジタルー自動」を選び、「する」に設定する



次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

◆ 重要◆

「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタルー自動」の代わりに「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。

  追加が終わったら、「終了」で 決定 を押します。

お知らせ

地上デジタル放送のCATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATVによる地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。
- CATVパススルー方式とは、CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンのチャンネル(数字)ボタンを押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。(地上デジタル放送のみ)
スキップ	• 選局(∧順／∨逆)ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1. 地上 BS CS のいずれかを押し、デジタル放送を選ぶ
   - 「チャイルドロック」(⇒ 2-41ページ)をかけているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「 (視聴準備)」ー「テレビ放送設定」を選び、決定 を押す
4. 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す
5. 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定 を押す
   - 「BSデジタル」または「CSデジタル」を選んだ場合は、手順7に進みます。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

6. 「地上デジタル一個別」を選び、決定を押す

7. ①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、決定を押す
   ②左右カーソルボタンで「数字ボタン」を選び、決定を押す
   - 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
   - チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、⇒7-14ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

8. チャンネル(数字)ボタンで入力欄に数字を入力して、決定する
   - チャンネル(数字)ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。(枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか?」と表示されます。)

   チャンネル(数字)ボタンを置き換える場合
   - 手順9に進みます。

   置き換えずに別の数字にする場合
   - 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

9. 「確認」を選び、決定を押す
   - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

お知らせ

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1～12のチャンネル(数字)ボタンの番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

次ページへつづく⇒

放送の設定と種類

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

- 通常の選局時と番組表を使った選局時の、チャンネルのスキップ設定を次のように変更できます。

両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

1. 地上 BS CS のいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ
2. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、決定 を押す
3. 上下左右カーソルボタンで「（視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選び、決定 を押す
4. 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定 を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

5. 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定を押す

6. 手順5で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定を押す
   - 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順7に進みます。

   手順5で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定を押す
   - 手順8に進みます。

7. カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定を押す
   - 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順9に進みます。
   - 「個別設定」を選んだ場合は、手順8に進みます。

8. 上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定を押す

次ページへつづく⇒

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは



デジタル放送のチャンネルの個別設定

チャンネルスキップ設定

9. カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定を押す
    - 操作を終了する場合は、ホームを押します。

放送の設定と種類

放送の種類について

地上デジタル放送



特長

- デジタルハイビジョン画質
- 多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナがUHF対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。VHFアンテナでは受信できません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

お知らせ

- ARIB放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

放送の設定と種類

放送の種類について

BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョン画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

お知らせ

- 本機は、BS・110度CSによる4K・8K放送の受信機能は搭載しておりません。
  受信機能を搭載した外部機器(別売)と接続する必要があります。

BS・110度CS共用アンテナ

BSデジタル放送も110度CSデジタル放送も、このアンテナで受信できます。
（他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。）



放送の設定と種類

放送の種類について

110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- 従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。

放送の設定と種類

放送の種類について

◆重要◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。

  ※ファミリンク録画予約（⇒ 6-28～6-32ページ）の場合、お使いのAQUOSレコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大3つの映像が放送されるサービスです。ホームメニューを表示して、「 (機能切換)」ー「視聴操作」ー「映像切換」を選んで切り換えます。

次ページへつづく⇒

放送の種類について

デジタル放送のその他の特長

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

放送の設定と種類

放送の種類について

BSデジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、 決定 で切り換えます。
  下記手順で元の映像に戻ることができます。

1. ホーム を押してホームメニューを表示し、左右カーソルボタンで「設定」を選び、 決定 を押す
2. 上下左右カーソルボタンで「 (機能切換)」ー「視聴操作」ー「映像切換」を選び、 決定 を押す



放送の設定と種類

放送の種類について

110度CSデジタル放送のみの専用サービス

ボード(掲示板)

- プラットフォーム(スカパー ！)単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
(⇒2-60ページ)

(画面例)



放送の設定と種類

放送の種類について

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー ！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、カスタマーセンターにお問い合わせください。
（2018年7月現在）

WOWOW

WOWOWカスタマーセンター

電話番号	0120－580－807	
受付	9:00～20:00（年中無休）	
ホームページ	https://www.wowow.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）	

スターチャンネル

スターチャンネル カスタマーセンター

電話番号	0570－013－111（ナビダイヤル） または044－540－0809	
受付	10:00～18:00（年中無休）	
ホームページ	https://www.star-ch.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）	

- スターチャンネルの加入申し込みは、⇒ 7-25ページのスカパー ！カスタマーセンターへお問い合わせください。

次ページへつづく⇒

放送の設定と種類

放送の種類について

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

スカパー ！

スカパー ！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0120－211－855	
受付時間	10:00～20:00（年中無休）	
ホームページ	https://www.skyperfectv.co.jp/ （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）	

お知らせ

- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

次ページへつづく⇒

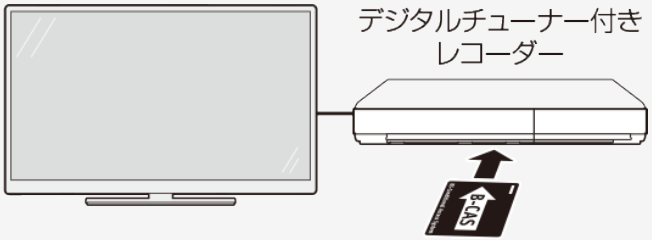
放送の設定と種類

放送の種類について

WOWOWやスカパー ！ などの有料放送を見るときは

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CASカードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。



有料放送で登録したB-CASカードは、
レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1. 画面のメッセージを確認し、決定を押す
   - 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

地上 D ○○ch が受信できません。[E202]
・リモコンの［地上］［BS］［CS］ボタンを押して見たい放送が受信できるか確認してください。
・アンテナケーブルが正しく接続されているか抜けやゆるみがないかを確認してください。
受信強度と対処方法を確認できます

現在放送されていません。[E203]
・番組表などで放送時間を確認してください。
・地上デジタル放送の場合は、「地域設定」と「チャンネル設定」を確認してください。
・アンテナケーブルが正しく接続されているか抜けやゆるみがないかを確認してください。
受信強度と対処方法を確認できます

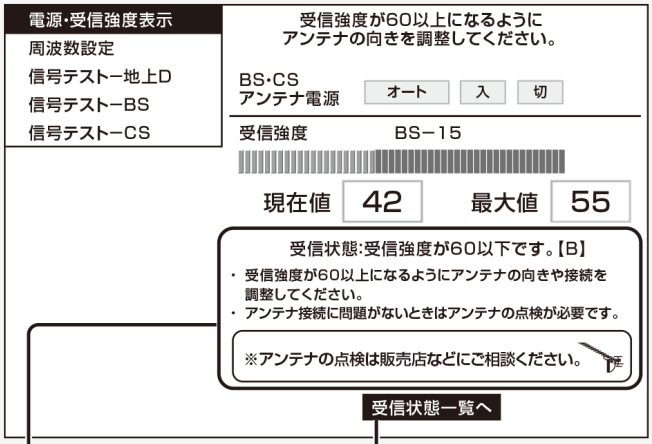
次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

2. 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、上下左右カーソルボタンで「受信状態一覧へ」を選び、決定を押す



受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

「受信状態一覧へ」を選んだ状態で決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。

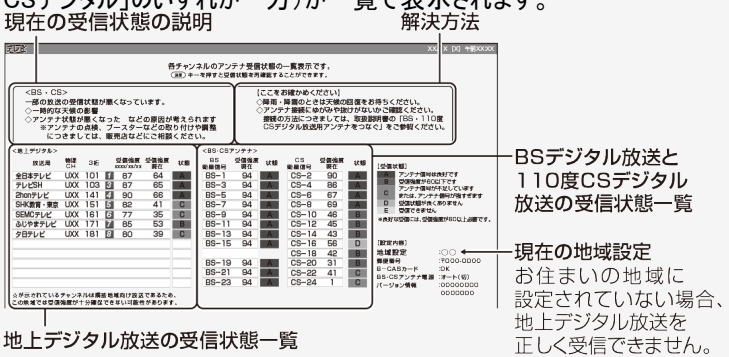
次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

3. デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する
   - 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。



受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

次ページへつづく⇒

故障かな？と思ったら



放送が受信できないときに確かめること

4. 確認したら、終了ボタンを押して受信状態一覧の画面を消す
   - アンテナとの接続について
     ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。
   - かんたん初期設定をやり直すとき
     ⇒同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

お知らせ

BS・110度CSデジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

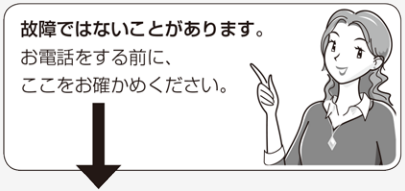
110度CSデジタル放送を初めて選局するときは

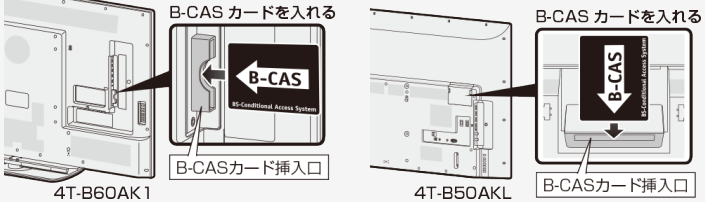
①CSデジタル放送を選びCS100chを選局し、約5秒待つ
②CS001chを選局し、約5秒待つ
（2018年7月現在CS001chは放送されていません。）
③番組表で選局したい放送局のチャンネル番号が表示されている事を確認する（⇒ 1-1ページ）

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは



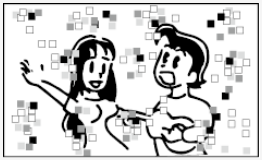
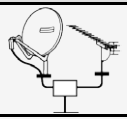
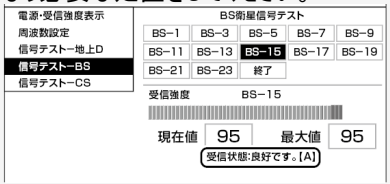
こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	アンテナケーブルは接続されていますか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	端子を間違えて接続していませんか。	—
	アンテナケーブルが切れていませんか。	—
	BS･CSアンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	7-1～7-4
	B-CASカードは正しく挿入されていますか。  	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。 	アンテナの向きは正しいですか。 	—
	「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒8-21ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 	7-1～7-6
	110度CSデジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は110度CS帯域対応のものを使用していますか。	—
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	WOWOWやスターチャンネル、スカパー　！は有料です。視聴するためには契約をしてください。	7-24～7-25
110度CSデジタル放送が視聴できない	アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	—
	デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

こんな症状が出るときは	ここをお確かめください	参照ページ
画面にノイズが出る	ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	—
	アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
特定のチャンネルだけ映らない	有料放送は視聴契約が必要です。	7-24～7-25
	アンテナの受信強度を確認してください。	7-1～7-6・8-1～8-4

- アンテナの接続については、同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」をご覧ください。

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない 	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
	下記のランプが緑色に点灯していますか。 • 4T-B50AKL：POWER/TIMER・RECランプ • 4T-B60AK1：TIMER/RECランプ	同梱の取扱説明書
	テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	6-45～6-47
	外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。	6-45～6-47
	接続ケーブルが抜けていませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンが動作しない	下記のランプが緑色に点灯していますか。 • 4T-B50AKL：POWER/TIMER・RECランプ • 4T-B60AK1：TIMER/RECランプ	同梱の取扱説明書
	乾電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。リモコンの使用頻度により乾電池の消耗が早くなる場合があります。リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、早めに新しい乾電池と交換してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	同梱の取扱説明書
	リモコン番号切換について動画で案内しています。	8-20
	以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 • 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 • 室温が極端に低下していませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
 映像は出るが音声が出ない	音量調整が最小になっていませんか。	同梱の取扱説明書
	「消音」状態になっていませんか。	同梱の取扱説明書
	ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。	同梱の取扱説明書
テレビ放送と各入力の音量が違って聞こえる	接続されている機器や、再生するディスク等により入力される音声レベルが異なる場合があるため、音量は各入力ごとに設定できます。音量調整は各入力ごとに設定してください。	同梱の取扱説明書
BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らない、BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らなくなった	外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	—
	外部機器の電源は入っていますか。	—
	外部機器を接続している入力を選んでいますか。	6-45〜6-47
	外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	—
 音声は出るが映像が出ない	映像オフが「する」になっていませんか。	2-38
	映像ケーブルが抜けていませんか。	6-40
 色が薄い 色あいが悪い	映像「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	2-22
	液晶パネルの視野角特性により斜め方向から見ると映像内容によっては、色が薄くなったり、色あいが変わったりする場合がありますが故障ではありません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
画面が暗い	明るさセンサーの前に物などを置いていませんか。	同梱の取扱説明書
	「映像調整」を変更してください。	2-20〜2-29
	「AVポジション」をご確認ください。	2-20
黒色が潰れる	「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」ー「ガンマ設定」を調整してみてください。	2-21・2-27
画面が大きくなったり、小さくなったりする	オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	2-58
画面がちらついたりざらついたりする	「プロ設定」の「デジタルNR」を、「自動」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	2-28
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	—
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因(直射日光や熱風など)を取り除いてください。	—
	本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。	—
	本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
リモコンや本体のボタンの操作ができない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	2-15
	チャイルドロックが設定されていませんか。誤って設定してしまった場合は、設定メニューの「安心・省エネ」—「チャイルドロック」で「しない」を選んでください。（本体のボタンで操作する場合は⇒同梱の取扱説明書をご覧ください。）	2-41
	チャイルドロックについて、動画でも確認できます。	8-20
	本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	同梱の取扱説明書
ときどき「ピシッ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 • デジタル放送の録画予約を実行している場合 • ダウンロードをしている場合 • 有料放送の契約情報を取得している場合 • 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	—
テレビの電源を入れると「ブーン」と音がする テレビの電源を切っているのに「ブーン」と音がする	USBハードディスクを本機に接続していませんか。USBハードディスクは本機の電源を入れると電源が入り、ハードディスクが回転するため「ブーン」という音がする場合があります。 USBハードディスクの予約録画中（録画中）も「ブーン」という音がする場合があります。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

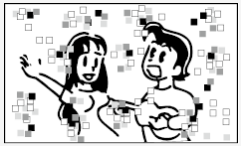
全般について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
時刻表示が画面に出ない	「設定」ー「(視聴準備)」ー「画面表示ボタン設定(時計)」ー「時計設定」ー「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	2-18
	リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	1-23
時刻表示が消えない	リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	1-23
字幕表示が画面に出ない	放送によっては、字幕を送っていない場合があります。	—
	字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	1-19
入力切換をしても選べない	入力スキップが「しない」に設定されていますか。	6-49
電源が勝手に切れる	自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。	2-59
本体の電源ランプを押しても下記ランプが消えない。 • 4T-B50AKL:POWER/TIMER・RECランプ • 4T-B60AK1:TIMER/RECランプ	電源ボタン設定が「モード1」になっている場合、本体の電源ボタンを押して電源を切っても下記ランプは消えません。赤色点灯(待機状態)となります。 • 4T-B50AKL:POWER/TIMER・RECランプ • 4T-B60AK1:TIMER/RECランプ	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
 映像も音声も出ない	個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。	7-1～7-4
	その局が放送していない時間帯ではありませんか。	—
	ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	6-45～6-47
	B-CASカードは正しく挿入されていますか。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
 ・映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする ・音声が途切れる ・映像が映らない／映らなくなる	アンテナの向きがずれていませんか。	—
	受信状態を確認してください。	7-1～7-6・8-1～8-4
	アンテナの前方に障害物はありませんか。	—
	アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
BSデジタル放送の一部が視聴できない	有料放送を視聴するための契約はしていますか。	7-24〜7-25
110度CSデジタル放送が受信できない	アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	—
	デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。BS・110度CSデジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。	—
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。	—
	春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	—
地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。	—
	アンテナ線は正しく接続されていますか。	同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」
	お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。	7-7
	チャンネル設定は正しくされていますか。	7-9
画面にノイズが出る	VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
特定のチャンネルだけ映らない	契約していない有料放送ではありませんか。	7-24～7-25
	受信強度を確認してください。	7-1～7-6
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。	1-5
	デジタル放送を選局していますか？	—
	電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	スキップをする設定にしていませんか。	7-14
番組の予約をしても受信できない	契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	—
デジタル放送が受信できない	外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。	2-15
	BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS・110度CS共用アンテナ（市販品）およびBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）を接続していますか。	—
	BDレコーダーなどと接続したときは、BDレコーダーのアンテナ入力とアンテナ出力を間違えて、アンテナ線を接続していませんか。	—
BDレコーダーなど接続している機器の電源を切るとBS・110度CSデジタル放送が映らなくなる	BDレコーダーのアンテナ電源を「入」に設定してください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

AQUOSコネクト関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
AQUOSコネクトとテレビの接続ができない	設定メニューの「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「AQUOSコネクト設定」が「する」になっているか確認してください。	2-6

故障かな？

故障かな？と思ったら

ファミリンク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ファミリンク連携が正常に動作しない	「ファミリンクレコーダー選択」を確認し、録画、ファミリンク連携に使用する機器を選択してください。	6-15
	「ファミリンク制御（連動）」が「する」になっていることを確認してください。	2-45
	レコーダーの設定でファミリンク機能が有効になっていることを確認してください。 詳しくはレコーダーの取扱説明をご確認ください。	—
	テレビとレコーダーの電源を、それぞれ入れ直してみてください。	—

IPTV関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ポータル情報が取得できない	お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。	—
チャンネル登録で失敗する	IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	—
テレビ放送やVODの映像が乱れる	使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	—
ライセンスが無いと表示される	追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

USBハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない	USBハードディスクの電源が入っていますか。	—
	録画機器選択画面にUSBハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。	4-7～4-8
	USBハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	4-5
USBハードディスクに正しく録画できない	録画先に指定したUSBハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は上記の「USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。	—
	USBハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別のUSBハードディスクを接続してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

故障かな？と思ったら

USBハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
USBハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	本機に接続しているUSBハードディスクは本機で録画したものですか。本機以外のテレビ受信機で録画されたUSBハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。	—
	本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。	—
USBハードディスクが使用できない	使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、⇒8-18ページの「USB端子に接続したUSBハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。	—
	それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USBハードディスクの電源を入れ直す ③ 本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	—
USBハードディスクに録画した番組が消えた	USBハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。）	—
	録画したハードディスクと異なるUSBハードディスクをつないでいませんか。	—

故障かな？

故障かな？と思ったら

	ビジュアルガイド • リモコン番号切換とチャイルドロックなどについて動画で案内しています。 • 当サイト及び動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。 • 通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。 • QRコードが読み取れない場合は、「シャープサポート ビジュアルガイド」で検索いただくか、下記アドレスを直接入力してください。 シャープサポート　ビジュアルガイド　検索 http://www.sharp.co.jp/support/visualguide/index.html#aquos （スマートフォンまたはパソコンからご覧ください。）

故障かな？

エラーメッセージが出たら

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	参照ページ
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	7-1～7-6
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	—
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	—
受信できません。【E】	アンテナが正しく設置されているか確認してください。	—
	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
	アンテナの設定が合っているか確かめてください。	7-1～7-6

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、カードを差し直してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	—
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	7-22
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
○○ ○○○chが受信できません。 • リモコンの【地上】【BS】【CS】を押して見たい放送が受信できるか確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか 抜けやゆるみがないかを確認してください。	E202	アンテナ線を確認してください。	同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
		アンテナの設定と受信強度を確認してください。	7-1～7-6・ 8-1～8-4
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—

次ページへつづく⇒

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
現在放送されていません。 • 番組表などで放送時間を確認してください。 • 地上デジタル放送の場合は、「地域設定」と「チャンネル設定」を確認してください。 • アンテナケーブルが正しく接続されているか 抜けやゆるみがないかを確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	—
		受信強度を確認してください。	7-1～7-6・ 8-1～8-4
		雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	—
○○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	—
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	****	電源を入れ直してください。	—
		BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	7-1～7-6・ 同梱の取扱説明書 「テレビを見るための準備」
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	—

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

B-CASカードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。
	本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。
この形式の写真データは表示できません。	規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	データの容量が10MB以下のデータとしてください。
写真のサイズが大きすぎます。	画素サイズ8192×8192以下の写真にしてください。
このデータは表示できません。	本機で表示可能な仕様のJPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。 ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後SDカードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	サーバーの設定を確認してください。 サーバーによってはBD再生中や設定画面にしていると取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	規格外の映像データは再生できません。 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。 （「本機で再生できるサーバー上の動画について」 ⇒3-9～3-11ページ）
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	規格外の音楽データは再生できません。 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。 （「本機で再生できるサーバー上の音楽について」 ⇒3-8ページ）
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

コンテンツマネージャーに関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。 ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。 まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。	USBハードディスクを本機に接続してください。
	初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化（登録）してください。 （⇒4-7～4-8ページ）
	USBハードディスクの電源を入れてください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	USBハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を停止しました。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	USBハードディスクの初期化（登録）が終わるまでお待ちください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。

次ページへつづく⇒

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。 （録画可能なハードディスクが見つかりません。）	録画可能なUSBハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	予約できる番組は、最大32番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	USBハードディスクを本機に接続してください。
	初めて本機に接続するUSBハードディスクの場合は、接続後に初期化しておいてください。 （⇒4-7～4-8ページ）
	USBハードディスクの電源を入れておいてください。
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	録画する前にUSBハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	USBハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	本機で録画できるUSBハードディスクのタイトル数は最大999タイトルです。別のUSBハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中のUSBハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
1タイトルの録画時間が6時間を超えたため、録画を停止しました。1タイトルが6時間以上の連続録画はできません。	1タイトルの録画時間は最長6時間なので、6時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。 ハードディスクが認識できないため、再生できません。	本機にUSBハードディスクを接続してください。 また、USBハードディスクの電源を入れてください。

次ページへつづく⇒

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USBハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このタイトルは再生できません。	再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	本機に接続されているUSBハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別のUSBハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	記録時間が3秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	時計合わせを行ってください。
この番組は録画できません。	独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。	「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は録画予約ができません。

故障かな？

エラーメッセージが出たら

USB利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。
	本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	****	「ネットサービス制限設定」ー「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。⇒5-18ページ
まだルート証明書※2を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。
まだ新しいルート証明書※2を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。

※ 1 サーバー証明書…… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

※ 2 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	このネットワークは録画することができません。
		ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。
		「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	現在録画中のため、新たに録画できません。

次ページへつづく⇒

故障かな？

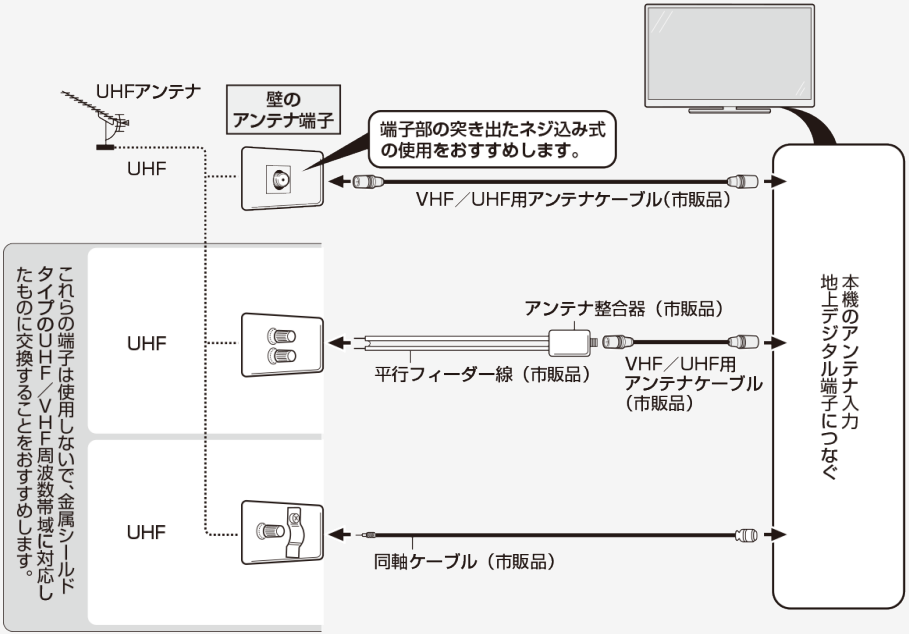
エラーメッセージが出たら

ファミリンク録画時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」が書き込み禁止です。
		「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」に録画できません。
		「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	録画機器を確認してください。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合について

- 壁のアンテナ端子のかたちが同梱の取扱説明書「テレビを見るための準備」の記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。



停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

- テレビにおける設定内容（設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、「時刻設定」（⇒2-18ページ）で設定してください。
- 停電前に下記の状態や設定は解除されます。
    - 静止画
    - オフタイマー
    - 消音
    - 映像オフ
    - 2画面

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト
（⇒4-44ページ）に「容量不足」と表示されるとき



- USBハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。
- USBハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。
（タイトル消去⇒4-76～4-78ページ）

次ページへつづく⇒

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

予約リスト
(⇒4-44ページ)に「録画不可」と表示されるとき



- USBハードディスクを接続していないときに表示されます。
  初期化(登録)済み(⇒4-7～4-8ページ)のUSBハードディスクを接続してください。
- 本機で初期化していない(登録されていない)USBハードディスクが接続されているときに表示されます。
  接続したUSBハードディスクを本機で初期化(⇒4-7～4-8ページ)してください。

次ページへつづく⇒

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

「同時に実行できない予約があります。」と表示されるとき

- 重複している予約の中から残す予約を選び、決定を押すと、選んだ予約にチェックがつき、取り消される予約に×印が表示されます。
- 残す予約が決まったら上下左右カーソルボタンで「予約する」を選びます。
- 予約の内容によっては、残す予約を選べない場合があります。

次ページへつづく⇒

こんなときは



予約設定時のメッセージについて

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定されている予約を残したいとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

お知らせ

- USBハードディスク利用時に関するエラーメッセージ
  （⇒8-29～8-32ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

仕様や索引など

用語の解説

1080i
有効走査線1080本かつ、インターレース方式の映像のことです。

1080p
有効走査線1080本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

1080/24p
有効走査線1080本かつ、24p(1秒あたり24コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

1080/60p
有効走査線1080本かつ、60p(1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式)の映像のことです。

16:9
画面比率(アスペクト比)が横16に対し、縦9の比率になるサイズのことです。

次ページへつづく⇒

用語の解説

480i
有効走査線480本かつ、インターレース方式の映像のことです。

480p
有効走査線480本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

4K/60p
4K（3,840×2,160）の解像度かつ、60p（1秒あたり60コマ、プログレッシブ方式）の映像のことです。

720p
有効走査線720本かつ、プログレッシブ方式の映像のことです。

次ページへつづく⇒

用語の解説

AAC（Advanced Audio Coding）

音声圧縮方式のひとつです。MP3を超える高音質・高圧縮を目的に標準化された方式です。

AQUOSタイムシフト

AQUOSタイムシフトに対応しているBDレコーダーと接続すると、本機で視聴している番組を一時停止して、続きから再生して見ることや、ちょっと戻って見ることができます。

ARC（Audio Return Channel）

HDMIケーブルを使ってテレビからオーディオ機器などに音声を送る機能です。
従来はHDMIケーブルだけで音声を送ることができなかったため、光デジタルケーブルの接続が必要でしたが、この機能によりHDMIケーブル1本だけで音声を送ることができるようになりました。

次ページへつづく⇒

用語の解説

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

映像・音声をデジタル信号で伝送する通信インターフェイスの標準規格で、おもにテレビやレコーダーなどのAV機器で採用されています。

HDR（High Dynamic Range）

カメラが捉えた明るさの情報(輝度)を従来より広い幅で記録し、再生時にテレビ側で復元する技術です。
これにより、同一映像内での表現が難しかった光の輝きなどの明部階調から暗部階調までをリアルに再現できるようになりました。

USB-HDD（Universal Serial Bus - Hard Disk Drive）

USB端子に接続して使用することができるハードディスクドライブです。
本機のUSB端子に接続すると番組の録画ができるようになります。

くっきり（音声）

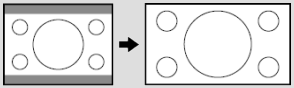
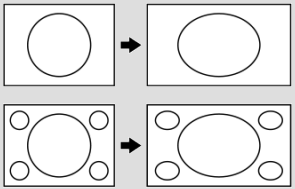
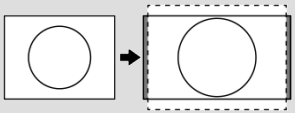
人の声を聞きとりやすくするための機能です。

次ページへつづく⇒

用語の解説

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類（⇒9-1～9-2ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

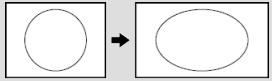
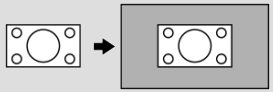
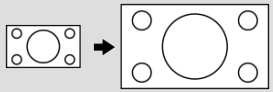
項目		内容
ノーマル		• 縦横比をくずさずに、4:3サイズの映像をそのまま映します。
シネマ		• シネスコサイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル1 フル2 フル	 入力信号16:9の信号に黒帯がついている場合、黒帯がついたままとなります。	• 入力信号を画面いっぱいに映します。 ※黒帯表示を無くしたい場合は、「ワイド16:9」でご覧ください。
スマートズーム		• 4:3映像をより自然に拡大して映します。 ※映像の上下が切れます。

次ページへつづく⇒

用語の解説

画面サイズ切換の設定項目

映像の種類(⇒9-1～9-2ページ)によって、選べる画面サイズは異なります。

項目		内容
ワイド4:3		• 4:3映像を画面いっぱいに映します。
ワイド16:9		• 16:9映像の中央部(4:3)を画面いっぱいに映します。入力信号が16:9で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
Dot by Dot		• 入力信号の解像度どおりに映します。 ※入力信号が4Kより小さい場合は、図のように映ります。
アンダースキャン		• 縦横比をくずさずに、入力信号を画面いっぱいに拡大して映します。

索引

英数字・記号／五十音

英数字・記号　あ行　か行　さ行

た行　な行　は行　ま行

や行　ら行　わ行

仕様や索引など

索引

- 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については ⇒同梱取扱説明書をご覧ください。
- 用語については ⇒ 9-1～9-6ページをご覧ください。

英数字・記号	
110度CSデジタル放送	7-6・7-19・8-4・同梱取扱説明書
2画面	1-6～1-13
3桁入力	2-42
AAC	2-53・9-3
AQUOSオーディオ	6-3～6-4・6-37～6-38
AQUOSコネクト設定	2-6
AQUOSレコーダーに録画する	6-24～6-32
ARC設定	6-37
AV入力	6-40・6-44・6-59・6-60・同梱取扱説明書
AVポジション（画質切換）	2-20

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
B-CASカード	2-60・同梱取扱説明書
B-CASカード番号表示	2-60
BS・CSアンテナ電源	7-1・7-3・同梱取扱説明書
BSデジタル放送	1-28・7-2・7-18
CATV(ケーブルテレビ)	同梱取扱説明書
Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)	9-6
DR(標準)	4-32～4-34
DTCP-IP	3-9
DVI端子	6-59
HDMI	6-1～6-8・6-39・6-42・6-59・6-60・ 同梱取扱説明書
HDMIコンテンツタイプ連動	2-55
HDMI識別	2-58

次ページへつづく⇒

索引

英数字・記号	
HDR映像	6-9
HDRガンマ設定	2-27・6-10
IPTV（ひかりTV）	5-34～5-53
IPTV設定	2-5・5-37・5-40
IPアドレス	5-16
JPEG	3-4・3-7
Language（言語）	10-13～10-16
LAN設定	5-10～5-17
PC（AVポジション）	2-20
PCM	2-53
POWER/TIMER・RECランプ(4T-B50AKL)	同梱取扱説明書
POWERランプ(4T-B60AK1)	同梱取扱説明書
TIMER/RECランプ(4T-B60AK1)	同梱取扱説明書
USBハードディスク	4-1～4-13
USBメモリー	3-1～3-5

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
アイコン一覧（番組表）	1-2
明るさ	2-21
明るさセンサー	同梱取扱説明書
明るさセンサー（OPC）	2-20
明るさセンサー（OPC）設定	2-29
アクティブコントラスト	2-27
アナログ音声出力設定	2-52
暗証番号設定	2-13
安心・省エネ	2-36～2-41
アンダースキャン	9-6
アンテナ設定	7-1
アンテナの接続	同梱取扱説明書
色あい	2-22
色温度（映像調整）	2-25
色の濃さ	2-22
インターネット	5-22
裏番組	同梱取扱説明書
映画	2-20
映像	2-21

次ページへつづく⇒

索引

あ行	
映像オフ	2-38
映像切換	2-42・4-61
映像調整	2-20～2-29
映像判別	2-58
枝番	7-11～7-13
追いかけ再生	4-55
オートチャプター設定	4-14
オートボリューム	2-30
オートワイド	2-58
お知らせ	2-59～2-61
お知らせタイマー	1-43～1-45・2-67
おすすめキーワード登録	2-41
お手入れのしかた	同梱取扱説明書
おはようタイマー	1-36～1-42
オフタイマー	1-29～1-31
おやすみタイマー	1-32～1-35
音質補正	2-33
音声切換	1-17
音声調整	2-30～2-35
「温度」の文字点滅表示	8-10

次ページへつづく⇒

索引

か行	
外部端子設定	2-51～2-56
各種設定	2-13～2-17
画質	2-23
壁掛視聴設定	2-34
画面位置	2-57・6-58
画面サイズ	2-43・9-5
画面表示設定	2-57～2-58
画面表示	1-23・1-24～1-25
かんたん初期設定	同梱取扱説明書
乾電池の入れかた	同梱取扱説明書
ガンマ設定	2-27
機器の初期化（USBハードディスクの初期化）	4-7～4-8
機器のメディア切換	6-25
機能切換	2-42～2-58
クイック起動設定	2-16
くっきり(音声)	9-4
黒レベル	2-21
ケーブルテレビ（CATV）	7-10・同梱取扱説明書
ゲーム（AVポジション）	2-20
ゲーム時間表示設定	2-40

次ページへつづく⇒

索引

か行	
降雨対応放送	7-22
高音	2-31
声の聞きやすさ	2-35
個人情報初期化	2-19
コンテンツマネージャー	3-1～3-35
さ行	
サーバー証明書	8-34
再生（USBハードディスク）	4-50～4-62・4-68～4-69
サラウンド	2-32
残量（録画時間）（USBハードディスク）	8-39
時刻設定	2-18
時刻表示	2-18
システム動作テスト	2-61
視聴準備	2-2～2-19
視聴操作	2-42～2-44
視聴年齢制限設定	2-14
視聴メニュー	4-59
自動録画予約	4-40～4-42

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
シネマ(画面サイズ)	6-57・9-5
字幕(切換)／字幕表示	1-18～1-22
ジャンル連動	2-45
受信強度	7-2～7-6・同梱取扱説明書
受信機レポート	2-59
仕様	同梱取扱説明書
消音	同梱取扱説明書
使用温度	同梱取扱説明書
照明オフ連動	2-36
垂直位置	2-57
水平位置	2-57
スキップ設定	7-14～7-16
スキップ(チャンネル)	7-14～7-16
スタンド	同梱取扱説明書
スマートズーム	9-5
セーブモード／セーブモード設定	2-37
静止	1-14
設定	2-2～2-61

次ページへつづく⇒

索引

さ行	
選局	同梱取扱説明書
選局キー	6-17
操作切換(2画面)	1-12
操作パネル	3-34
双方向通信	5-1
ソフトウェアキーボード	2-70
ソフトウェアの更新	2-61
た行	
対応信号モード切換	2-56・6-9
タイトル(録画した番組)	4-50～4-53
タイトル消去(USBハードディスク)	4-76～4-78
タイトル番号(USBハードディスク)	4-61
タイトル保護(USBハードディスク)	4-70～4-75
タイトル名変更	4-65
ダイナミック／ダイナミック(固定)	2-20
タイマー機能	1-29～1-45
ダウンロード設定	2-14
地域設定	7-7～7-8
地上デジタル放送	7-7～7-10・7-17・同梱取扱説明書
チャイルドロック	2-41・8-20・同梱取扱説明書

次ページへつづく⇒

索引

た行	
チャプター	4-15・4-20～4-21・4-61
チャンネル	同梱取扱説明書
チャンネル設定	2-2・7-11～7-13
チャンネル番号（3桁）	1-1・7-13
通信（インターネット）設定	5-10～5-21
ツール	2-62～2-69
つづき再生（USBハードディスク）	3-32
低音	2-31
データ放送	1-27～1-28・7-17～7-20
デジタルNR	2-28
デジタル音声設定	2-53
テレビ放送設定	2-3～2-4・7-2～7-16
テレビ／ラジオ／データ	1-5・1-28・2-42
電源コードをつなぐ	同梱取扱説明書
電源の入／切	同梱取扱説明書
電源ボタン設定	2-15

次ページへつづく⇒

索引

た行	
転倒防止	同梱取扱説明書
時計設定	2-18
時計タイプ	2-18
な行	
二重音声	1-18
日時移動	1-5
入力1音声選択	2-52
入力解像度(PC入力信号の解像度)	6-55
入力切換	6-45～6-49・6-58
入力スキップ	2-54
入力表示	2-55
ネットサービス制限設定	2-7・5-19
ノーマル	6-57・9-5
は行	
早戻し／早送り再生	3-33
バランス	2-31
番組詳細検索	1-5
番組情報	1-15
番組表	1-1
番組表取得設定	1-5

次ページへつづく⇒

索引

は行	
ビットストリーム	2-53
表示言語	1-20
表示方式（字幕表示）	1-18～1-19
標準	2-20・2-33
標準(DR)	4-32～4-34
ファミリンク	6-11～6-12
ファミリンク制御（連動）	6-19
ファミリンク設定	6-37・6-38
ファミリンクパネル	4-68～4-69・6-22～6-23
ファミリンクレコーダー選択	6-15
ファミリンク録画予約	6-28～6-32
フィルムモード	2-28
フォト	2-20
付属品	同梱取扱説明書
プラットフォーム（運営会社）	7-24～7-25

次ページへつづく⇒

索引

は行	
フル	6-57・9-5
プロ設定	2-24～2-29
ヘッドホン(設定)	1-46・2-51
放送局メッセージ	2-59
放送切換ボタン(地上／BS／CS)	同梱取扱説明書
ポータル	2-42・5-45
ボード	2-60・7-23
ホームメニュー	2-1
ホームメニュー表示	6-20
保証とアフターサービス	同梱取扱説明書
ま行	
毎週予約	4-64
マルチ音声番組	1-18
見つかる検索	1-5
無信号オフ	2-39
無操作オフ	2-39
メディア(テレビ／ラジオ／データ)	2-42

次ページへつづく⇒

索引

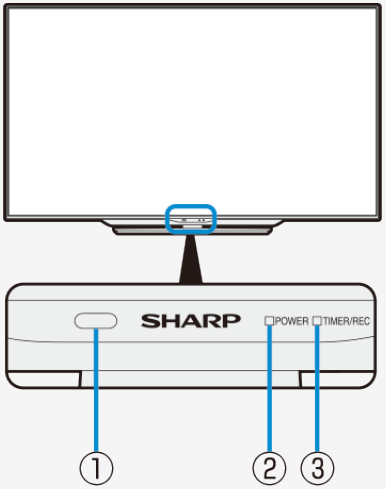
ま行	
文字サイズ設定	2-57
文字スーパー表示	2-57
文字入力のしかた	2-70～2-75
「モニター温度」の文字点滅表示	8-10
や行	
有料放送の視聴契約	7-24～7-25
予約の確認・取り消し・変更	4-44～4-49
予約リスト	4-44
ら行	
リピート再生（USBハードディスク）	4-62
リビングビュー	2-28
リモコン	同梱取扱説明書
リモコン番号	2-17・同梱取扱説明書
リンク予約（録画予約）	6-32
臨時放送（臨時編成サービス）	7-20
レコーダー電源入／切	6-21
連動起動設定	6-13
連動データ放送	1-27
録画（USBハードディスク）	4-16～4-43
録画機器選択	6-14
録画消去	4-76～4-78

次ページへつづく⇒

索引

ら行	
録画モードと録画時間	4-30～4-34
録画予約（USBハードディスク）	4-22～4-43・4-64
録画予約（ファミリンク予約）	6-28～6-32
録画リスト（USBハードディスク）	4-50～4-53
録画リストから再生（ファミリンク）	6-34
わ行	
ワイド 16:9	9-6
ワイド 4:3	9-6
ワンタッチプレー（ファミリンク）	6-36
ワンタッチ録画（ファミリンク）	6-24

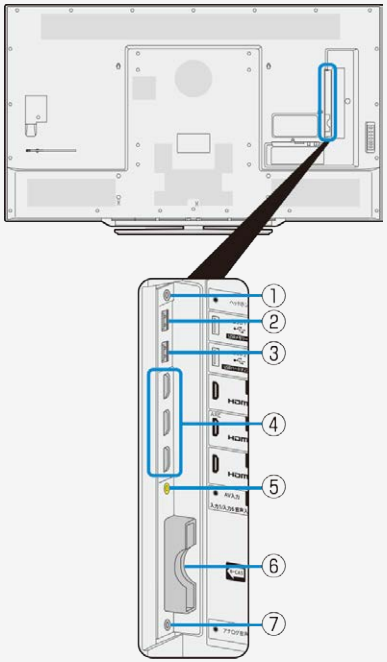
Part Name



FRONT VIEW (4T-B60AK1)

	Part Name
①	Remote sensor window / Ambient illumination sensor window • When using the remote control, point its head toward this window.
②	Power indicator
③	Timer program・Recording indicator

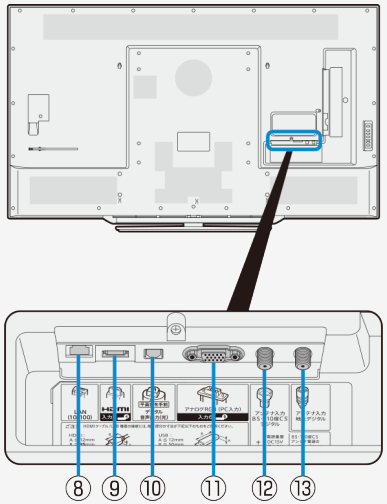
Part Name



BACK VIEW (4T-B60AK1)

	Part Name
①	Headphones jack
②	USB 1 terminal
③	USB 2 terminal (For USB-HDD recording)
④	AV in 1・2・and 3 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
⑤	AV in 5 (AV input) • Connect a video game equipment, video camera, etc.
⑥	B-CAS card slot • IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.
⑦	Analog audio output jack

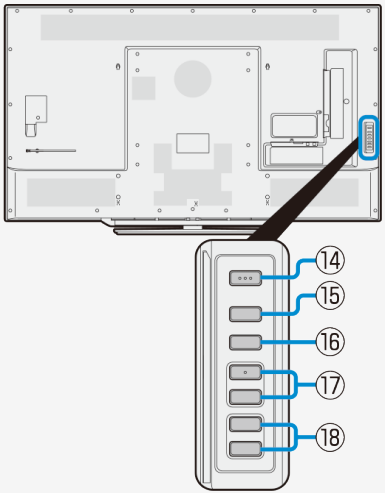
Part Name



BACK VIEW (4T-B60AK1)

	Part Name
⑧	LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)
⑨	AV in 4 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
⑩	Digital audio output jack (optical)
⑪	AV in 6 (PC)
⑫	BS·CS 110 antenna input terminal
⑬	UHFantenna input terminal

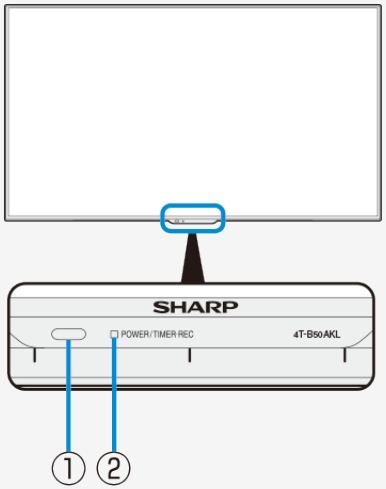
Part Name



BACK VIEW (4T-B60AK1)

	Part Name
⑭	Main power button
⑮	Home Menu button
⑯	Input / TV select (Enter) button
⑰	Channel up (Λ) / down (V) buttons
⑱	Volume up (+) /down (−) buttons

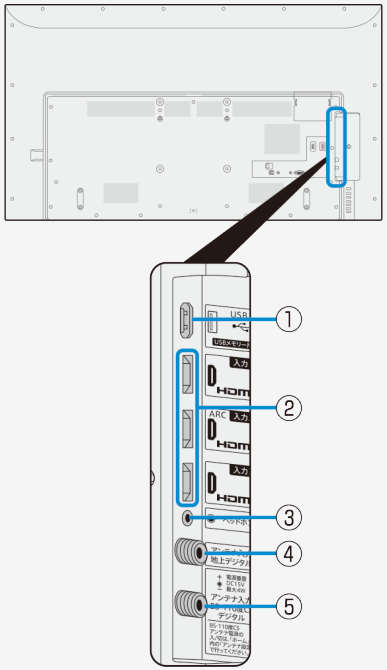
Part Name



FRONT VIEW (4T-B50AKL)

	Part Name
①	Remote sensor window / Ambient illumination sensor window • When using the remote control, point its head toward this window.
②	Power / Timer program・Recording indicator

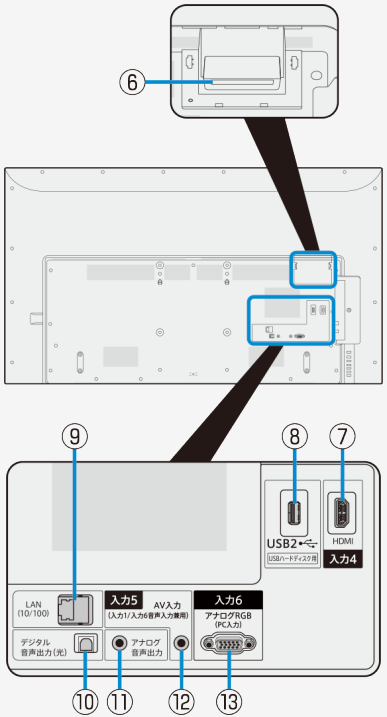
Part Name



BACK VIEW (4T-B50AKL)

	Part Name
①	USB 1 terminal (For USB memory)
②	AV in 1・2・and 3 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
③	Headphones jack
④	UHF antenna input terminal
⑤	BS·CS 110 antenna input terminal

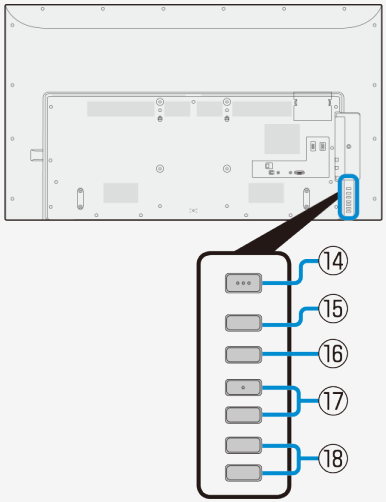
Part Name



BACK VIEW (4T-B50AKL)

	Part Name
⑥	B-CAS card slot • IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.
⑦	AV in 4 (HDMI) • Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.
⑧	USB 2 terminal (For USB-HDD recording)
⑨	LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX)
⑩	Digital audio output jack (optical)
⑪	Analog audio output jack
⑫	AV in 5 (AV input) • Connect a video game equipment, video camera, etc. Please use conversion cable on the market.
⑬	AV in 6 (PC)

Part Name



BACK VIEW (4T-B50AKL)

	Part Name
⑭	Main power button
⑮	Home Menu button
⑯	Input / TV select (Enter) button
⑰	Channel up (Λ) / down (V) buttons
⑱	Volume up (+) /down (−) buttons

Part Name

Remote Control Unit



Button Name	
①	Active/Standby • Press to engage the TV set in the active or standby mode.
②	Channel Infomation
③	Display • Press to display or turn off the channel call, clock, etc.
④	Internet • Press to connect to the Internet.

Part Name



Remote Control Unit

	Button Name
⑤	Terrestrial digital select
	BS select
	CS select
⑥	Channel select • Press to select a channel. Use to input a number for various settings.
⑦	Audio select • Press to select the audio.
⑧	Volume up (+)/down (−) • Press to adjust the volume.
⑨	Mute • Press to mute audio.
⑩	Linked data broadcast • Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.
⑪	Channel up (∧)/down (∨) • Press to select channels in the ascending or descending order.
⑫	Input select • Press to select the input.

Part Name



Remote Control Unit

	Button Name
⑬	EPG • Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.
⑭	Other on-air programs • Press to display the EPG for currently on-air programs only(裏番組).
⑮	Cursor (up, down, left, right) • Use to select a menu item, column, etc.
	Enter/Confirm • Press to confirm a selected setting or menu item.
⑯	Finish • Press to finish menu operation, etc.
⑰	Display the “Home” Menu • Press to start some useful operations of the TV.
⑱	Display the Tool Menu
	Caption • Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.
⑲	Return • Press to go back to the previous screen.

Part Name



Remote Control Unit

	Button Name
⑳	Color • Use to operate EPGs and data program screens.
㉑	Record and Play control
㉒	Current／rewind • Press to jump to the beginning of the current chapter. • Press and hold to rewind. When keep on holding, the speed gets faster. (4 levels)
㉓	Fast-forward／next • Press to jump to the next chapter. • Press and hold to fast-forward. When keep on holding, the speed gets faster. (4 levels)
㉔	Recording list

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。



1. Press ホーム(Home) and select "設定" (Setup) with cursor button, and then press 決定(Enter) button.
ホームメニューから「設定」を選ぶ



2. Select "(視聴準備)" (View Setting) with cursor button.
「(視聴準備)」を選ぶ



次ページへつづく⇒

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする



3. Select “Language(言語)” with cursor button, and then press 決定(Enter) button.
「Language(言語)」を選ぶ

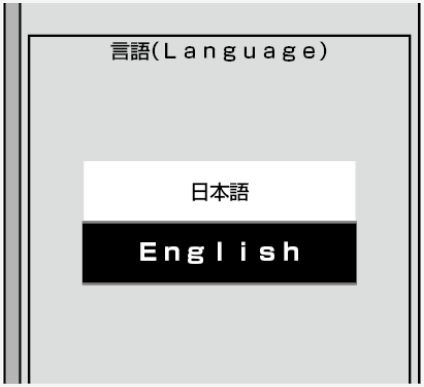


次ページへつづく⇒

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする



4. Select “ English” with cursor button.
「English」を選ぶ
Press 決定(Enter) button.
決定する



- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

次ページへつづく⇒

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする



5. Press ホーム(Home) button to finish this operation.
   終了する

お知らせ

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」ー「(ViewSetting)」ー「言語(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。